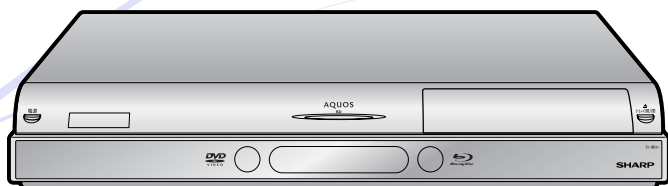
SHARP

取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

形名 BD-HP1

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(**7**ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

- 取扱説明書は3冊あります。
  - 本書は、接続・設定・操作について説明しています。
  - 別冊の「かんたん!!ガイド」は、本機を使う前の準備、再生の基本的な操作について説明しています。
  - 別冊の「ファミリンク操作ガイド」は、ファミリンクを楽しむための接続・設定・操作について説明しています。
- 取扱説明書では、「ブルーレイディスクプレーヤー　BD-HP1」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 取扱説明書の操作手順では、おもにリモコンを使って説明しています。

確認
準備
基本
再生
録画
接続
各種設定
リモコン設定
参考

目的別早見もくじ

●お使いになる前に「**安全にお使いいただくために**」（**7** ページ）を必ずお読みください。

●本書では「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。

ご自分で接続・設定を行う

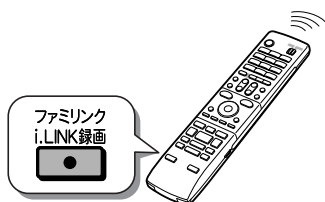
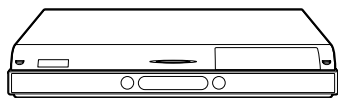
• テレビやオーディオ機器と接続するときにご覧ください。

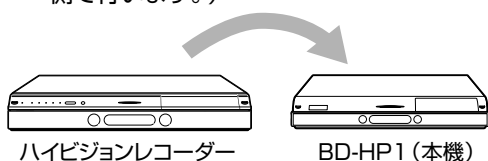
シャープ製の「ファミリンク対応機器」との接続については、別冊のファミリンク操作ガイドをご覧ください。

再生したい

• 市販のBDビデオやDVDビデオ、番組を録画したディスク（BDディスク、DVDディスク）などの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

録画したい

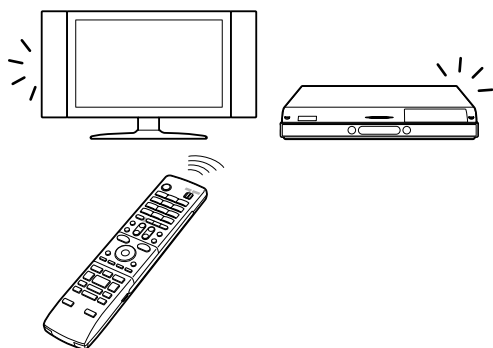
• シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機をi.LINKケーブルを使って接続することにより、デジタル放送番組をBD-RE Ver.2.1ディスクに録画できます。

ダビングしたい

• シャープ製のハイビジョンレコーダーとi.LINKケーブルを使って接続することにより、ハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画したデジタル放送番組をBD-RE Ver.2.1ディスクにダビングできます。（ダビング操作はハイビジョンレコーダー側で行います。）

ハイビジョンレコーダー　BD-HP1（本機）

操作ができないときは

ファミリンクについては別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。

ファミリンクで便利に使う

• シャープ製のファミリンク対応デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルを使って接続することにより、テレビと本機を連動させて操作が行えます。

もくじ

- お使いになる前に「**安全にお使いいただくために**」（**7** ページ）を必ずお読みください。
- ファミリンクについては別冊の「**ファミリンク操作ガイド**」をご覧ください。
- 本書では「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。

はじめに

本機をお使いになる前に知っていただきたいことや操作のための準備について説明してします。

確認する

準備する

基本操作

使ってみよう

BD(ブルーレイディスク)やDVDディスクを再生します。
テレビとの連動操作や、番組の録画もできます。

再生する

録画する

●ご自分で接続するときはここからお読みください。

接続と設定　再生に関する設定・テレビやオーディオ機器との接続をします。

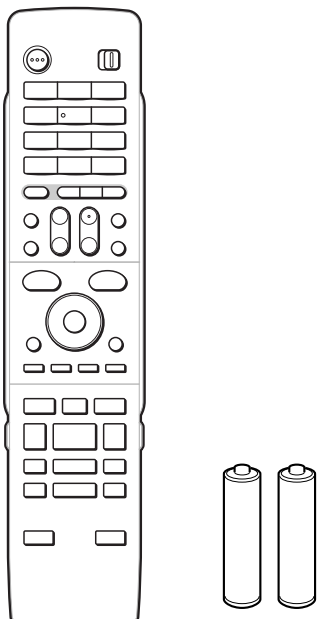
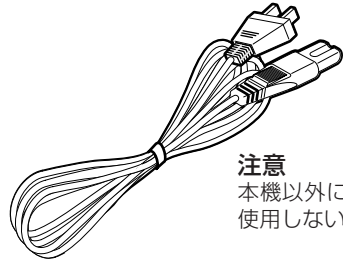
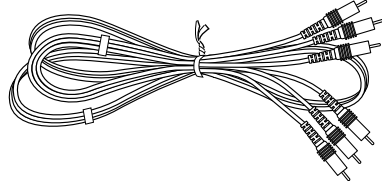
接続する

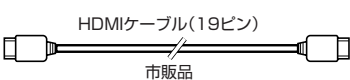
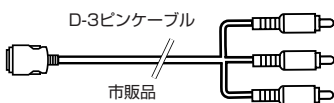
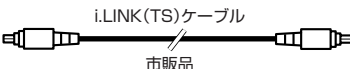
各種設定する

リモコンの設定をする

こんなときは　困ったときに役立つ情報です。

ま ず は ▶ **基本的な使いかたは別冊「かんたん!!ガイド」**をお読みください

さらにくわしくは ▶ **本書「取扱説明書」**をお読みください

ファミリンクについては ▶ **別冊「ファミリンク操作ガイド」**をお読みください

付属品

付属品

●箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。

リモコン×１個、単４形乾電池×２個

使いかたは **16**～**18**ページ

● 電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電源コード（約２m）

注意
本機以外にこの電源コードを使用しないでください。

使いかたは **19** ページ

映像・音声コード（約１m20cm）×１本

使いかたは **64**、**65** ページ

取扱説明書※

● 取扱説明書（本書）
● かんたん!!ガイド
● ファミリンク操作ガイド

保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

※　当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

本機と接続するケーブルについて

● **HDMI入力端子付きテレビと接続する**

市販のHDMIケーブル(19ピン)が必要です。
ファミリンクを楽しむには、HDMIケーブルを接続します。

● **シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と接続し、ハイブリッド録画する**
シャープ製のハイビジョンレコーダーと接続し、かんたんBDダビングする

市販のi.LINK(TS)ケーブルが必要です。

● **コンポーネント入力端子付きテレビと接続する**

市販のコンポーネントビデオコード(D-3ピン)が必要です。

● **D映像入力端子付きテレビと接続する**

市販のD映像ケーブル(D-D)が必要です。

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

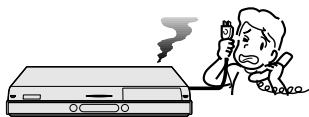
気をつける必要があることを表しています。

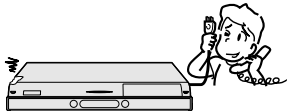
してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

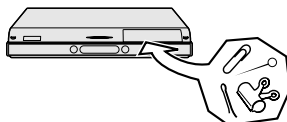
⚠ 警告

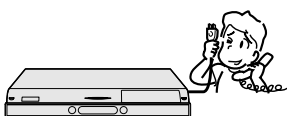
煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

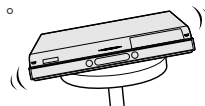
内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

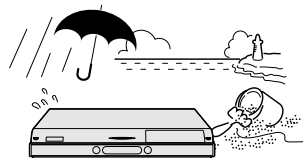
不安定な場所に置かない

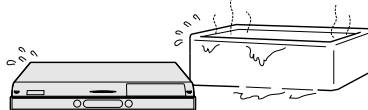
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- 水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

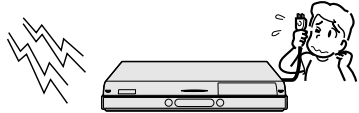
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V使用

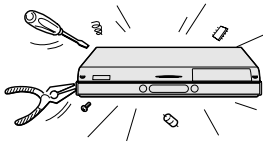
次ページへつづく▶▶▶

⚠警告

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

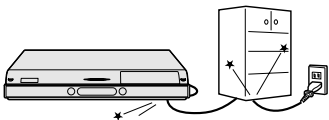
●感電の原因となります。

キャビネットは絶対に開けない

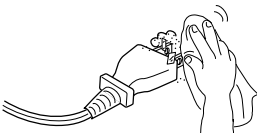
●感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

●本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

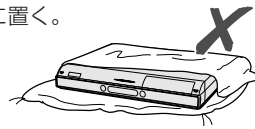
●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

●そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

●通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

- あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

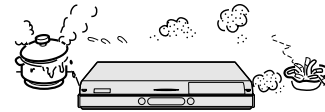
重いものを置かない

●本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

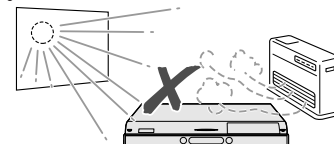
●ディスクトレイの上にものを置かないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

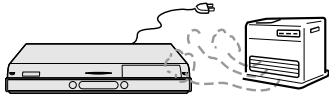
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

●つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

●内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

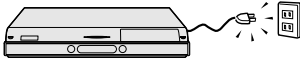
● 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

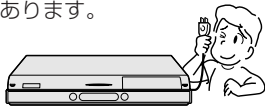
● 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

● 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

● コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

● 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

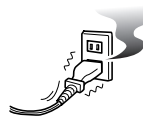
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

● 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。

● 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

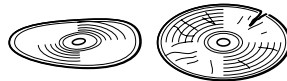
● 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ディスクトレイ開閉口に手を入れない

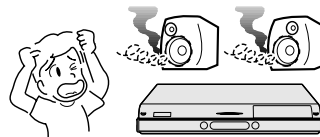
● 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

● 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

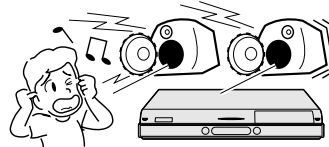
長時間、音が歪んだ状態で使わない

● スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

本機をテレビやオーディオ機器と接続したときは電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

● 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

次ページへつづく ▶▶▶

⚠ 注意

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

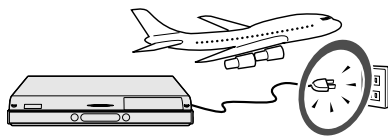
禁止

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

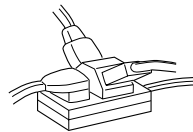
● 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

タコ足配線をしない

● 感電・火災の原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

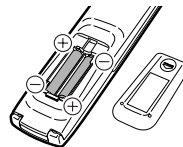
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

● 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

● 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

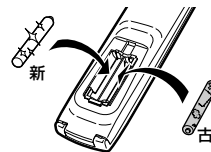
電池の液が漏れたときは素手でさわらない

● 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

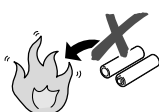
● 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

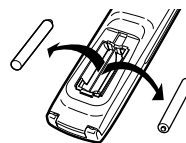
指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

● 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

重要

● お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は**……事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。

■ **録画(録音)内容の補償はできません**……万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ **著作権について**……あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

■ **録画防止機能について**…本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

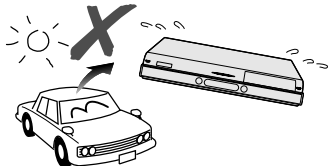
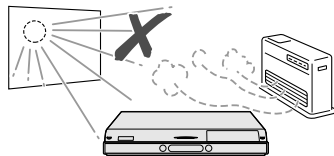
■ **保証について**……本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ **再生の制限について**……本機は、無許諾のディスク(海賊版など)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

ご注意

- お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

高温の場所で使用しないでください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合は

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

本体背面のファンや通風孔をふさがないでください

- 本体を設置する際は、本体背面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台やAVラック等に収納して設置するときはご注意ください。

×

- 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

- 不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

- 立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

- 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- ディスクトレイの上に物を置かないでください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
  また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

接続機器について

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

次ページへつづく ▶▶▶

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

- ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

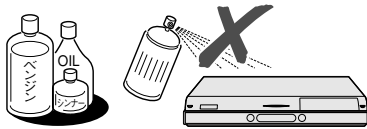
使用温度について

- 室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

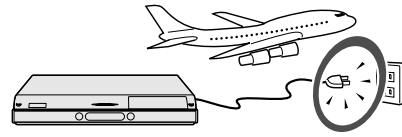
結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

節電について

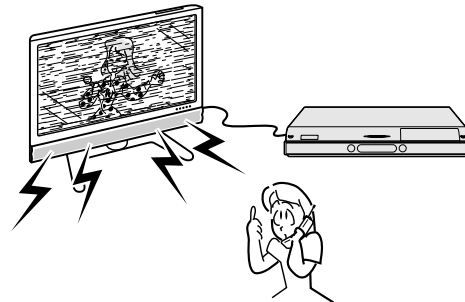
- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

磁気について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

電磁波妨害について

- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

本機の電源について

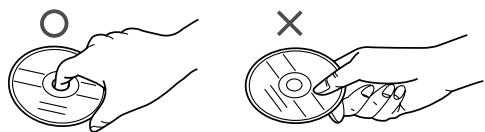
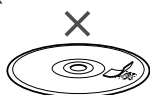
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
- 「クイック起動設定」（**78**ページ）が「する」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。

キャビネットについて

- 本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
- 使用上のご注意（**11**、**12**ページ）もご覧ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（**101** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

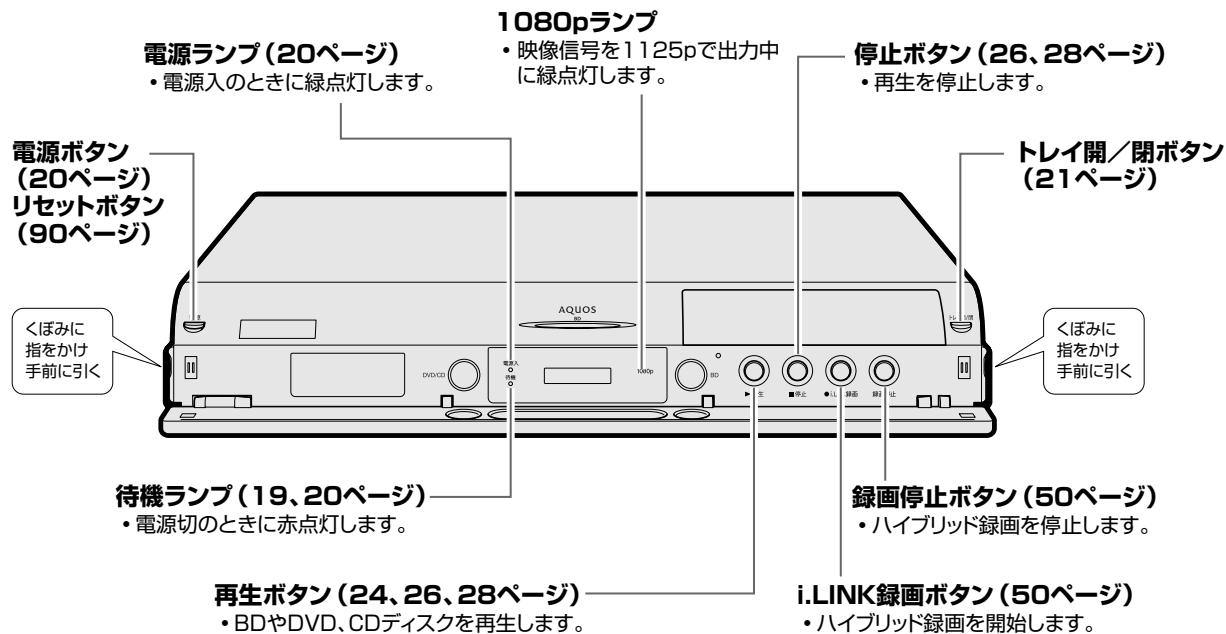
つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと
ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

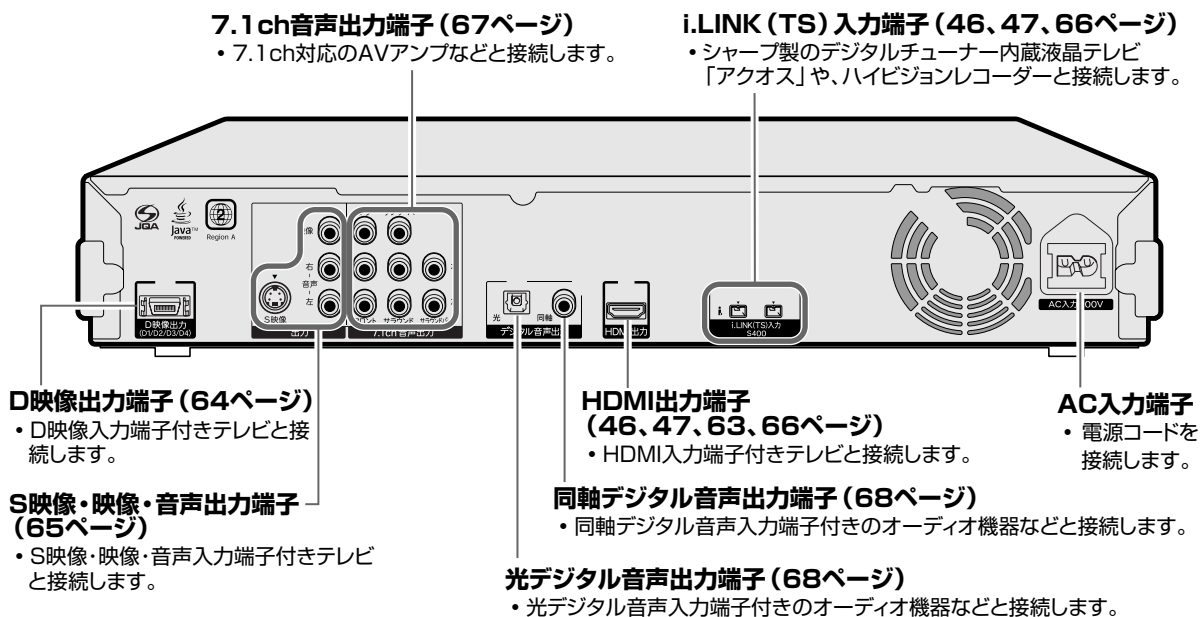
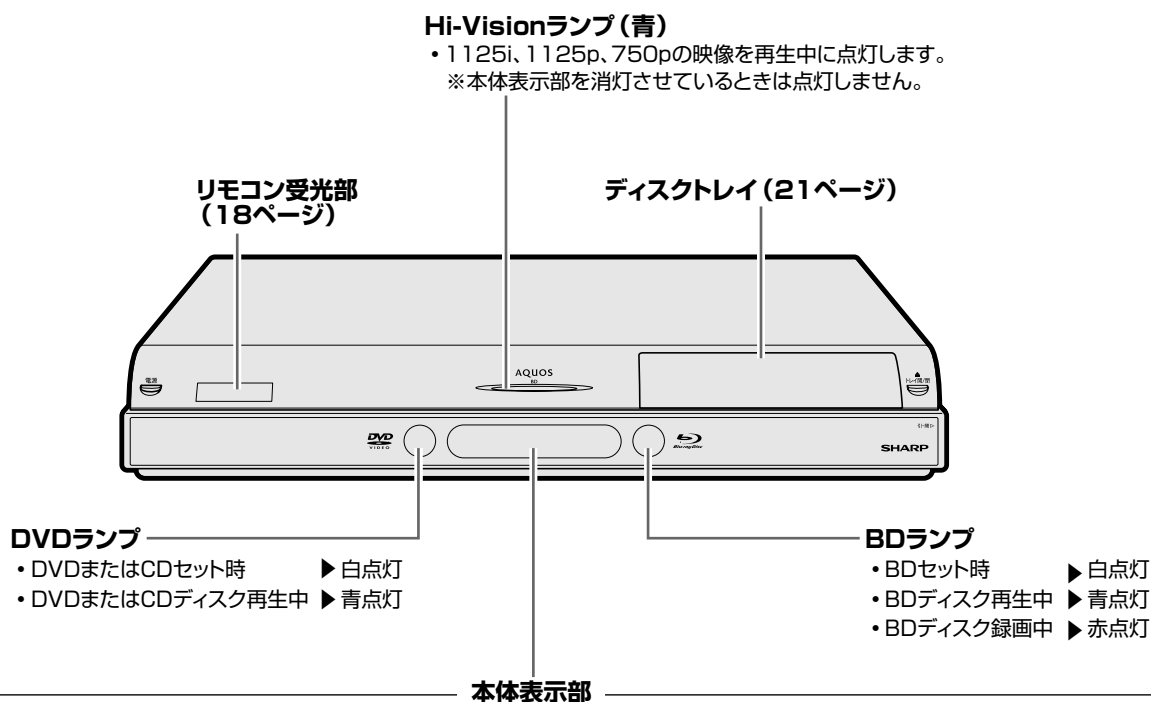
つゆをとるには
ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

各部のなまえとおもな機能

本体前面（扉内）

本体背面

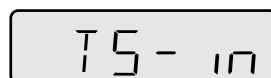
● 接続についてくわしくは 61 ページ

表示部の動作表示例

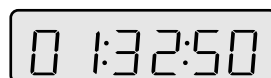
本体表示部

再生時

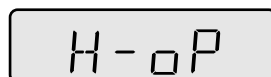
再生カウンター表示

i.LINK 入力時

i.LINK 入力表示

i.LINK録画設定で、i.LINK（TS）接続した機器を選択し、録画用のBD-REがセットされている（ディスクが停止している）ときに上記の表示となります。

ハイブリッド録画／かんたん BD ダビング時

録画カウンター表示

HDMI 出力／ D 映像出力切換表示時

HDMI 出力表示

D 映像出力表示

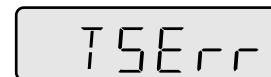
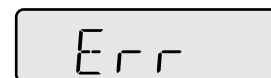
メニュー画面の操作時

「MENU」表示

リセット操作時

リセット表示

エラー発生時

エラー表示

i.LINK（TS）入力時不具合が発生したとき（詳しくは **92** ページ）

動作不具合が発生したとき

本体のランプや表示部のバックライトを消したいときは

常に消灯

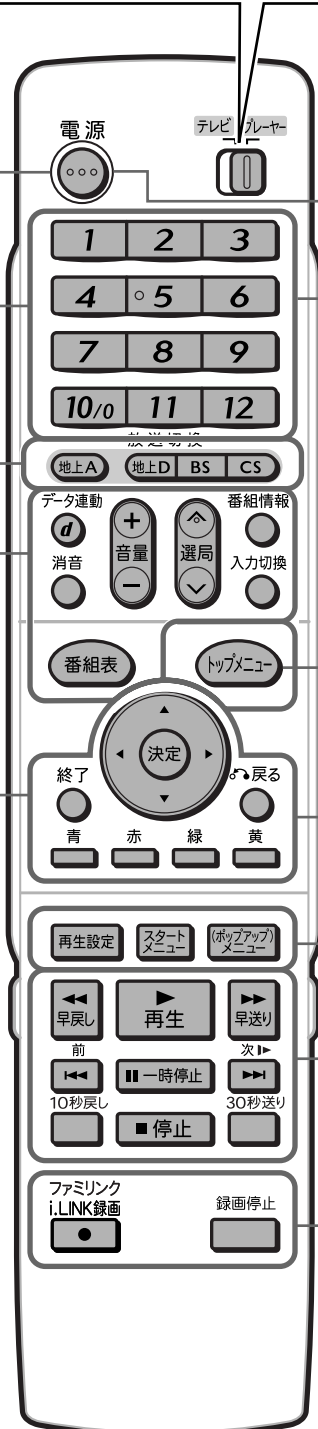
● スタートメニューから「各種設定」－「液晶設定」（**73**ページ）で設定してください。

一時的に消灯

（リモコンふた内）

消灯
（もう一度押すと点灯）

リモコン

●本機のリモコンで、本機とテレビを操作することができます。リモコンのテレビメーカー指定を「シャープC」（シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」）に設定しているときは、「テレビを操作するボタン」が全て操作ができます。他メーカーのテレビなど、その他のテレビでは、電源、音量、選局、入力切換が操作できます。（テレビメーカー指定（→ **84** ページ）が必要です。）

※電源
・テレビの電源を入／切します。

※チャンネル・数字
・チャンネルを選局します。

※地上A/地上D/BS/CS
・地上アナログ放送やBSデジタル放送など、放送の種類を切り換えます。

※データ連動
・テレビ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

消音
・音を一時的に消します。

音量
・音量を調整します。

※選局
・テレビのチャンネルを切り換えます。

※番組情報
・視聴中に、番組の詳細な情報を表示します。

※入力切換
・外部入力に切り換えます。

※番組表
・電子番組表を表示します。

※決定　カーソル　終了　戻る
・メニューなどの設定画面で、項目の選択、決定、前の画面に戻る、メニューを閉じる、などの操作をします。

※青　赤　緑　黄（カラーボタン）
・メニューや電子番組表の画面に使いかたが表示されている場合に操作できます。

※電源（20ページ）
・電源を入／切します。

※数字（41、57、76ページ）
・数字を入力します。

トップメニュー（27ページ）
・録画リストや、BD、DVDのメニューを表示します。

※決定　カーソル　終了　戻る（22ページ）
・スタートメニューなどの設定画面で、項目の選択、決定、前の画面に戻る、メニューを閉じる、などの操作をします。

※青　赤　緑　黄（カラーボタン）（23、29ページ）
・メニューや録画リストの画面に使いかたが表示されている場合に操作できます。

（ポップアップ）メニュー（27ページ）
・BDのポップアップメニューやDVDのメニューを表示します。

スタートメニュー（22ページ）
・スタートメニューを表示します。

再生設定（40ページ）
・再生に関する設定を行います。

再生操作に使うボタン（26、34ページ）
・再生、一時停止、早送りなど、再生や録画したタイトルの場面を探す操作などに使います。

ファミリンク i.LINK録画（50ページ）
・i.LINK接続したテレビの映像を録画できます。（ハイブリッド録画）

録画停止（50ページ）
・i.LINK録画（ハイブリッド録画）を停止します。

お知らせ
・「テレビを操作するボタン」の機能と操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

・※のボタンは、テレビ／プレーヤー切換スイッチに合わせてテレビまたはBDプレーヤー（本機）を操作するボタンです。

テレビを操作するボタン

ふたを開けたところ

本機を操作するボタン

テレビ用

画面サイズ
- 画面サイズを切り換えます。

i.LINK
- テレビをi.LINK入力に切り換えて、テレビにつないだi.LINK機器の操作パネルを表示します。

ファミリンク 機能選択
- ファミリンク機能選択メニューを表示させます。

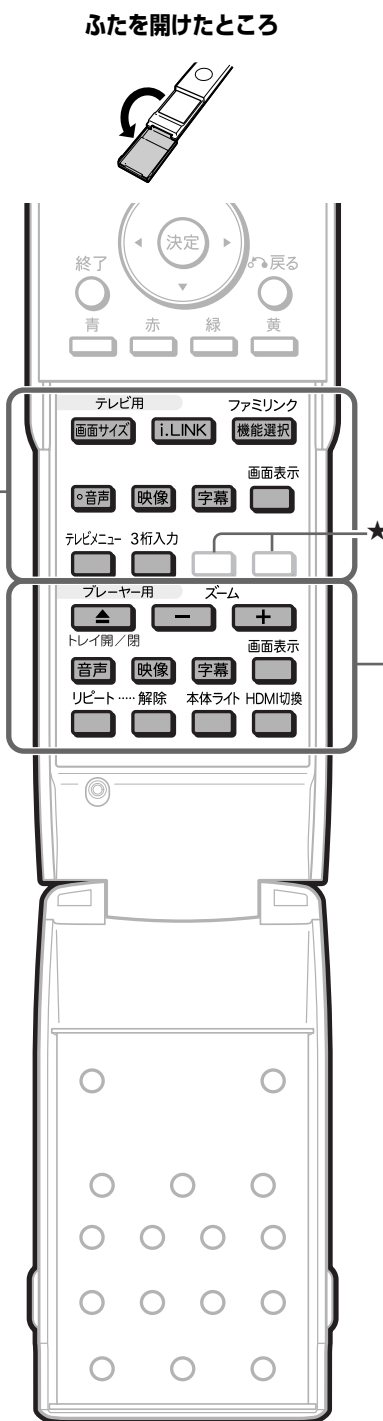
音声
- 音声を切り換えます。

映像
- 映像を切り換えます。

字幕
- 字幕を切り換えます。

画面表示
- 画面表示を入／切します。

テレビメニュー
- テレビのメニュー画面を表示させます。

3桁入力
- デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

プレーヤー用

トレイ開／閉（⏏）（21ページ）
- ディスクトレイを開／閉します。

ズーム（＋／－）（37ページ）
- 再生中の映像を拡大表示します。

音声（38ページ）
- 音声を切り換えます。

映像（39ページ）
- 映像を切り換えます。

字幕（39ページ）
- 字幕を切り換えます。

画面表示（25、83ページ）
- 画面表示を入／切します。
- リモコン番号を切り換えます。

リピート……解除（42ページ）
- リピート再生の設定／解除をします。

本体ライト（15ページ）
- 液晶バックライトと本体前面のランプを消灯させるときに押します。

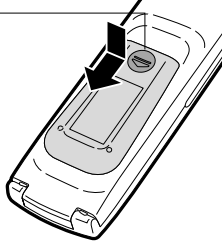
HDMI切換（63ページ）
- HDMI出力端子とD映像出力端子の両方を使ってテレビと接続したときに、どちらの端子から映像を出力するかを選べます。

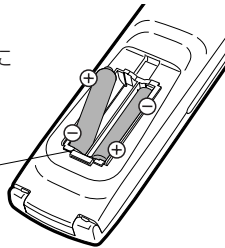
★ふたの上のボタンを動作させるためのボタンです。ふたを開けたときには働きません。

次ページへつづく ▶▶▶

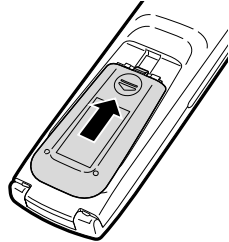
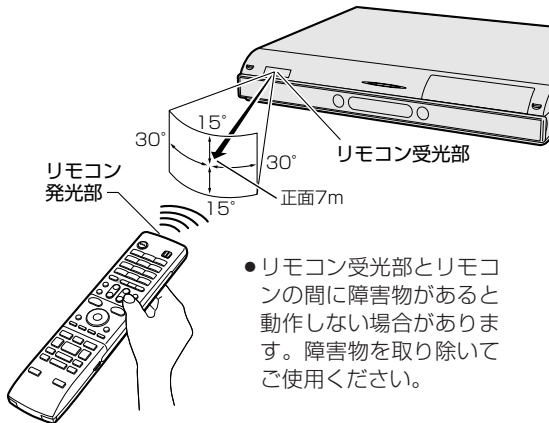
リモコンに電池を入れる

電池の入れかたと操作範囲

①裏ぶたを開ける

②付属の乾電池〈単４形×２個〉を入れる

- 収納部の ⊕⊖ の表示どおりに正しく入れてください。

- 新しい乾電池と交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

- カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

- リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。**

重要

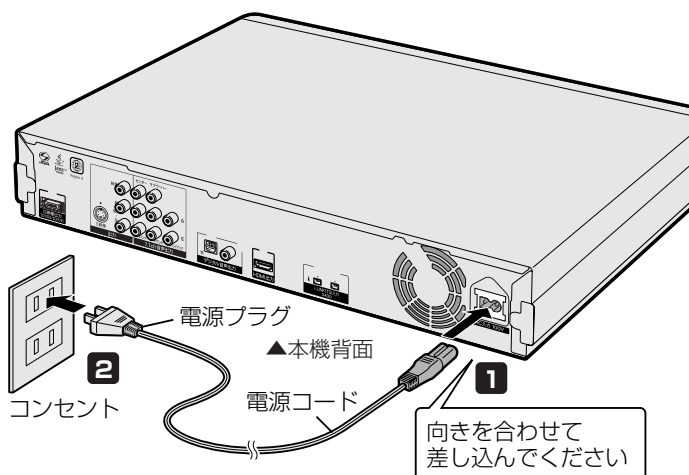
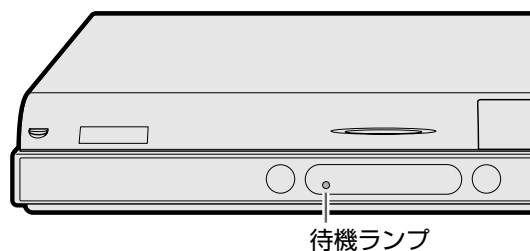
- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、５分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しいアルカリ乾電池と交換してください。(寿命は通常６カ月〜１年が目安です。)
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約１日）電池のない状態が続いたときは「リモコン番号」(**82**、**83**ページ) や「テレビメーカー指定」(**84**ページ)がリセットされますので、設定し直してください。

テレビと本機の準備をする

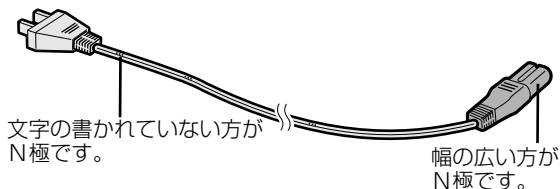
テレビと本体の電源を入れ、本機を操作するための準備をします。

電源プラグを差し込む

必要な接続が済んだら、本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をテレビのアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

● 1 → 2 の順に差し込んでください。

- 待機ランプが点灯するまでに多少時間がかかりますので点灯するまでお待ちください。
（待機ランプ点滅中はシステム準備中のため、電源「入」にできません。）

電源コードの極性について

- 本機の電源コードには極性があります。

これは、よりよい音質でお楽しみいただけるように壁のコンセントの差し込み口との極性を合わせるためです。壁のコンセントの差し込み口に長短がある場合は、長い穴がN極側です。長短がない場合は、極性がわかる市販の検電ドライバーで調べます。

ご注意

・本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、時計表示など本機の設定内容がリセットされてしまうことがあります。

電源コードの抜き差しについて

・電源コードを抜くときは、本機の電源を待機状態にして、ディスクを取り出してから行ってください。
・ディスク再生中など本機が動作している状態で電源コードを抜いたりしたときは、ディスクに傷が付くなど、ディスクが使用できなくなる場合があります。

次ページへつづく ▶▶▶

テレビと本機の準備をする

ご注意

- 本機のリモコンを工場出荷状態でご使用になるときに操作できるテレビは、シャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」です。それ以外のシャープ製テレビや、シャープ製以外のテレビを操作するときは、リモコンのテレビメーカー指定を行ってください。(→**84**ページ)
- リモコン操作をすると他のシャープ製DVDレコーダーやDVDプレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。(→**82**、**83**ページ)
- ファミリンク対応テレビとHDMIケーブルを使用して接続しているときは、テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えると、自動的に本機の電源も入ります。

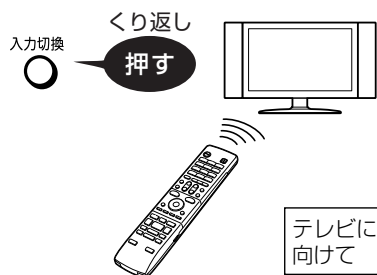
電源を入れる

1 テレビの電源を入れます

テレビを操作

テレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側にする

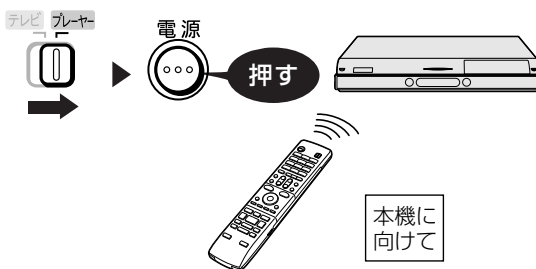
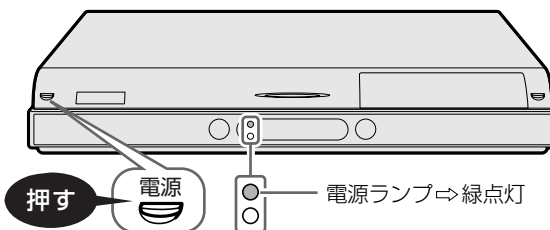
- リモコンでお使いのテレビが操作できない場合は、「テレビメーカー指定」を行ってください。(→ **84** ページ)

2 テレビの入力を、本機を接続した入力（「入力 1」など）に切り換えます

3 本機の電源を入れます

本機を操作

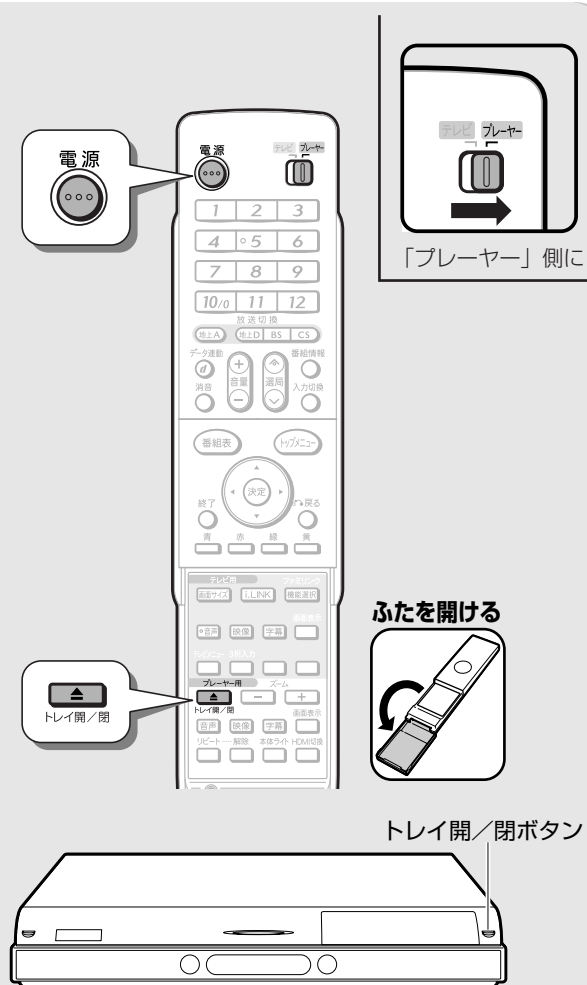
テレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側にする

- リモコンのテレビ入力自動切換機能（→**85**～**86**ページ）が設定されているときは、自動でテレビの入力が切り換わります。（手順 **2** の操作は不要です。）

■リモコンのボタンで電源を入れる場合

■本体のボタンで電源を入れる場合

電源を切る

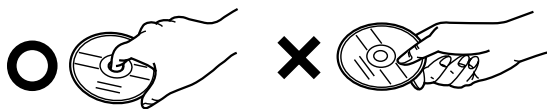
もう一度電源ボタンを押すと電源が切れます

ディスクの入れかた・出しかた

BDやDVDディスクの入れかたと取り出しかたについて説明します。

お知らせ

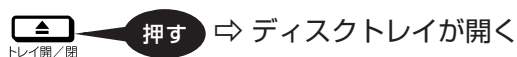
- ・本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」(→88ページ)をご覧ください。
- ・未使用のBDをセットしたときは、「初期化する」「ディスク取り出し」を選択する画面になります。詳しくは「BDを初期化する」(→54ページ)をご覧ください。
- ・ディスクトレイにセットできるディスクは1枚です。2枚以上セットすると、故障の原因となります。

ディスクの持ちかた

- ●光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。

- ●ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

2 ディスクトレイを開けます

・本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが開きます。

- ●トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

・電源が切れているときでも本体の「トレイ開／閉」ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます

- ●ラベル印刷面を上にして置きます。
- ●両面記録のディスクは、録画または再生したい面を下にして置きます。

4 ディスクトレイを閉めます

・本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが閉まります。

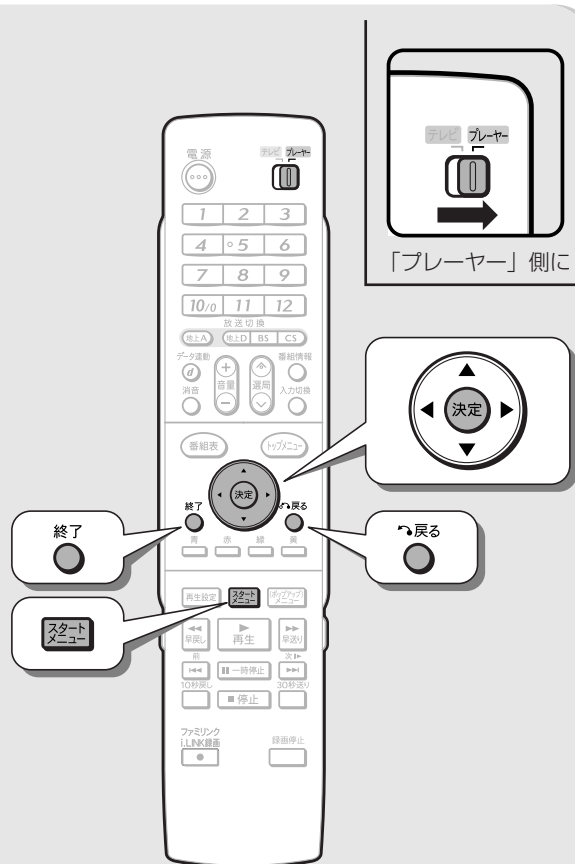
・セットすると自動的に再生が始まるディスクもあります。
・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクの出しかた

⇨ ディスクトレイが開く
▶ ディスクを取り出す

・本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが開きます。

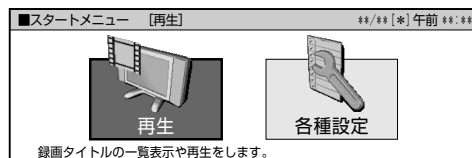
スタートメニューの使いかた

スタートメニューから本機のほとんどの操作・設定ができます。

1 テレビと本機の準備をします

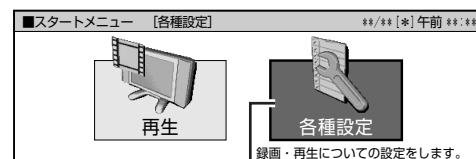
20ページ

- 電源を入れると、自動的にスタートメニューが表示されます。

2 自動的にスタートメニューが表示されないときは スタートメニューを表示させます

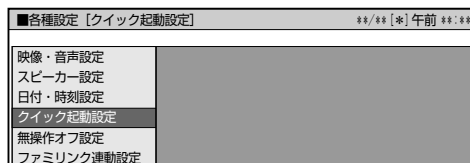
⇨ スタートメニューを表示します

- スタートメニューを消したいときは、もう一度 スタートメニュー を押します。

3 項目を選んで決定します

例)「各種設定」を選んだとき

選んだ項目は黄色で表示

⇨ 選んだ項目の画面になります

4 さらに項目を選んで決定します

例)「各種設定」－「クイック起動設定」を選んだとき

⇨ 選んだ項目の画面になります

5 設定します

・ 戻る を押すと、1つ前の画面に戻れます。

6 設定を終了します

⇨ スタートメニュー画面を終了します

■スタートメニューのあらまし

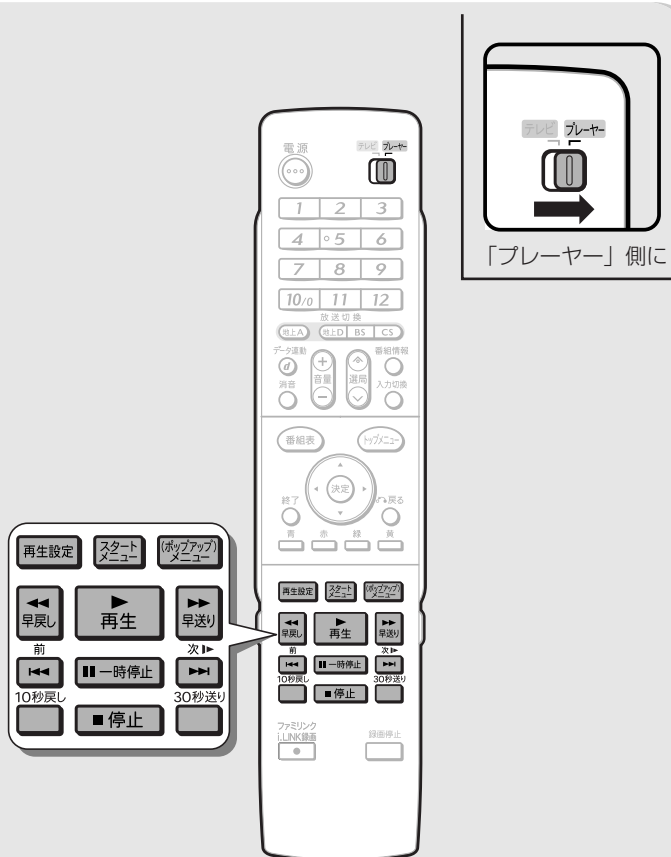
再生について

BD や DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

「プレーヤー」側に

・一般にBDやDVDの再生音量は小さく感じられるため、テレビの入力を切り換えたときなど、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。BD や DVD 再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生後必ず音量を下げてください。

お知らせ

・再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（→ **93** ページ）をご覧ください。

再生のしかた

市販のBDビデオやDVDビデオ（映画など）を再生したい	市販のBDビデオやDVDビデオを再生する ▶**26**ページ
BDに録画したタイトル（番組）を再生したい	録画リストから再生する ▶**28**ページ
DVDディスクに録画したタイトル（番組）を再生したい	録画リストから再生する ▶**28**ページ
他機で録画したDVDディスクを再生したい	ファイナライズされたDVDディスクを再生する ▶**31**ページ
音楽CDを再生したい	音楽CDを再生する ▶**32**ページ

■停止中

⇨ 最後に再生したあるいは BD に最後に録画したタイトルが再生されます。電源を「入」にした直後は、ディスクの最初から再生されます。

・前回再生を途中で停止していた場合は、その箇所から再生が始まります。（つづき再生）
・最初から再生したい場合は、録画リスト画面で「黄」ボタンを押し、「再生」→「最初から」を選んでください。(→ **33** ページ)

再生中の便利機能

■いろいろな再生 ▶ 34 ページ

サーチやスロー再生、スキップなど、いろいろな再生ができます。

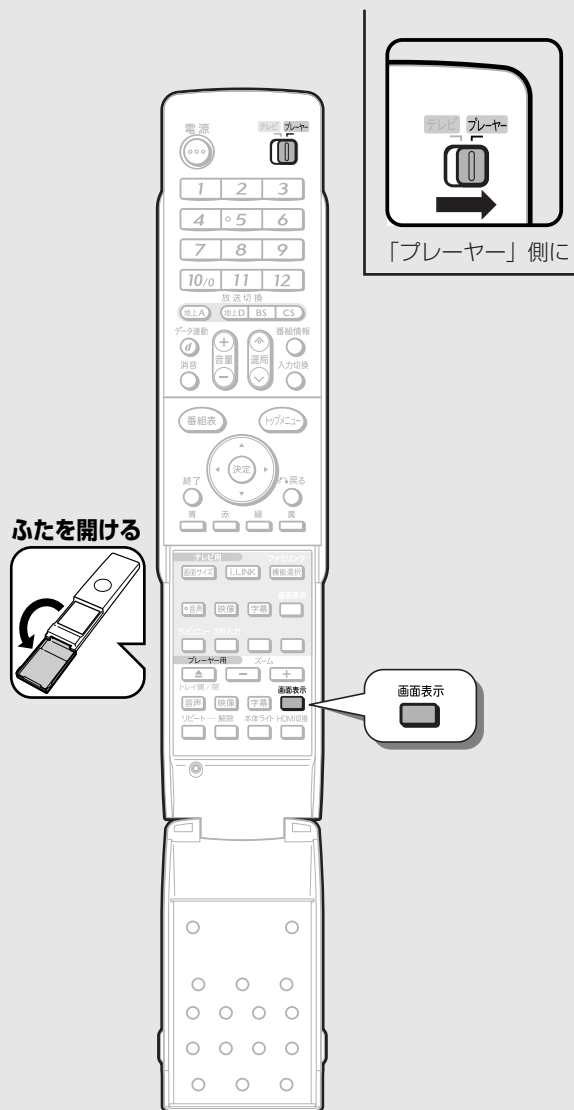
■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え ▶ 38 ページ

「再生設定」を使ってもさまざまな操作ができます。

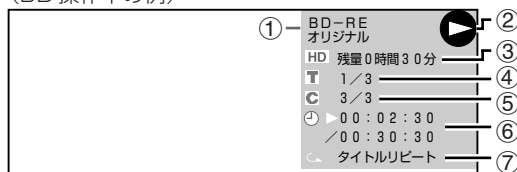
■くり返し再生する ▶ 42 ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

ディスクの残り時間やカウンター表示

再生時のカウンターなどの情報をテレビ画面に表示できます。録画用のBD-REをセットしているときは、ディスクの残り時間が表示できます。

プレーヤー用の 画面表示 押す（ふた内）

⇨ ディスクの残り時間やカウンターを表示します（約1分後に自動的に消えます）

（BD操作中の例）

・もう一度プレーヤー用の「画面表示」ボタンを押すと、消えます。再生／録画中であればカウンター表示だけになります。カウンター表示を消すには、もう一度プレーヤー用の「画面表示」ボタンを押してください。

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- セットしたディスクの種類を表示
- オリジナルタイトルを再生するかプレイリストを再生するかを表示
- DVDディスクを再生するときは、加えて録画フォーマットを表示
  VR：VRフォーマット
  V　：ビデオフォーマット
- ファイナライズしたビデオフォーマットのDVDディスクをセットしたとき、および、ファイナライズしたVRフォーマットのDVD-Rをセットしたときは「ファイナライズ済」の表示になります。

② 動作表示
- 再生中（青いマーク）
- 録画停止時（赤いマーク）
- 録画開始時（赤いマーク）
- 再生停止時（青いマーク）

③ 残量時間（録画可能時間）を表示
- 残量時間は、録画できる残り時間（録画可能時間）が表示されます。
- 残量時間は、録画のときに表示されます。
  録画できないディスクがセットされたときは、ディスク残量表示部が空欄または「残量0時間00分」と表示されます。

④ 再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

⑤ 再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑥ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示
録画中は、録画開始からの経過時間を表示

⑦ リピート再生をしているときに表示

お知らせ

- ・ディスク残量表示は、目安です。録画中の残量表示と録画停止時点での表示が一致しないこともあります。
- ・一部の市販のBDビデオでは、チャプターやカウンターの総時間表示が出ないことがあります。
- ・コンセントから電源コードを抜いたあと再び接続して電源を入れた場合や、リセット操作（→**90**ページ）を行うと、「ディスクを確認しています。」の表示が出ることがあります。表示が消えるまでお待ちください。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

1 テレビと本機の準備をします

20 ページ

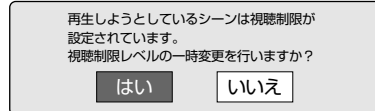
2 ディスクをセットします

21 ページ

・セットすると自動的に再生が始まるディスクもあります。
・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

3 再生を始めます

・DVDビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

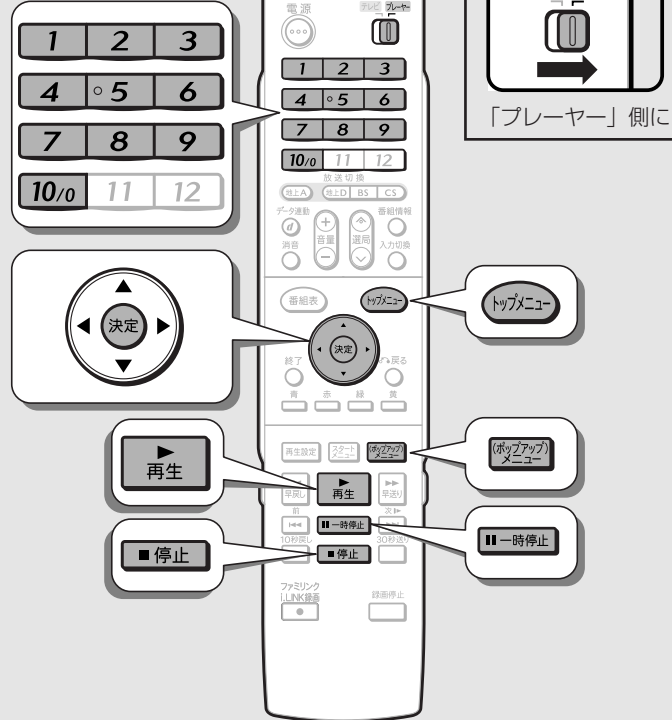
再生しようとしているシーンは視聴制限が設定されています。
視聴制限レベルの一時変更を行いますか？
はい　いいえ

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を３回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

・BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてからBDの視聴制限の設定を変更してください。

● BD 視聴制限年齢について 73 ページ

4 再生を止めるときは

● つづき再生について
33 ページ

お知らせ

・市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
　ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
・市販のBDビデオやDVDビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
・海外テレビ番組のDVDビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源(外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
・市販の BD ビデオの再生中、コンテンツによっては自動で静止画になるものもあります。このようなコンテンツを再生し、自動で静止画になったときは［II 一時停止］を押して静止画を解除できます。

メモ

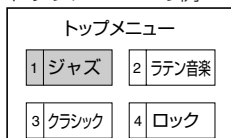
・ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」(→**27**ページ）と同じ操作で表示できます。

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

1 ディスクをセットします

2 トップメニューを表示させます

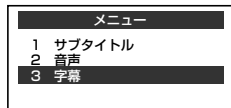
トップメニューの例

● 画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

1 ディスクをセットします

2 ディスクメニューを表示させます

ディスクメニューの例

● 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

お知らせ

・デジタル接続で再生している場合、「音声出力設定」（→**71**～**72**ページ）が「ビットストリーム」に設定されているときは BD ビデオのタイトル再生時にメニュー操作などの項目選択音が出力されません。

ポップアップメニューを表示させるには

BDビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示させます

ポップアップメニューの例

・ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 項目を選んで決定します

3 操作が終ったら、ポップアップメニューを消します

● ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

確認 準備 基本 再生 録画 接続 各種設定 リモコン設定 参考

BDやDVDに録画されたタイトル(番組)を再生する

- BD-RE や BD-R に録画された番組（タイトル）を「録画リスト」から選んで再生します。
- 他機で録画した BD-R Ver.1.1 や DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

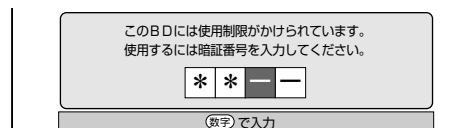
1 テレビと本機の準備をします

20 ページ

2 ディスクをセットします

21 ページ

BD をセットしたとき

・使用制限（→**56**ページ）のかかったBDをセットすると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

・暗証番号を３回まちがえると、ディスクトレイが開きます。ディスクトレイを閉じてから、正しい暗証番号を入力してください。

暗証番号を忘れたとき 57 ページ

3 録画リストを表示させます

- スタートメニューで「再生」を選んで決定し、録画リストを表示することもできます。

4 見たい番組(タイトル)を選んで決定し、再生します

選んで → 決定する ⇨ 再生

録画リストの画面例

［古い順］

1	春のイタリア観光	＊＊／＊＊［＊］	３０分
2	Ｋ－５格闘技選手権	＊＊／＊＊［＊］	３０分
3	新春、芸能人大集合	＊＊／＊＊［＊］	３０分
4	マニュアル浜口夫人	＊＊／＊＊［＊］	３０分

- 決定ボタンのかわりに 再生 を押して再生を始めることもできます。
- タイトルが7つ以上あるとき：前 次 でページ切換

・いろいろな一覧表示 29 ページ

5 再生を止めるときは

- つづき再生について 33 ページ

ご注意

・BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
・以下のディスクを再生する場合はファイナライズが必要です。
　BD-R Ver.1.1
　DVD-RW（VR フォーマット）
　DVD-RW（ビデオフォーマット）
　DVD-R（VR フォーマット）
　DVD-R（ビデオフォーマット）
・ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVDディスクは録画リストが表示されません。タイトルメニュー画面が表示されます。（→ **31** ページ）

お知らせ

・録画リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
・BD をお使いになるときは、他の人がディスクを使えないよう使用制限を設定することができます。（→ **56** ページ）
・デジタル放送を録画したディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
・番組情報は表示できません。
・連動データは表示できません。
・字幕は表示できません。

いろいろな一覧表示

■録画リストを表示させたとき

選択しているタイトルの情報

タイトル名
録画日
録画時間

カラーボタンなどの説明

• 各画面下に操作に使うボタンの説明が表示されますので、参考にしてください。

・「タイトル保護」が設定されている場合には「 」が付きます。

■タイトルの並べ換え

1 録画リストを表示させて

2 並べ換え方法を選んで決定します

■プレイリスト表示
（プレイリストのあるディスクをセットしたとき）

1 録画リストを表示させて

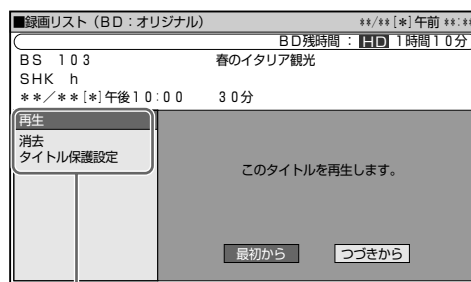
2 番組を選んで決定します ⇨ 再生

・本機では、プレイリストは作れません。

次ページへつづく ▶▶▶

録画リストからできることは

録画リストでタイトルを選んでから機能メニューを呼び出して、タイトルの消去や保護などが行えます。

1 録画リストで「機能メニュー」を選びます

- ディスクの種類や、録画リストでの切り換え（オリジナル／プレイリスト）によって、機能メニューに表示される項目が異なります。

2 それぞれの設定をします

- 操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

機能メニューでは、次のような機能を呼び出すことができます。操作について詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

■再生（→28ページ）

録画リストで選んだタイトルを再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。

■消去（→58ページ）

BD-RE Ver.2.1ディスクに限り、録画リストからタイトルを選んで消去することができます。

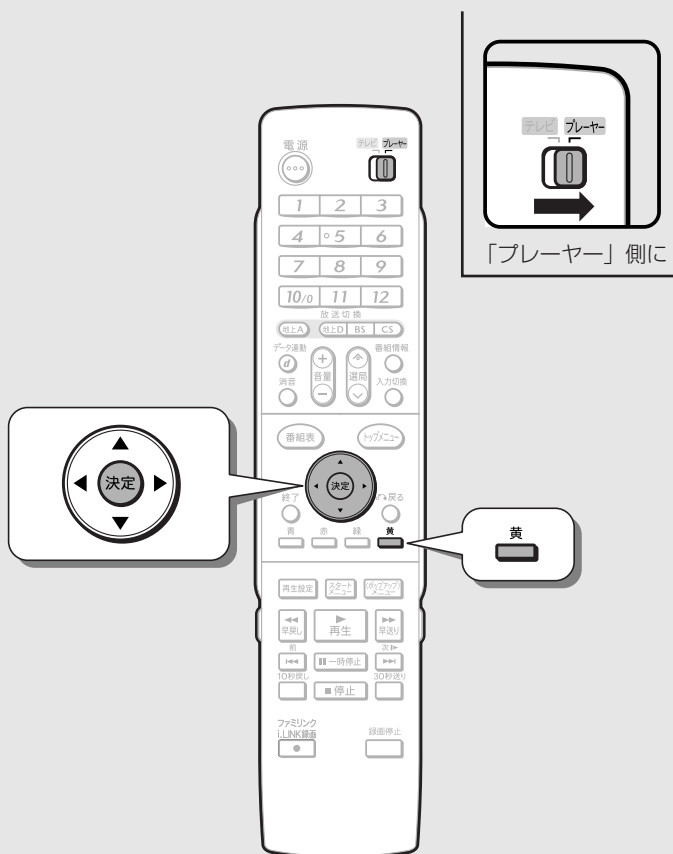
■タイトル保護設定（→60ページ）

BD-REに録画されているタイトルを保護します。誤って番組を消去してしまうのを防げます。

BD や DVD に録画されたタイトル（番組）を再生する

・DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。

お知らせ

・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

ファイナライズされたDVDを再生する

ファイナライズされたディスクであれば他機で録画したDVDディスクも再生できます。（ファイナライズされていないDVD ディスクは本機で再生できません。）

1 テレビと本機の準備をします 20 ページ

2 ディスクをセットします 21 ページ

3 再生を始めます

・最初から再生されます。

4 再生を止めるときは

■タイトルを選んで再生させるには

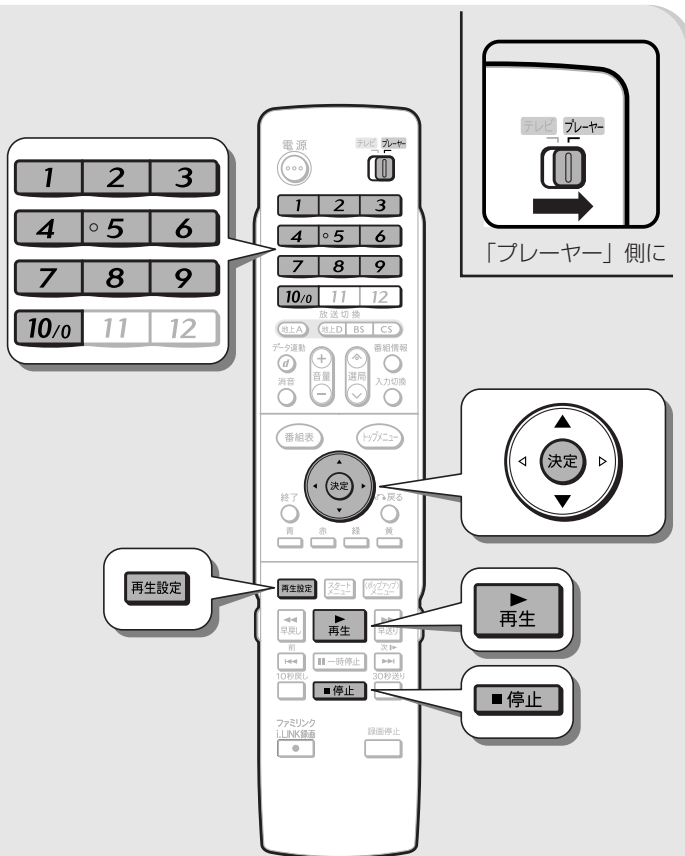
1 停止中にタイトルメニューを表示させます

2 タイトルを選んで決定します

選んで　決定する　⇨ 再生

（タイトルメニュー例）

音楽 CD を再生する

市販の音楽 CD を再生できます。

1 テレビと本機の準備をします 20 ページ

2 CD をセットします 21 ページ

3 再生を始めます

・最初から再生されます。

4 再生を止めるときは ■停止 押す

曲を選んで再生させるには

1 CDをセットして再生設定画面を表示させます

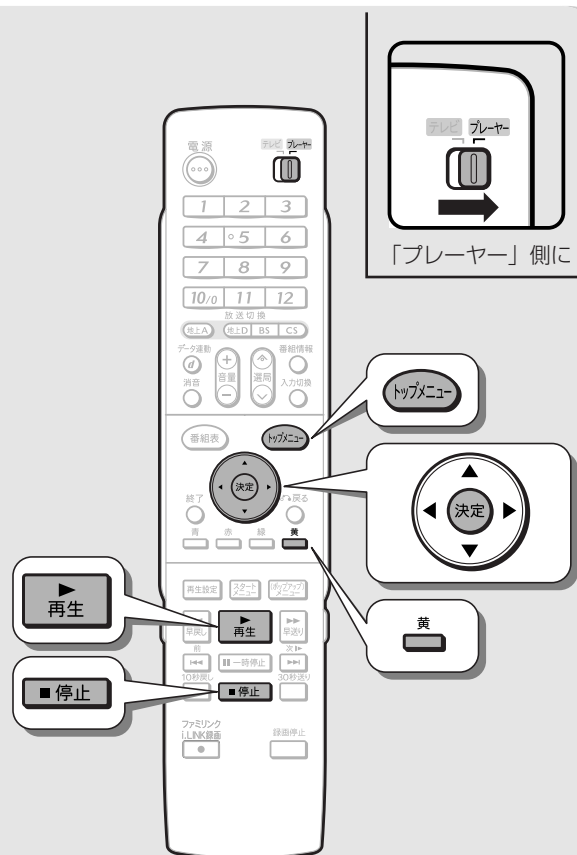
2 「T」を選んで決定します

3 曲番号を選んで決定します

・選んだ曲から再生されます。

・リモコンの数字ボタンでも曲番号を指定できます。

停止した場所からつづけて再生する（つづき再生）

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

- ・市販のBDビデオ、DVDビデオ、ファイナライズしたビデオフォーマットのDVD-RW/-Rのつづき再生は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと働かなくなります。
- ・音楽用CDはつづき再生が働きません。
- ・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

再生ボタンでつづき再生するには

市販のBDビデオ / BD-RE / BD-R / 市販のDVDビデオ / DVD-RW VR / DVD-R VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R ビデオ / 音楽用CD

- 再生を停止した後で、［▶再生］を押したり録画リストから選んで再生すると、つづきを再生できます。

はじめから再生するには

市販のBDビデオ / BD-RE / BD-R / 市販のDVDビデオ / DVD-RW VR / DVD-R VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R ビデオ / 音楽用CD

- ［▶再生］を押すとつづき再生になる場合でも、「機能メニュー」を使うとはじめから再生できます。

1 録画リストで再生したいタイトルを選びます

2 機能メニューを選びます

黄（機能メニュー）押す ⇨ 機能メニューを表示

3 「再生」を選んで決定します

4 「最初から」を選んで決定します

⇨ 選んだタイトルを最初から再生

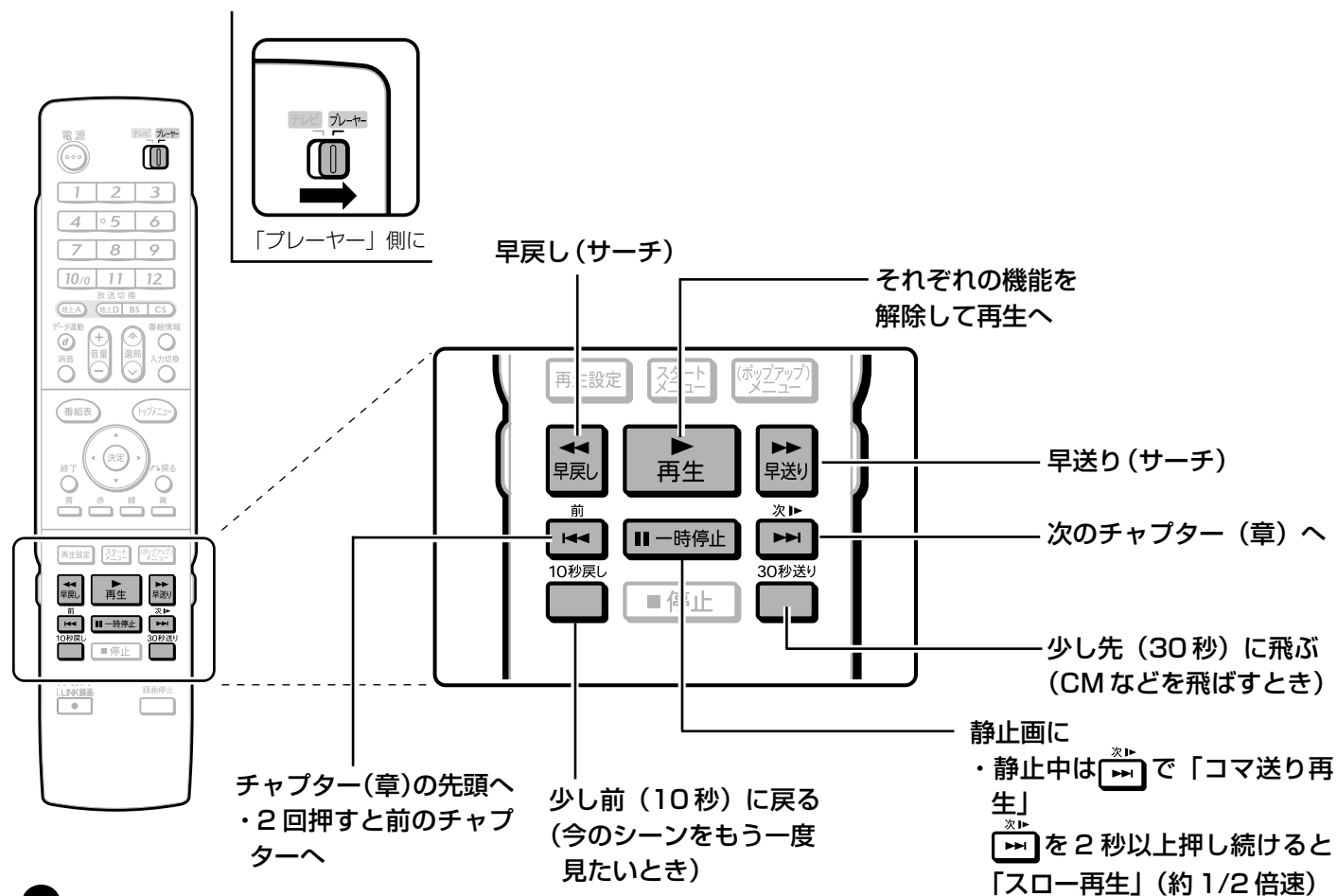
BDビデオやDVDビデオの場合

市販のBDビデオ / BD-RE / BD-R / 市販のDVDビデオ / DVD-RW VR / DVD-R VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R ビデオ / 音楽用CD

- ［■停止］を2回押して停止した後、［▶再生］を押すと、はじめから再生されます。

再生中に使えるボタン

ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

ご注意

・ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

音楽用CDの再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・コマ送り

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
・逆スロー再生はできません。

静止画再生 / コマ送り再生について
・VRフォーマットのDVD-RW/-R以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
※BDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。
・コマ戻し再生はできません。

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
・データ放送や字幕は再生できません。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」(→94ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・静止画再生／コマ送り再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

早送り/早戻しするには（サーチ）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

再生中の映像を早送り／早戻しできます。

1 再生中に

または
⇨ 押すたびにサーチの速さが変わります

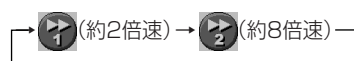
BD を再生しているとき

（約2倍速）→（約8倍速）→（約30倍速）

DVD ディスクを再生しているとき

（約2倍速）→（約8倍速）→（約30倍速）

音楽用 CD を再生しているとき

（約2倍速）→（約8倍速）

2 サーチを解除するときは

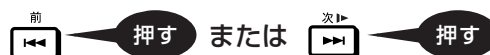
⇨ サーチが解除され、再生画面に戻ります

- タイトルをまたぐサーチはできません。

チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

チャプター（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。

1 再生中に

または
⇨ 次 を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします
前 を押すと、いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります
２回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります

静止画にするには（静止画再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

静止画再生ができます。

1 再生中に

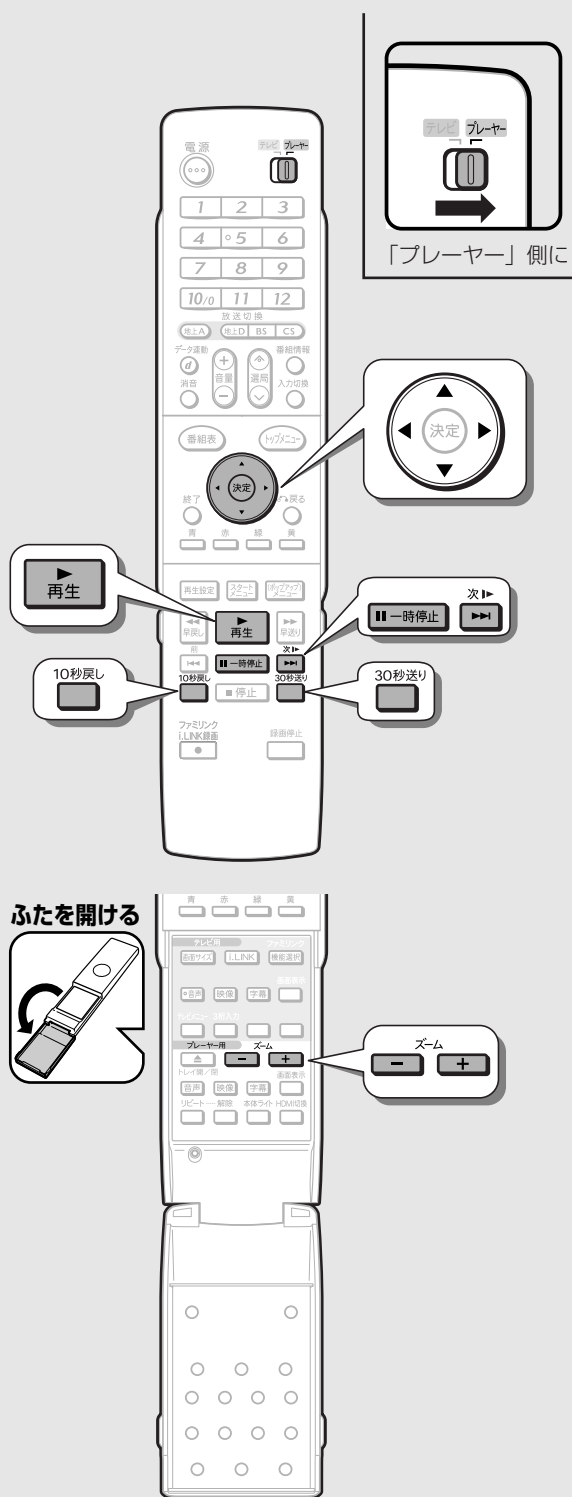
⇨ 静止画再生します

- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。

2 静止画再生を解除するときは

⇨ 静止画再生が解除され、再生画面に戻ります

- 一時停止 を押しても解除できます。

次ページへつづく▶▶▶

コマ送りするには（コマ送り再生）

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

コマ送り再生ができます。

1 静止画再生中に

⇨ 次 を押して離すと、コマ送りします

2 コマ送り再生を解除するときは

⇨ コマ送り再生が解除され、再生画面に戻ります

- DVDディスクを再生する場合、VRフォーマットのDVD-RW/R以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

スローモーションで見るには（スロー再生）

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

スローモーション再生ができます。

1 静止画再生中に

⇨ 約 1/2 倍速のスロー再生します

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

2 スロー再生を解除するときは

⇨ スロー再生が解除され、再生画面に戻ります

- タイトルをまたぐスロー再生はできません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

市販の BD ビデオ｜BD-RE｜BD-R｜市販の DVD ビデオ｜DVD-RW VR｜DVD-RW ビデオ｜DVD-R VR｜DVD-R ビデオ｜音楽用 CD

約 30 秒先に送ることができます。
- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 30 秒先にジャンプします

少し前に戻すには（10 秒戻し）

市販の BD ビデオ｜BD-RE｜BD-R｜市販の DVD ビデオ｜DVD-RW VR｜DVD-RW ビデオ｜DVD-R VR｜DVD-R ビデオ｜音楽用 CD

約 10 秒前に戻すことができます。
- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 10秒前に戻って再生します

画面を拡大して見るには（ズーム）

市販の BD ビデオ｜BD-RE｜BD-R｜市販の DVD ビデオ｜DVD-RW VR｜DVD-RW ビデオ｜DVD-R VR｜DVD-R ビデオ｜音楽用 CD

再生中の映像を拡大して見ることができます。

1 再生中に

ズーム

（ふた内）

押す ⇨映像を拡大します

- 3 段階のズームができます。
- ディスクによってはズームができない場合があります。

2 見たい場所を移動します

⇨ 拡大した映像を移動します

3 元の大きさに戻すときは

ズーム

（ふた内）

⇨ 元の大きさに戻ります

- 元の大きさに戻るまで、何回か押します。

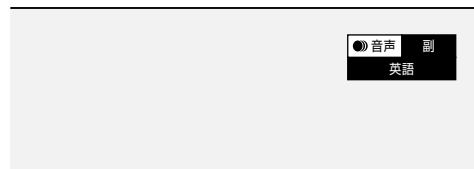
再生中に音声や字幕を切り換える

再生中に音声・字幕・映像の切り換えができます。

音声を切り換えるには

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

プレーヤー用の 音声（ふた内） 押す ⇨ 押すたびに音声を切り換えます

音声表示の例

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
- 現在再生されている音声番号が表示されます。

- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

■再生設定で切り換えるには

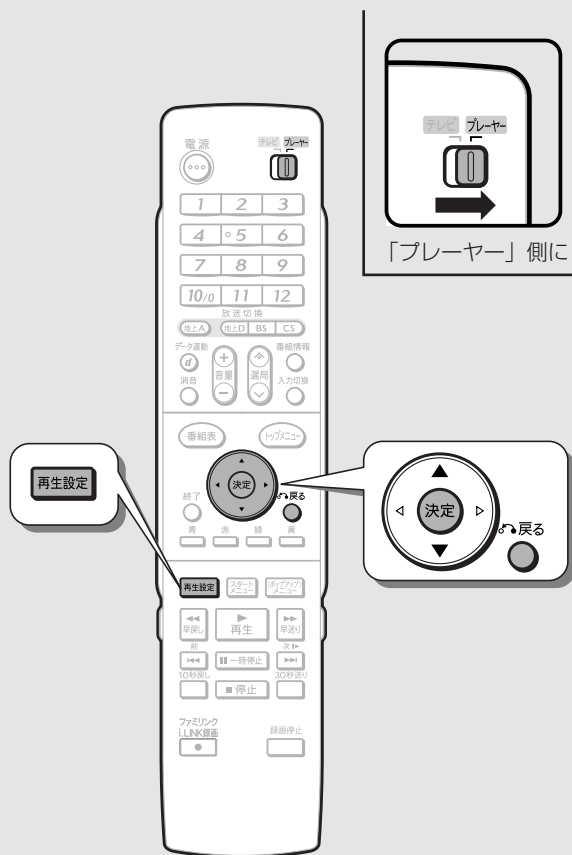
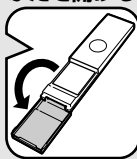
1 主・副音声のあるタイトル再生中に

再生設定 押す ⇨ 再生設定画面を表示します

40 ページ

2 「 ◉» 」を選んで決定します

3 音声を選んで決定します

4 再生設定画面を消すには

ご注意

- 次のような場合は、ニヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク（マルチカラオケ音声）は音声切換ができません。
- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、オーディオ機器側で音声切換の操作を行ってください。

お知らせ

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
- データ放送や字幕は再生できません。

字幕を切り換えるには

市販のBDビデオ　BD-RE　BD-R　市販のDVDビデオ　DVD-RW VR　DVD-R VR　DVD-RW ビデオ　DVD-R ビデオ　音楽用 CD

1 字幕のあるタイトルを再生中に

プレーヤー用の 字幕 押す
（ふた内）

⇨ 押すたびに字幕を切り換えます

字幕表示の例

■再生設定で切り換えるには

1 字幕のあるタイトルを再生中に

再生設定 押す　⇨ 再生設定画面を表示します
40ページ

2 「 」を選んで決定します

3 字幕を選んで決定します

4 再生設定画面を消すには

映像やアングルを切り換えるには

市販のBDビデオ　BD-RE　BD-R　市販のDVDビデオ　DVD-RW VR　DVD-R VR　DVD-RW ビデオ　DVD-R ビデオ　音楽用 CD

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

プレーヤー用の 映像 押す
（ふた内）

⇨ 押すたびに映像を切り換えます

映像表示の例

■再生設定で切り換えるには

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

再生設定 押す　⇨ 再生設定画面を表示します
40ページ

2 「 」を選んで決定します

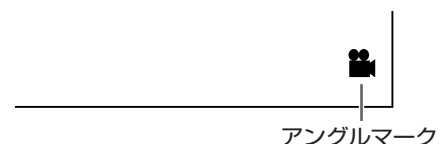
3 映像を選んで決定します

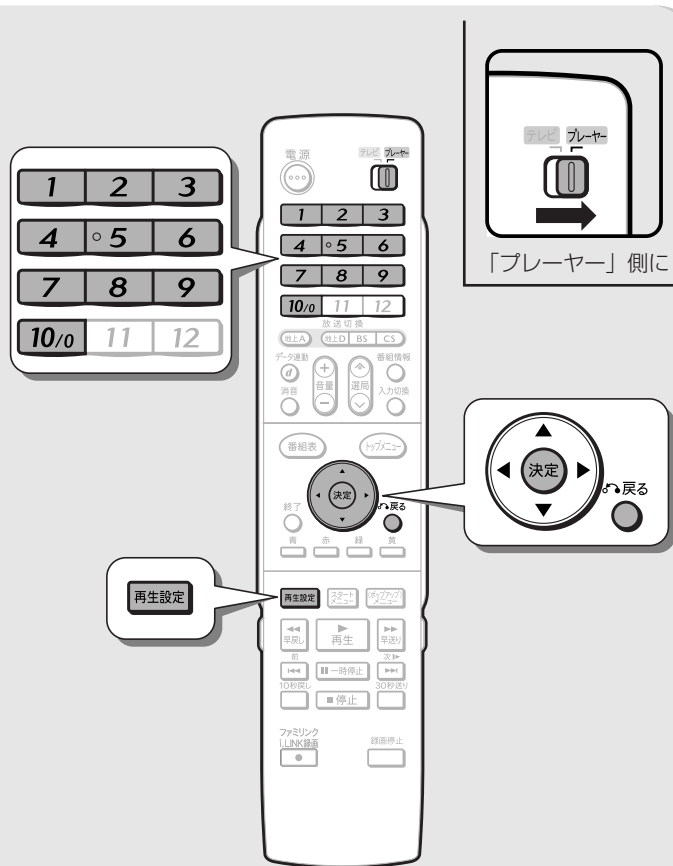
4 再生設定画面を消すには

各機能の切り換えについて

・字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき

・アングルが記録されているシーン（場面）で、アングルマークを表示するように設定できます。
・「スタートメニュー」－「各種設定」－「BD/DVD再生設定」－「アングルマーク表示」（→**73**ページ）で設定します。
・表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

再生中に設定をする（再生設定）

再生しながら、いろいろな設定をまとめて行うことができます。

ご注意

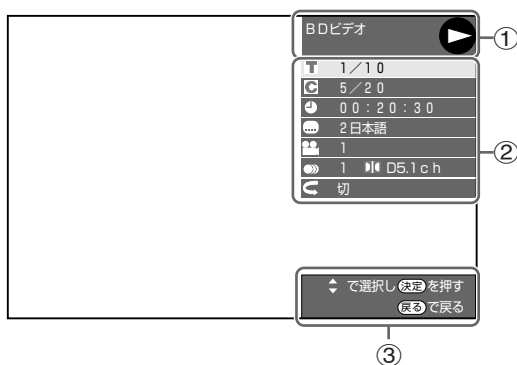
・BD ビデオや DVD ビデオの再生中に再生設定画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は再生設定画面を消してください。

お知らせ

・市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、再生設定での機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
・アングルや字幕などで「－－」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 再生中に

⇨再生設定画面を表示します

2 設定項目を選んで決定します

① **再生状態表示**
動作状態やディスクの種類

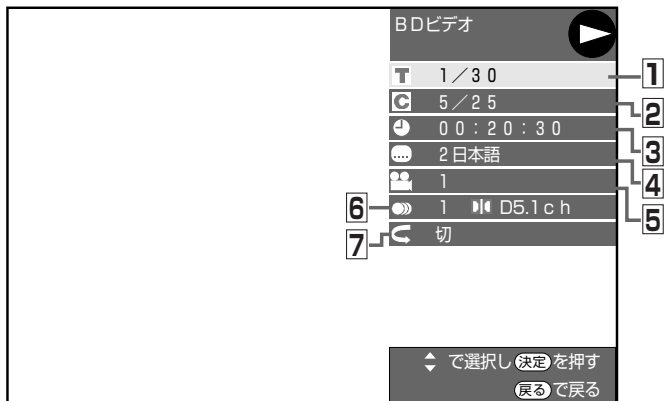
② **設定項目（次ページ参照）**

③ **操作ガイド表示**

3 設定します（次ページ参照）

・画面右下の「操作ガイド表示」にしたがって操作してください。

4 設定を終わるとき

各設定項目について

■好きなところから見る

1 タイトル（トラック）選択

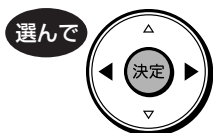
- 再生中のタイトル番号（CD の再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 チャプター選択

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 再生経過時間

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

①「時」「分」「秒」を選びます

②時間を指定します

- リモコンの数字ボタン（1～10/0）で時間を指定することもできます。
- BDビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

■字幕・映像・音声を切り換える

4 字幕言語切換

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像切換

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
- 「アングルマーク表示」（→**73**ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク を表示させるように設定することができます。

6 音声表示切換

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。

■くり返し再生する

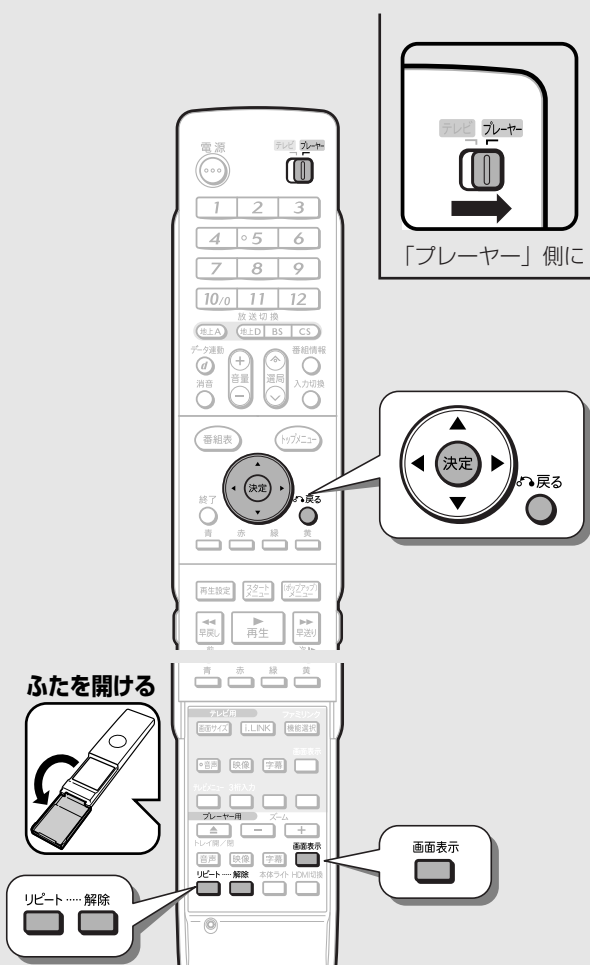
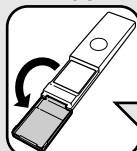
7 リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。リモコンの リピート でもリピート再生できます。（→**42** ページ）

確認 準備 基本 再生 録画 接続 各種設定 リモコン設定 参考

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

くり返し再生する（リピート再生）

再生設定で、選んだタイトルやチャプター(章）をくり返し再生できます。

・ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
・タイトルをまたぐ「部分を指定」でのリピートはできません。
・マルチアングル部分は「部分を指定」でのリピートはできません。

お知らせ

・リモコンふた内の「プレーヤー用」の「画面表示」ボタンを押すと、リピートの状況が確認できます。

タイトルまたはチャプターをくり返すには

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 再生中に リピート 押す ⇨ リピート再生の選択画面を表示します

- 「再生設定」（→**40** ページ）でもリピート再生ができます。

3 リピート再生の種類を選んで決定します

⇨ リピート再生を開始します

・音楽CDの場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

再生中のタイトル：	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター：	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定：	下記「特定の部分をくり返すには」参照

選択画面を消すには

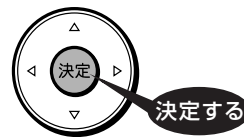
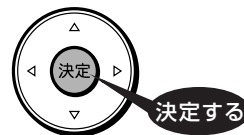
リピート再生を解除するには

- 再生設定画面で「⊆」→「切」を選んでも解除できます。

特定の部分をくり返すには

1 上記の手順 **3** で「部分を指定」を選んで決定します

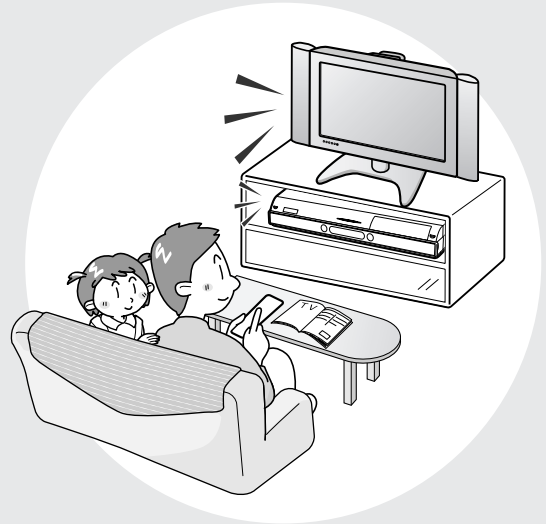
2 開始点で 決定する

3 終了点で 決定する

⇨ 設定された範囲でリピート再生を開始します

リピート再生を解除するには 解除 押す

- 再生設定画面で「⊆」→「切」を選んでも解除できます。

録画する

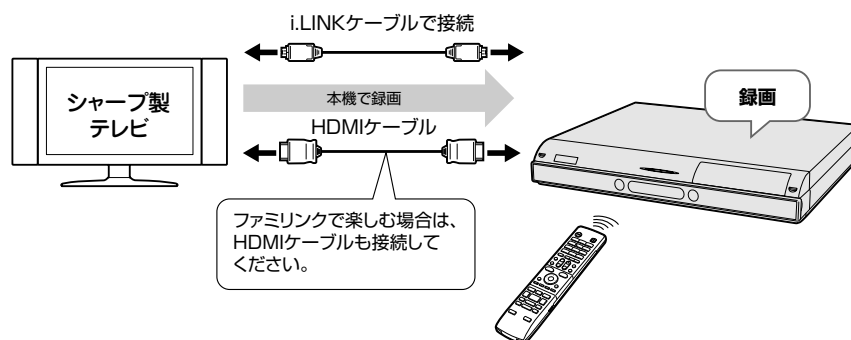
ハイブリッド録画／かんたんBDダビング

この章では、本機とシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をi.LINKケーブルで接続して行える録画「ハイブリッド録画」や、シャープ製ハイビジョンレコーダーで録画した映像をBDにダビングする「かんたんBDダビング」の操作について説明しています。

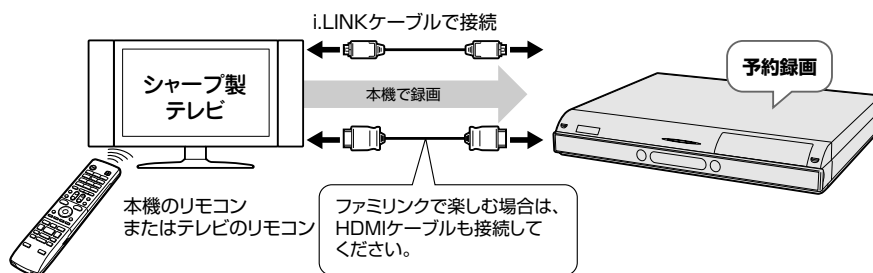
ハイブリッド録画／かんたんBDダビングについて

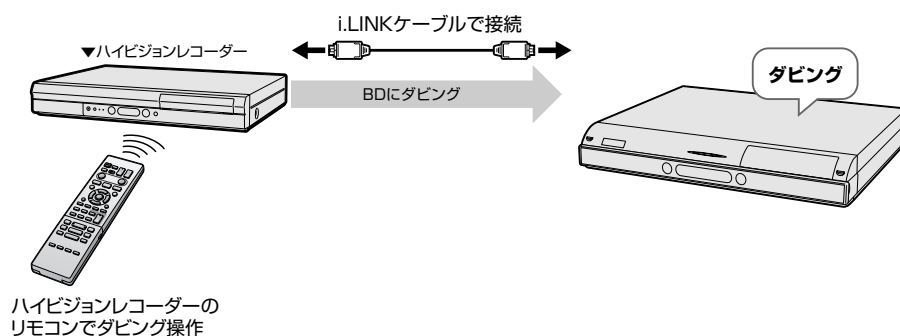
シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機をi.LINKケーブルで接続すると、テレビで見ているデジタル放送番組をBDに録画できます。▶▶▶ **ハイブリッド録画**
シャープ製ハイビジョンレコーダーと本機をi.LINKケーブルで接続すると、シャープ製ハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画したデジタル放送番組をBDにダビングできます。▶▶▶ **かんたんBDダビング**

i.LINK接続することによりできること

テレビの番組を録画したいとき

● テレビで見ている番組を本機にハイブリッド録画（i.LINK（TS）入力録画）▶ **50** ページ

テレビの番組を予約録画したいとき

● テレビの番組表で本機にi.LINK予約録画 ▶ **51** ページ

ハイビジョンレコーダーからダビングしたいとき

● シャープ製ハイビジョンレコーダー※から本機にかんたんBDダビング ▶ **52** ページ

※ かんたんBDダビング対応機種（2007年3月現在）
・BD-HD100、DV-HRD2/HRD20/HRD200、DV-HRD3/HRD30/HRD300、DV-AR11/AR12、DV-ARW12/ARW15、DV-ARW22/ARW25、DV-ARV22、DV-ACW38、DV-ACW52/ACW55/ACW60、DV-AC52/AC55
・本機とハイビジョンレコーダーは、必ず1対1の接続にしてください。

お知らせ

・ハイブリッド録画中またはかんたん BD ダビング中は、再生や録画リスト表示、各種設定の操作はできません。
・ハイブリッド録画やかんたん BD ダビングできるのは BD-RE（Ver.2.1、1 層ディスク）のみです。

■録画できる時間（25GB のディスクを使用した場合）

放送	時間	画質
デジタル放送の「HD 放送」（ハイビジョン放送）	約２時間 10 分	ハイビジョン画質
デジタル放送の「SD 放送」（スタンダード放送）	約６時間 30 分	スタンダード画質
アナログ放送	録画できません。	

・録画する映像によって、録画できる時間は変わります。
・ディスクを他の人が使えないよう使用制限をかけられます。（→ **56** ページ）
・独立データ放送、ラジオ放送、連動データ放送は録画できません。
・BD-R や DVD ディスクには録画できません。
・2層ディスクやカートリッジタイプのディスクには録画できません。

■ファミリンク機能について

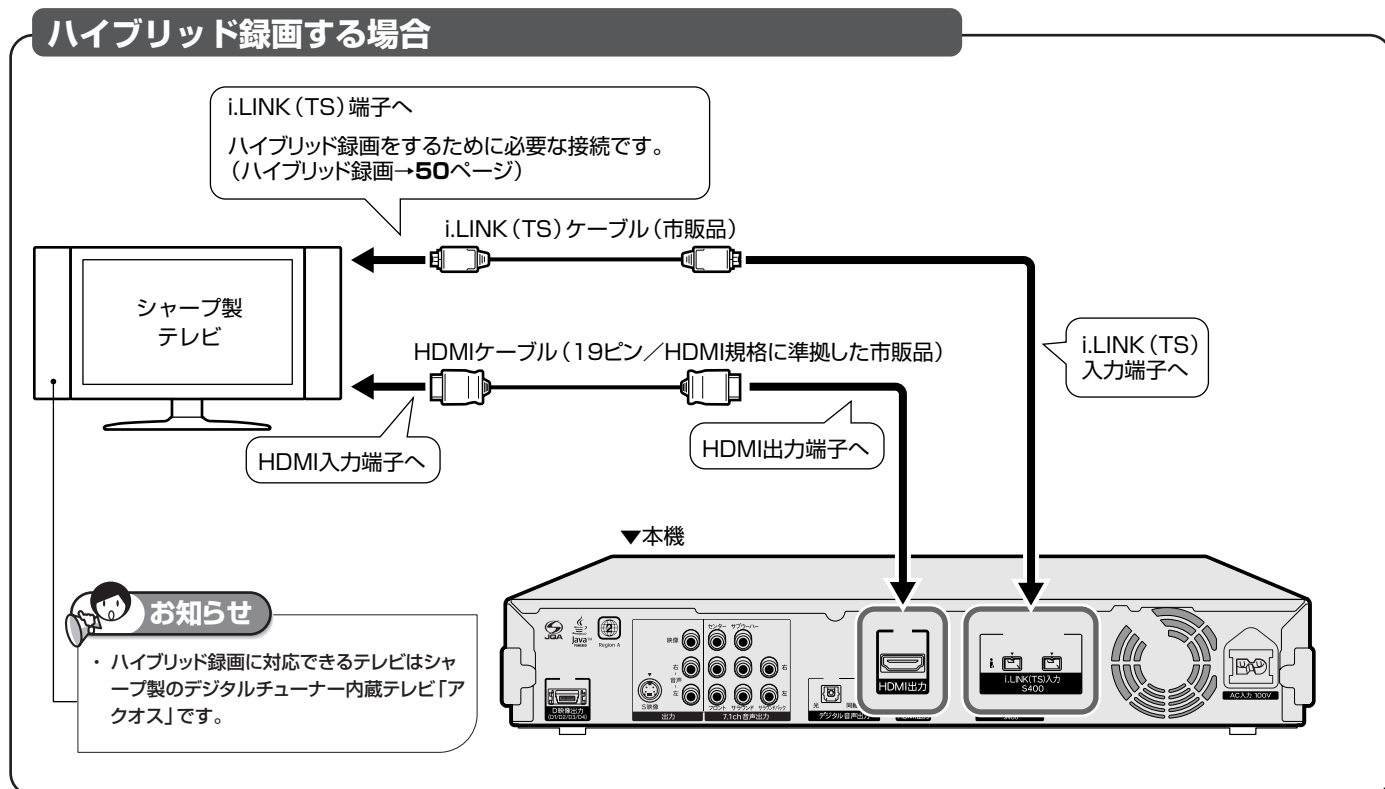
ファミリンク機能に対応したシャープ製テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、電源の入／切や再生などの操作が、テレビと本機で連動して行えます。
ファミリンク機能について詳しくは、別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。

■ファミリンク機能に対応していないシャープ製テレビでも､i.LINK接続によるテレビ番組の録画は可能です。

・接続には、i.LINK ケーブル（市販品）が必要です。（→ **46** ページ）
・操作方法について→ **50** ページ
・接続について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
・シャープ製以外のテレビやその他の i.LINK 機器からの録画はできません。

ハイブリッド録画／かんたんBDダビングのための接続

シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」で見ているデジタル放送の番組を録画したい場合は、i.LINKケーブルを使って次のように接続します。

ハイブリッド録画する場合

ハイブリッド録画に対応している液晶テレビ「アクオス」は？

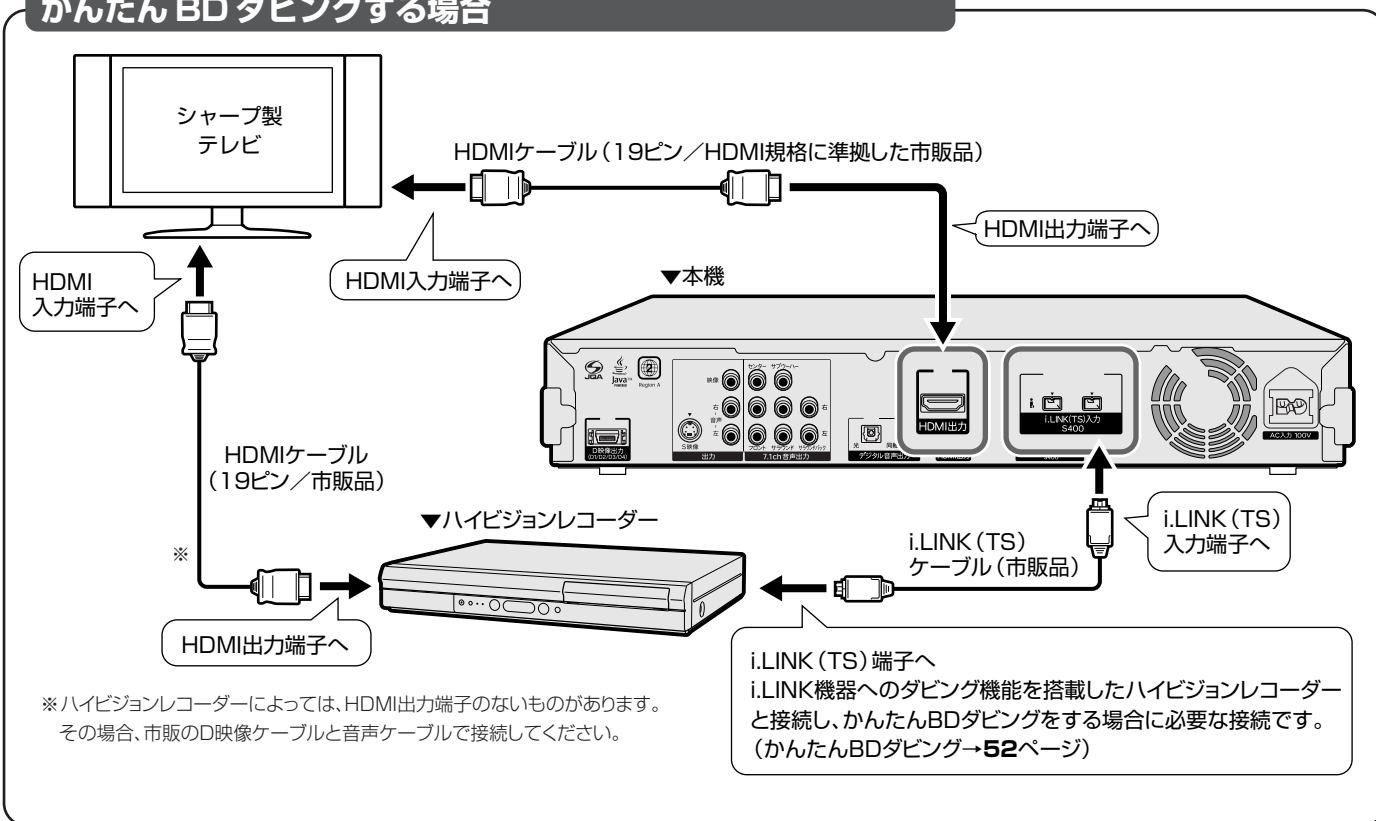
- 対応機種については、DVD/BDサポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html をご覧ください。

シャープ製のファミリンク機能に対応した機器をお持ちの場合は

- シャープ製のファミリンク機能に対応したテレビ「アクオス」やレコーダー、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）をHDMIケーブル（19ピン／市販品）で接続すると、ファミリンク対応機器も本機も、本機のリモコン1つで操作できます。
- ファミリンクならではの連動機能をお楽しみいただけます。

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）との接続やファミリンク機能について詳しくは、別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。

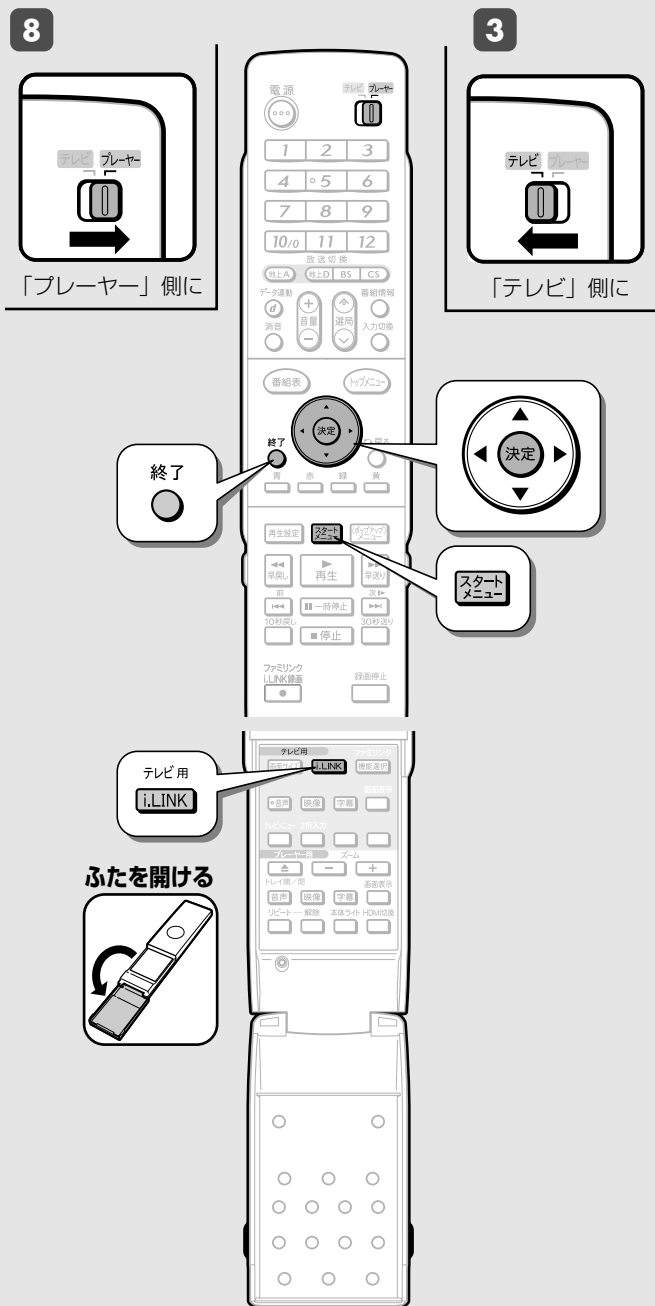
シャープ製ハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画した映像をかんたん BD ダビングしたい場合は、i.LINK ケーブルを使って次のように接続します。

かんたん BD ダビングする場合

かんたん BD ダビングに対応しているシャープ製ハイビジョンレコーダーは？

- BD-HD100、DV-HRD2/HRD20/HRD200、DV-HRD3/HRD30/HRD300、DV-AR11/AR12、DV-ARW12/ARW15、DV-ARW22/ARW25、DV-ARV22、DV-ACW38、DV-ACW52/ACW55/ACW60、DV-AC52/AC55
  （2007 年 3 月現在）

ハイブリッド録画をするための設定をする

シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINK接続することにより、テレビのチューナーを利用したデジタル放送の録画が行えます。

i.LINK録画を行うため、準備を必ず行ってください。

準備：テレビ側と本機側のi.LINK設定

（テレビと本機のどちらからもお互いを選択し合う設定を行います。）

1 本機とテレビを i.LINK ケーブルで接続します 46 ページ

2 テレビの電源を入れてから、本機の電源を入れます

テレビ側の設定をします

3 リモコンのテレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側に切り換えます

4 i.LINK 入力にします

リモコンをテレビに向けて

（ふた内）

5 機器選択画面に表示される接続機器の一覧から、本機を選び、決定します

- テレビに初めてi.LINK機器（本機）を接続したときは、機器選択画面が表示されます。

▼機器選択の画面例

- テレビにすでにi.LINK機器を接続し、機器を選択したことがある場合は、その機器のi.LINK操作パネルが表示されます。操作パネルの「機器選択」ボタンを選び、機器選択画面を表示してください。

▼操作パネルの画面例（D-VHS ビデオデッキの場合）

- 操作パネルでBDプレーヤー（本機）を操作することはできません。

次ページへつづく ▶▶▶

6 テレビ用のi.LINKを押し、通常の画面に戻します（ふた内）

7 テレビの入力を、本機を接続している入力に切り換えます

プレーヤー側の設定をします

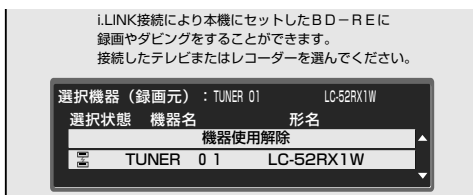
8 テレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側に切り換えます

- リモコンのテレビ入力自動切換機能（→**85**～**86**ページ）が設定されているときは、自動でテレビの入力が切り換わります。（手順7の操作は不要です。）

9 スタートメニューを表示させます

リモコンを本機に向けて　スタート メニュー　押す

10 「各種設定」－「i.LINK 録画設定」を選んで決定します

11 接続したテレビの形名を選んで決定します

12 設定を終了します

- 手順11の画面で、本機に接続されていない機器を選んで決定し、「削除する」を選んで決定すると、リストから削除できます。

本機に接続した機器の使用を解除するには

- 手順11の画面で、「機器使用解除」を選んで決定します。

デジタル放送を録画する（ハイブリッド録画）

シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」で見ているデジタル放送の番組をBD-REに録画・予約録画できます。

録画の前に 次のことがお済みかどうか、ご確認ください。

- i.LINKケーブルを使った接続 46ページ
- ハイブリッド録画をするための設定 48ページ
- 日付・時刻の設定 77ページ
- 一発(クイック)起動の設定 78ページ

テレビで見ている番組をすぐに録画するには（i.LINK録画）

- 「一発（クイック）起動設定」を「する」に設定してください。**「しない」に設定されているときは、本機の電源を「入」にしておかないと録画できません。**

1 録画用のBD-REをセットします

21ページ

- 未使用のBD-REをセットすると、「初期化する」「ディスク取り出し」とテレビ画面に表示されます。「初期化する」を選んで決定してください。

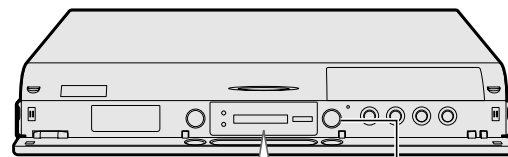
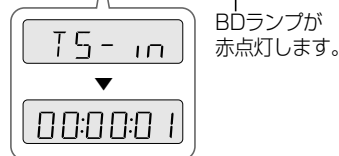
2 テレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側にします

3 録画したいデジタル放送の番組を選局します

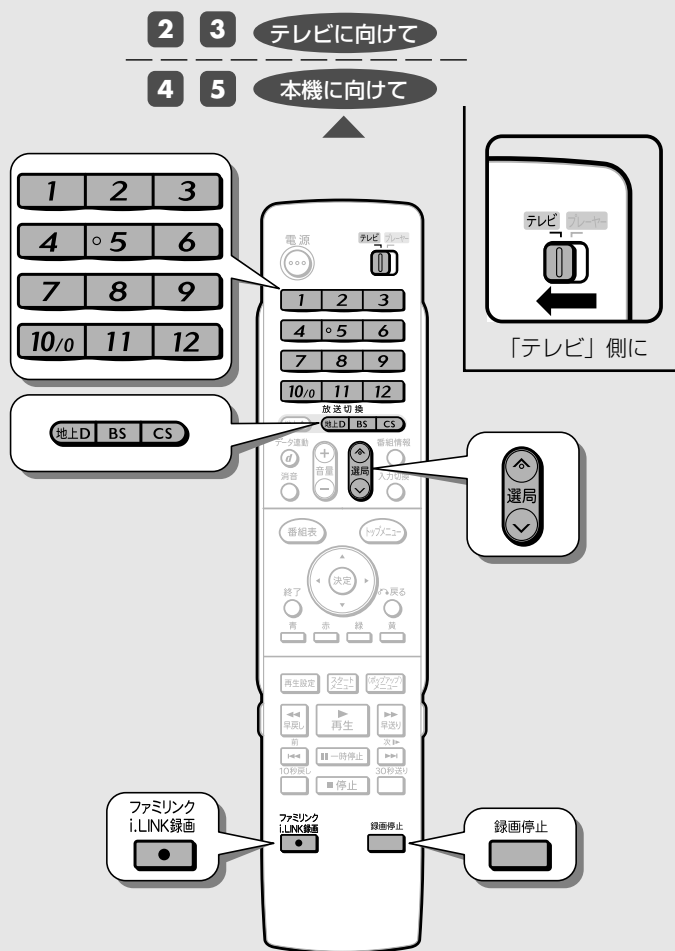
- 地上D BS CS を押し、録画したいデジタル放送を選んでください。
- 1 〜 12 または 選局 を押し、録画したいチャンネルを選んでください。
- 地上アナログ放送は録画できません。

4 ハイブリッド録画を開始します

ファミリンク i.LINK録画 ● 押す ⇨ ハイブリッド録画を開始します

- クイック起動設定が「しない」に設定されているときや、電源を切った直後は、本機の電源を「入」にしてから録画の操作をしてください。
  ※録画準備ができていないときは、本体表示部に[TS-Err]と表示されます。

- ファミリンク i.LINK録画 ● を押したとき、i.LINK（TS）入力端子に信号が入力されていないと、BDランプが赤点灯し、録画待機状態となります。i.LINK（TS）入力端子に信号が入力されると、録画が開始されます。（録画を止めたいときは 録画停止 を押します。）

5 録画を停止するには

⇨ ハイブリッド録画を停止します

ご注意

- 録画できるのはBD-RE Ver.2.1（1層）ディスクのみです。BD-R、DVDディスクには録画できません。
- 2層ディスクやカートリッジタイプのディスクには録画できません。
- ハイブリッド録画中の映像は本機の出力としては見られません。
- ハイブリッド録画中は、「録画停止」以外の操作ができません。
- クイック起動を「する」に設定していても、ファミリンク i.LINK録画 ● を押して録画を行ったとき、録画開始までには多少時間がかかります。

お知らせ

- デジタル放送のチューナーを1つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、ハイブリッド録画中にテレビのチャンネル切り換えができません。
- デジタル放送のチューナーを2つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、ハイブリッド録画中にテレビのチャンネル切り換えができます。
- テレビのチャンネル切り換えについて詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

録画の前に 次のことがお済みかどうか、ご確認ください。

・i.LINKケーブルを使った接続 46ページ
・ハイブリッド録画をするための設定 48ページ
・日付・時刻の設定 77ページ
・一発(クイック)起動の設定 78ページ

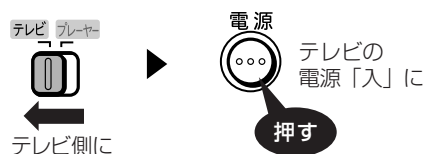
録画予約するには（ファミリンク[2](i.LINK）予約）

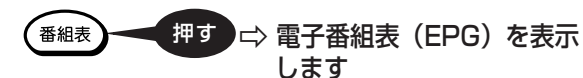
●「一発（クイック）起動設定」を「する」に設定してください。
●録画開始５分前までに電源を切ってください。

1 録画用のBD-REをセットします

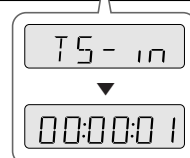
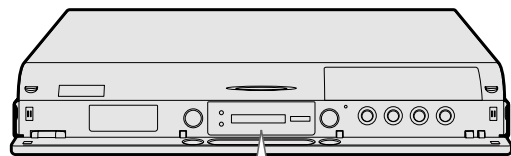
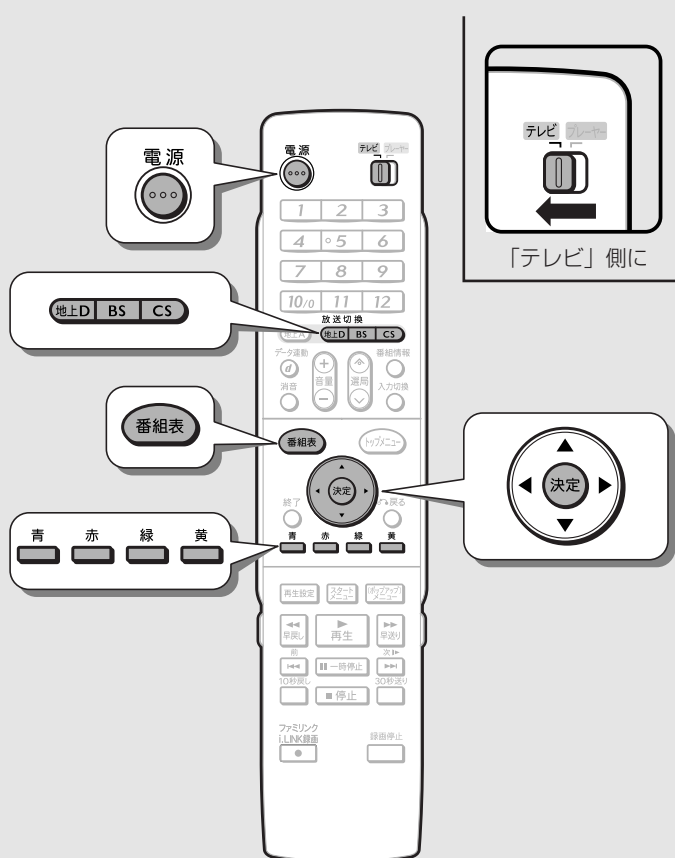
21ページ

●未使用のBD-REをセットすると、「初期化する」「ディスク取り出し」とテレビ画面に表示されます。「初期化する」を選んで決定してください。

2 テレビの電源を入れます

3 予約したいデジタル放送を選びます

4 テレビの電子番組表（EPG）を表示させます

5 テレビの電子番組表（EPG）で「ファミリンク[2](i.LINK）予約」※します

●テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
●これで予約操作は完了です。
※「i.LINK予約」と表示するテレビもあります。

予約開始時刻になると本機の電源が「入」になり、録画を開始します。

本体表示部がカウンター表示になります。

お知らせ

・この操作はテレビに付属のリモコンでも行えます。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。
・予約の変更についてはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
・録画できるのはBD-RE Ver.2.1(1層)ディスクのみです。BD-R、DVDディスクには録画できません。
・２層ディスクやカートリッジタイプのディスクには録画できません。

連続した番組を予約録画したときは

・連続した番組「(例)午後7:00～8:00までの番組と午後8:00～9:00など」を予約したときは次のように録画されます。
　・予約した番組が同じチャンネルの場合は、条件により1つのタイトルまたは２つのタイトルとして録画されます。
　・予約した番組が別のチャンネルの場合は2つのタイトルとして録画されます。

レコーダーから本機へダビングする(かんたんBDダビング)

シャープ製のハイビジョンレコーダーで録画した番組を、ハイビジョン画質のまま BD-RE にダビングできます。

録画の前に 次のことがお済みかどうか、ご確認ください。

- i.LINKケーブルを使った接続 47 ページ
- 日付・時刻の設定 77 ページ
- 一発(クイック)起動の設定 78 ページ

・ i.LINK 機器へのダビング機能を搭載したシャープ製ハイビジョンレコーダーから、かんたんダビングするときは、本機とハイビジョンレコーダーのみ i.LINK 接続してください。本機やハイビジョンレコーダーがその他の機器と i.LINK 接続されているときは、その他の機器から i.LINK ケーブルを抜いてください。

ご注意

- BD-RE Ver.2.1(1層)ディスクにのみダビングできます。BD-R、DVD ディスクにはダビングできません。
- 2層ディスクやカートリッジタイプのディスクにはダビングできません。
- ダビングできるのは、シャープ製のハイビジョンレコーダーの HDD (ハードディスク) に録画されている番組です。DVD ディスクから BD へはダビングできません。
- ダビングできるのは、「HD/SD 録画」された番組です。録画画質を設定して録画した番組はダビングできません。詳しくはハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- かんたん BD ダビング中は、「録画停止」以外の操作ができません。
- 「1 回だけ録画可能」の番組をダビングしたときは、ムーブ(移動)となり、ダビング元のハードディスク内の映像は消去されます。
- シャープ製のハイビジョンレコーダー以外のレコーダーから本機へダビングすることはできません。

ダビングの準備をする

- シャープ製のハイビジョンレコーダーをi.LINKケーブルで本機と接続します。 47 ページ
- 「スタートメニュー」ー「各種設定」ー「i.LINK 録画設定」から、本機に接続したハイビジョンレコーダーを選択します。

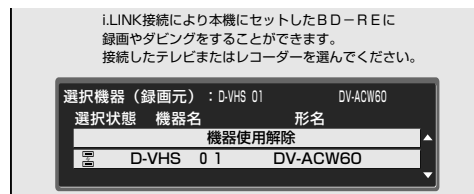
1 テレビと本機の準備をします 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタート メニュー 押す

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「i.LINK録画設定」を選んで決定します

5 本機に i.LINK 接続したハイビジョンレコーダーを選んで決定します

- 接続しているハイビジョンレコーダーが 1 台でも、2 つの機器名として「D-VHS」、「TUNER」と表示される製品があります。その場合は「TUNER」を選択してください。

6 設定を終了します

次ページへつづく ▶▶▶

シャープ製のハイビジョンレコーダーでダビングの操作をする

1 本機に録画用のBD-REをセットします

☞ 21 ページ

●未使用の BD-RE をセットすると、「初期化する」「ディスク取り出し」とテレビ画面に表示されます。「初期化する」を選んで決定してください。

2 テレビの入力をハイビジョンレコーダーを接続した入力に切り換えます

●ハイビジョンレコーダーに付属のリモコンで操作してください。

3 ハイビジョンレコーダーでダビングの操作「HDD から→ i.LINK（TS)」をします

●**ダビングは必ず 1 タイトルずつ行ってください。**
●ハイビジョンレコーダーに付属のリモコンで、HDDからi.LINK機器へのダビングの操作を行ってください。
●ダビングの操作については、ハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

⇨ **ハイビジョンレコーダーから本機へのダビングを開始します**

4 ダビングを止めるときは、ハイビジョンレコーダーの再生を停止します

● i.LINK（TS）接続について

● 接続したi.LINK機器との相性により、正しく動作しない場合があります。これにより、万一録画·録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
● 複数のi.LINK（TS）機器と同時に接続したときは、ダビングできない、または認識できない場合があります。
● 本機のi.LINK（TS）入力端子にディジーチェーン（連鎖）接続およびツリー接続したときに、正しく動作しない場合があります。確実にダビングを行うため、本機と操作したい機器を1対1で接続してください。
● i.LINK（TS）接続で本機へ録画できる映像は、TS出力される映像です。（TSとはトランスポートストリーム（Transport Stream）の略で、多重信号形式の1つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらず共通の信号形式で扱い、1つのストリームとして伝送できるシステムのことです。）

シャープ製のハイビジョンレコーダー以外の機器から本機へダビングすることはできません。

i.LINK（TS）機器から本機へ映像を入力するとき

●i.LINK（TS）入力録画できるディスクはBD-RE Ver.2.1（1 層）のみです。
●i.LINK入力録画中（かんたんBDダビング中）の映像は、本機の出力としては見られません。

取り込み中に下記のような状態になると、録画を停止します。また、異常な映像が記録されることがあります。

●接続した機器が無信号部分を再生したとき
●途中で i.LINK ケーブルを抜いたり、相手機器の電源を切ったりしたとき
●相手機器の再生を中止したとき
●相手機器で再生している映像が乱れたとき
●相手機器で再生している番組によっては、番組の切り替わり地点で録画が停止する場合があります。
●**録画が開始されるまで、数秒かかります。そのため、ダビングする番組のはじめの数秒は、ダビングされません。**

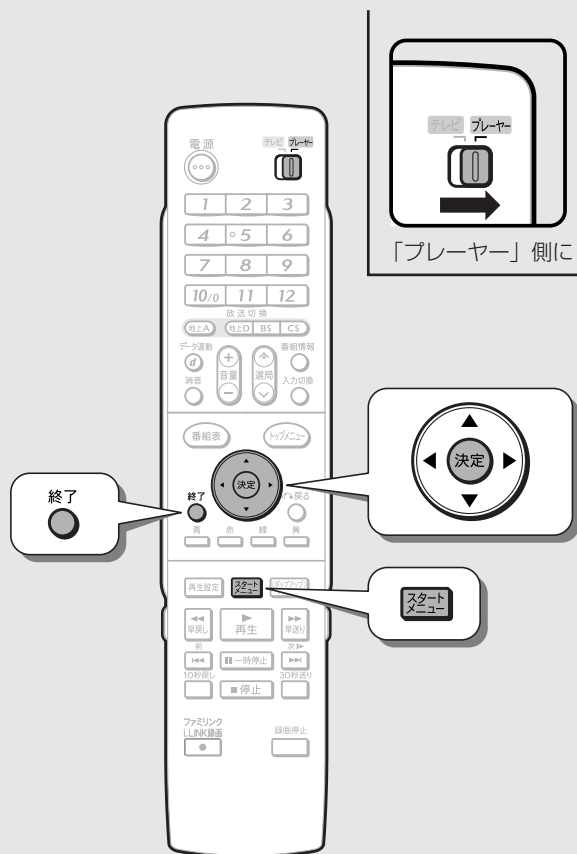
本機から外部機器へダビングすることはできません。

お知らせ

シャープ製ハイビジョンレコーダーからダビングしたときは
・ チャプターはダビングされません。
・ タイトル名は録画開始時の番組名となります。
・ 録画日は、ダビングした日時となります。

確認
準備
基本
再生
録画
接続
各種設定
リモコン設定
参考

BDを初期化する

● 未使用のBD-REを使ってハイブリッド録画やかんたんBDダビングを行う前には、ディスクの初期化が必要です。
● 未使用のBD-REをセットすると、「初期化する」「ディスク取り出し」とテレビ画面に表示されます。「初期化する」を選んで決定してください。
● 使用済みのBD-REを未使用の状態に戻したい場合も初期化します。

・録画済みのBD-REを初期化すると、「タイトル保護設定」(→ **60** ページ)されたものも含めてそれまでに録画されたタイトルがすべて消去されます。内容をよく確認してください。
・他社のレコーダーで録画したBD-REをセットしたときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んで決定してください。

1 テレビと本機の準備をします

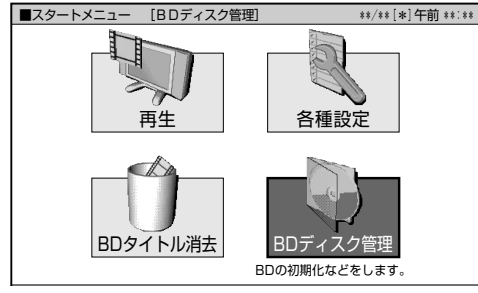
20 ページ

2 ディスクをセットします

21 ページ

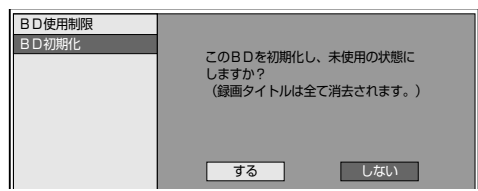
3 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す ⇨ スタートメニューを表示します

4 「BDディスク管理」を選んで決定します

選んで 決定する

5 「BD初期化」を選んで決定します

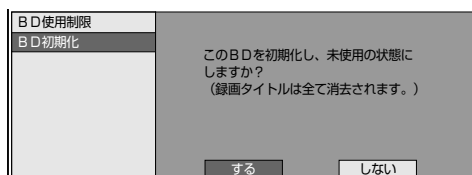
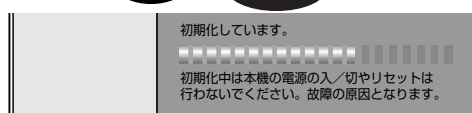
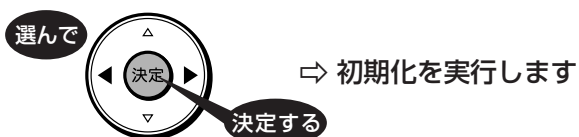
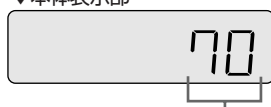
選んで 決定する

次ページへつづく▶▶▶

6 「する」を選んで決定します

7 「はい」を選んで決定します

⇨ 初期化を実行します

▼本体表示部

70

●表示が「100」になったら初期化が完了します。

8 「確認」で決定します

9 設定を終了します

BDを他の人に見られないようにする（BD使用制限）

- BD-REの録画内容を他の人が再生したり誤って消さないよう、暗証番号を設定して使用を制限できます。
  - 設定した暗証番号は忘れないようメモするなど、控えておくことをおすすめします。
  - 使用制限を解除すると、タイトル消去などができるようになります。誤消去防止のため、大切なタイトルはタイトル保護（→**60**ページ）を設定しておくことをおすすめします。
- 使用制限を設定したディスクを使うときは、ディスクをセットした後で暗証番号を入力します。
  - 使用制限の解除のしかたは、**57**ページをご覧ください。

ご注意

・BD-RE 以外は使用制限の設定ができません。

BD に暗証番号を設定する

1 テレビと本機の準備をします 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す ⇨ スタートメニュー表示します

3 「BD ディスク管理」を選んで決定します

選んで 決定する

4 「BD 使用制限」を選んで決定します

選んで 決定する

5 「制限する」を選んで決定します

6 数字ボタンを押して4桁の数字を入力し、決定します

- この４桁の数字が、暗証番号になります。

次ページへつづく ▶▶▶

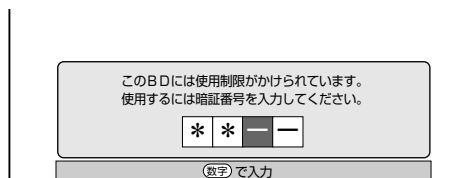
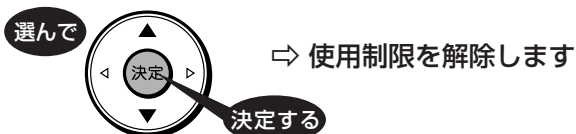
7 「確認」で決定します

8 設定を終了します

「使用制限」を解除するときは

●暗証番号を入力せずにBDを使えるようになります。

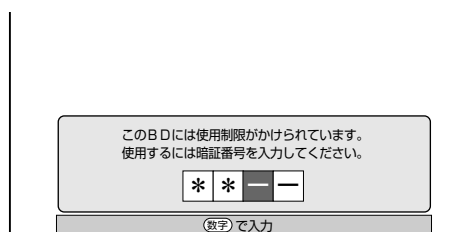
1 使用制限を設定したディスクをセットします

2 暗証番号を入力します

3 前のページ「BDに暗証番号を設定する（BD使用制限）」の操作を行い、手順**5**で「制限解除」を選んで決定します

4 「確認」で決定します

暗証番号を忘れたときは

●暗証番号を正しく入力しないとそのディスクは使えません。
●暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを初期化すれば使えるようになります。**ただし、ディスクを初期化すると、記録されていた番組などのデータはすべて消去されます。消されたデータは元に戻りません。**

1 使用制限を設定したディスクをセットします

2 暗証番号入力画面で、黄を4回押します

3 「する」を選んで決定します

●「しない」を選ぶと、自動的にディスクトレイが開きます。

●決定を押すと、BDの初期化が始まります。

確認
準備
基本
再生
録画
接続
各種設定
リモコン設定
参考

タイトルを消去する

ご注意

- 消去したタイトルは復元できません。
- 他機でプレイリストを作成していた場合、そのオリジナルのタイトルを消去するとプレイリストも消去されます。この場合、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。なお、プレイリストを消去してもオリジナルのタイトルは消去されません。
- プレイリストを消去しても残量は増えません。
- 本機では、プレイリストは作れません。
- BD-RE以外のディスクはタイトル消去ができません。

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去されません。保護されたタイトルも消去したい場合は、保護解除(→ **60** ページ）または初期化（→ **54** ページ）を行ってください。
- 複数のタイトルを一度に消去したい場合→次ページ

録画リストからタイトルを選んで消去する

● 不用なタイトルを録画リストから消去します。

1 テレビと本機の準備をします 20 ページ

2 録画リストを表示させます

3 録画リストから消したいタイトルを選びます

[古い順]

1	春のイタリア観光	＊＊／＊＊[＊]	３０分
2	Ｋ－５格闘技選手権	＊＊／＊＊[＊]	３０分
3	新春、芸能人大集合	＊＊／＊＊[＊]	３０分
4	マニュアル浜口夫人	＊＊／＊＊[＊]	３０分

1／全　4タイトル

4 機能メニューを表示させます

5 「消去」を選んで決定します

6 「する」を選んで決定します

7 設定を終了します

終了 押す

複数の番組（タイトル）を選んで消去する

● 複数のタイトルを選んで一度に消去することができます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す ⇨ スタートメニューを表示します

3 「BD タイトル消去」を選んで決定し、「タイトル選択消去」を選んで決定します

くり返す

4 消したいタイトルを選んで決定します

[古い順]				
	1	春のイタリア観光	**／**[*]	30分
🔒	2	K－5格闘技選手権	**／**[*]	30分
	3	新春、芸能人大集合	**／**[*]	30分

●一度に選べるタイトルは、最大20タイトルです。

●選んだタイトルに「🗑」マークが付きます。

●もう一度選んで決定すると、選択が解除されます。

5 消去を実行します

6 「する」を選んで決定します

⇨ 消去を実行して録画リストへ

● 「しない」 を選んで決定すると、手順 **4** の画面に戻ります。

7 設定を終了します

録画した番組(タイトル)をすべて消去する

●BD 内の全タイトルを消去します。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「BD タイトル消去」を選んで決定し、「タイトル全消去」を選んで決定します

くり返す

4 「する」を選んで決定します

5 「確認」で決定します

● 消去確認が終わると、手順 **3** の画面に戻ります。

6 終了します

終了 押す

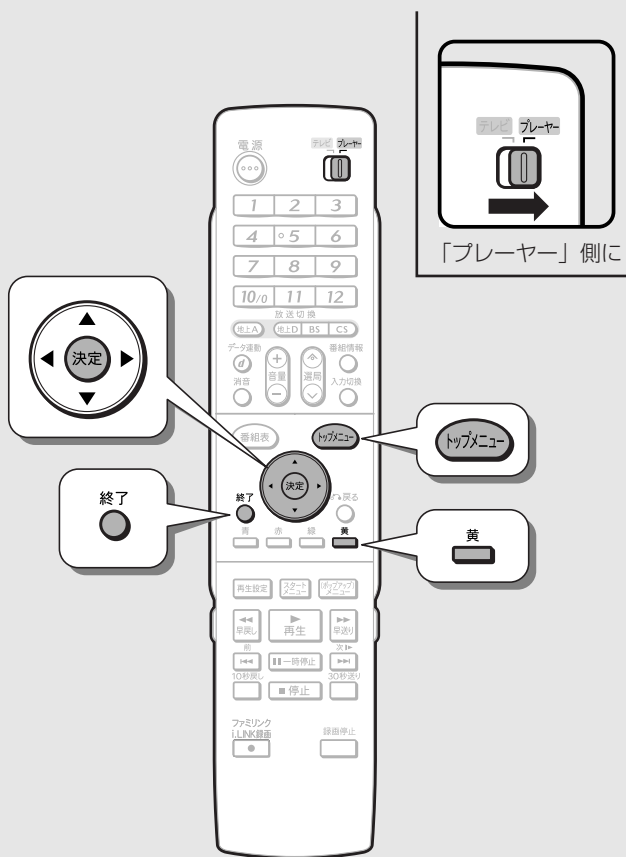
BDのタイトルを消さないようにする（タイトル保護）

大切なタイトル（番組）を間違って消さないよう、タイトルごとに保護できます。

・BD-RE以外のディスクに録画されているタイトルは保護できません。

・保護を設定したタイトルには、録画リストを表示させたとき保護マーク「🔒」が付きます。

■録画リスト（BD：オリジナル） **/**[*]午前 **:**
BD残時間：HD 1時間10分
BS 103 春のイタリア観光
SHK h
／[*]午後10:00 30分
［古い順］

	No.	タイトル	日付	時間
	1	春のイタリア観光	**／**[*]	30分
🔒	2	K－5格闘技選手権	**／**[*]	30分
	3	新春、芸能人大集合	**／**[*]	30分

1 テレビと本機の準備をします

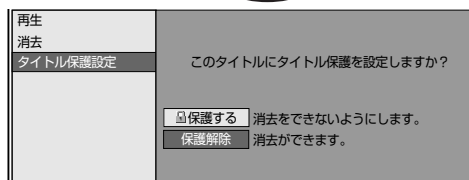
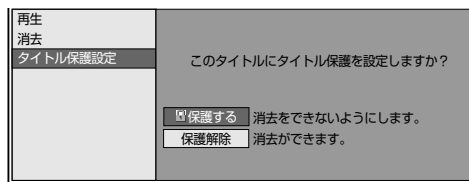
20ページ

2 録画リストを表示させます

トップメニュー 押す

3 録画リストで保護したいタイトルを選びます

4 機能メニューを表示させます

5 「タイトル保護設定」を選んで決定します

6 「保護する」を選んで決定します

保護を解除するときは

- 「保護解除」を選んで決定します。

7 設定を終了します

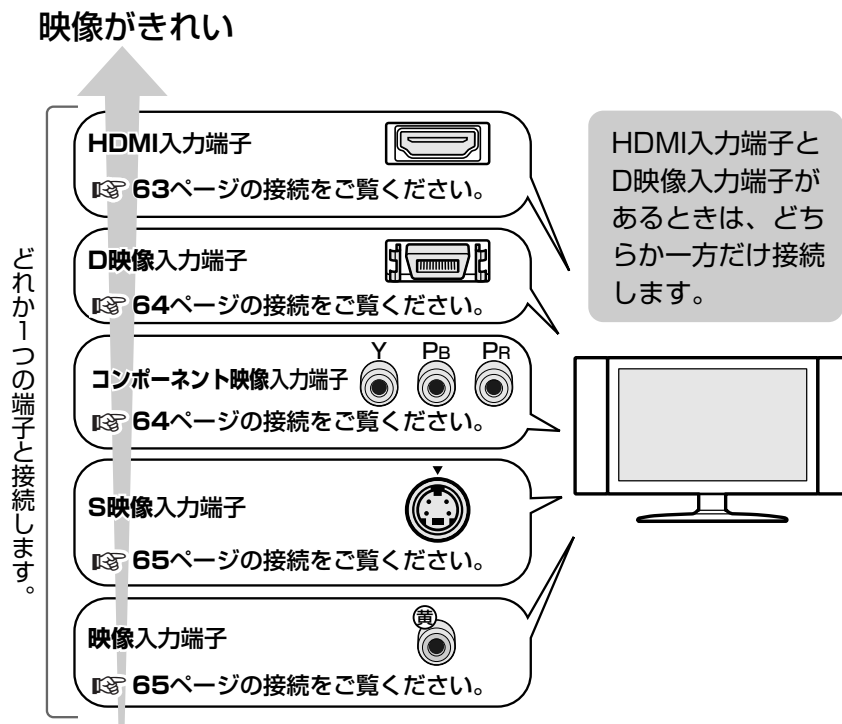
接続と設定

この章では、テレビと本機との接続、本機をより活用していただくための設定などについて説明しています。

テレビを接続する

テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子との接続をおすすめします。

テレビ入力端子の種類

接続する端子により、お楽しみいただける画質が異なります。

・HDMIケーブルで接続する場合、ファミリンク機能を搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と接続すると、本機とテレビを連動して操作できます。詳しくは、別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。

ハイビジョン映像をご覧いただくには

テレビのタイプは

●ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ（モニター）が必要です。
- HDMI 入力端子
- D5 映像入力端子
- D4 映像入力端子
- D3 映像入力端子
- コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子

●ハイビジョンタイプのテレビ（モニター）以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

テレビとの接続は

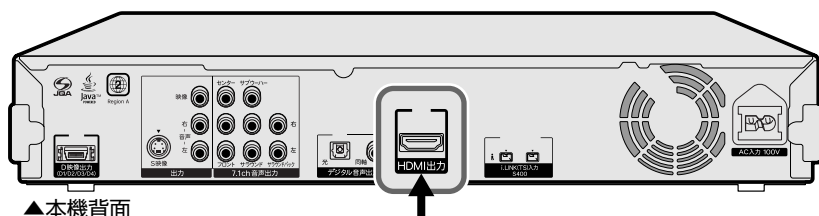
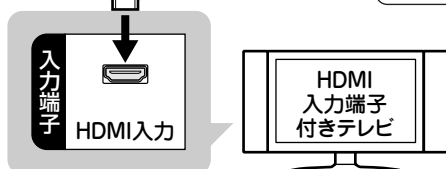
●本機とテレビを、HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）または D 映像ケーブル（市販品）で接続します。

●接続するテレビに HDMI 入力端子が付いているときは、本機とテレビを HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）で接続することをおすすめします。

●コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子付きテレビ（モニター）と接続するときは、D －コンポーネント変換ケーブル（市販品）で接続します。

HDMI 入力端子付きテレビと接続する場合

HDMI出力端子は、映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができるデジタル専用端子です。HDMIケーブル（19ピン／市販品）を使うと、他の映像ケーブル・音声ケーブルを接続する必要はありません。

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビとHDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。詳しくは、別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。

HDMI出力に切り換える

D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続したときは、映像出力する端子をリモコンで切り換えてください。
（D 映像端子と HDMI 端子の両方からは映像は出力されません。）

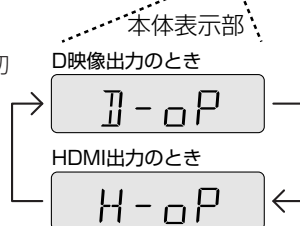
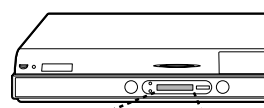
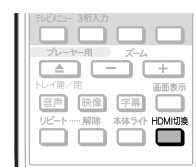
・リモコンのテレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側に切り換えて操作します。

① **本機の電源を入れます**

② **リモコンのふたを開けます**

③

（ふた内）

⇨ 表示が「H-oP」になるまで（再度押し続けるとD 映像出力「D-oP」に戻る）

お知らせ

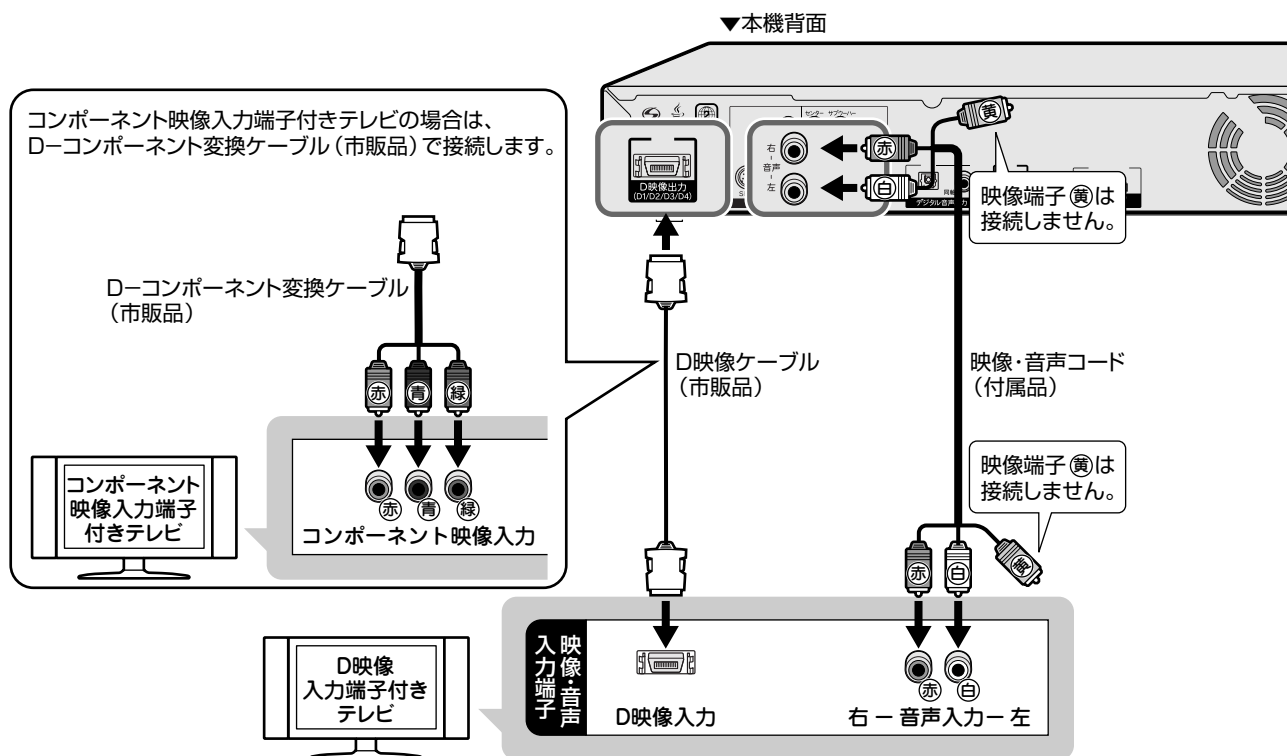
- HDMI 出力端子を使って接続したときは、「HDMI 映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、**71** ページ右上の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI/HDMI 変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI/HDMI 変換ケーブルを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。）
- HDMI 映像出力設定を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（ケーブルが接続されていない、または電源が入っていないときも選択できません。）
- HDMI 出力端子を使って接続したときは、テレビのオートワイド機能が働きません。

「HDMI 映像出力設定」（→ 71 ページ）と「音声出力設定」（→ 71 ページ）が必要な場合は、スタートメニューの「各種設定」－「映像・音声設定」で行ってください。

D映像入力端子付きテレビ／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- ●安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ●テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ●ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ●テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機の電源が「入」の状態で、本機にD映像ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D映像ケーブルを差し込んでください。
- 本機の電源が「入」の状態で、本機にD－コンポーネント変換ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D－コンポーネント変換ケーブルを差し込んでください。
- D映像入力端子に接続して本機の「D映像出力設定」を「1125i優先」「750p優先」に設定したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）に接続したときは、DVDの再生映像は楽しめません。DVDの再生映像は525iまたは525pの信号が出力されます。

お知らせ

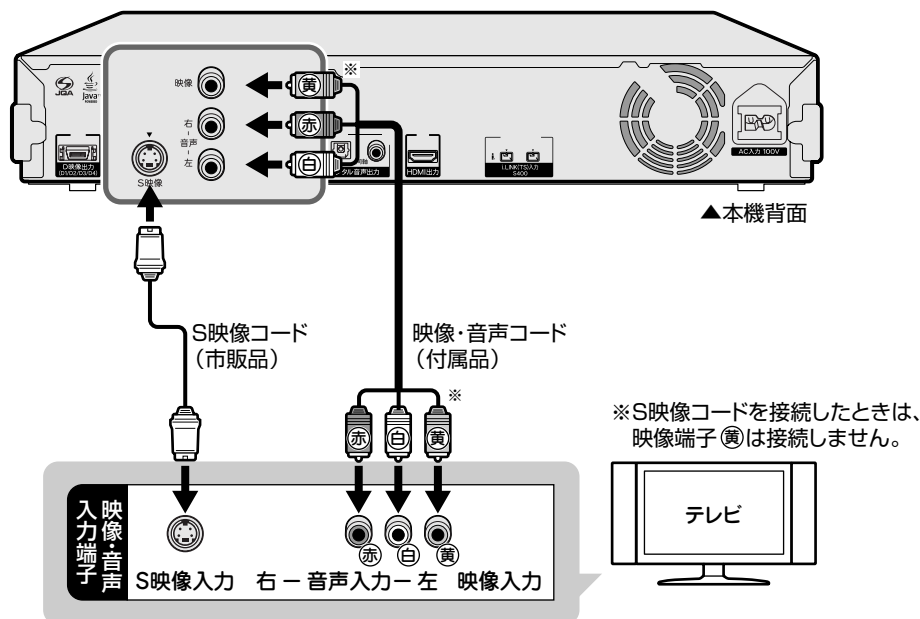
- 映像が乱れる、正常に映らない、映らないときは、**90、91**ページをご覧ください。

メモ

- テレビにD映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D映像入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビのD映像入力端子がD3、D4、D5映像入力端子の場合は、ハイビジョン映像で楽しめます。

S映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

重要

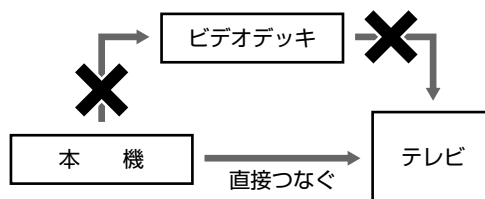
- ●安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ●テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ●ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ●テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

・本機とテレビを接続しているコード類はテレビのアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
・機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類は、テレビのアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

・映像が乱れるときは、90、91 ページをご覧ください。

ご注意

・本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
・著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

オーディオ機器を接続する

本機をさらに楽しむために、必要に応じてオーディオ機器と接続しましょう。

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ・アンプと接続する場合

本機とアンプは、HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）を使って直接接続してください。

- ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ、オーディオ機器（アンプ）との接続について詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ファミリンク機能に対応していないオーディオ機器にHDMI入力端子があるときも下記の接続を行うことをおすすめします。

本機でハイブリッド録画をする場合に接続してください。
（ハイブリッド録画→**50**ページ）

HDMIケーブル
（19ピン／市販品）

HDMI 入力

光デジタル 出力

光デジタル
ケーブル
（市販品）

ファミリンク機能を
搭載したテレビ

i.LINK

i.LINK（TS）ケーブル（市販品）

HDMIケーブル
（19ピン／市販品）

HDMI 入力

光デジタル 入力1

HDMI 出力

アクオスサラウンド
または
アクオスオーディオ

D映像出力

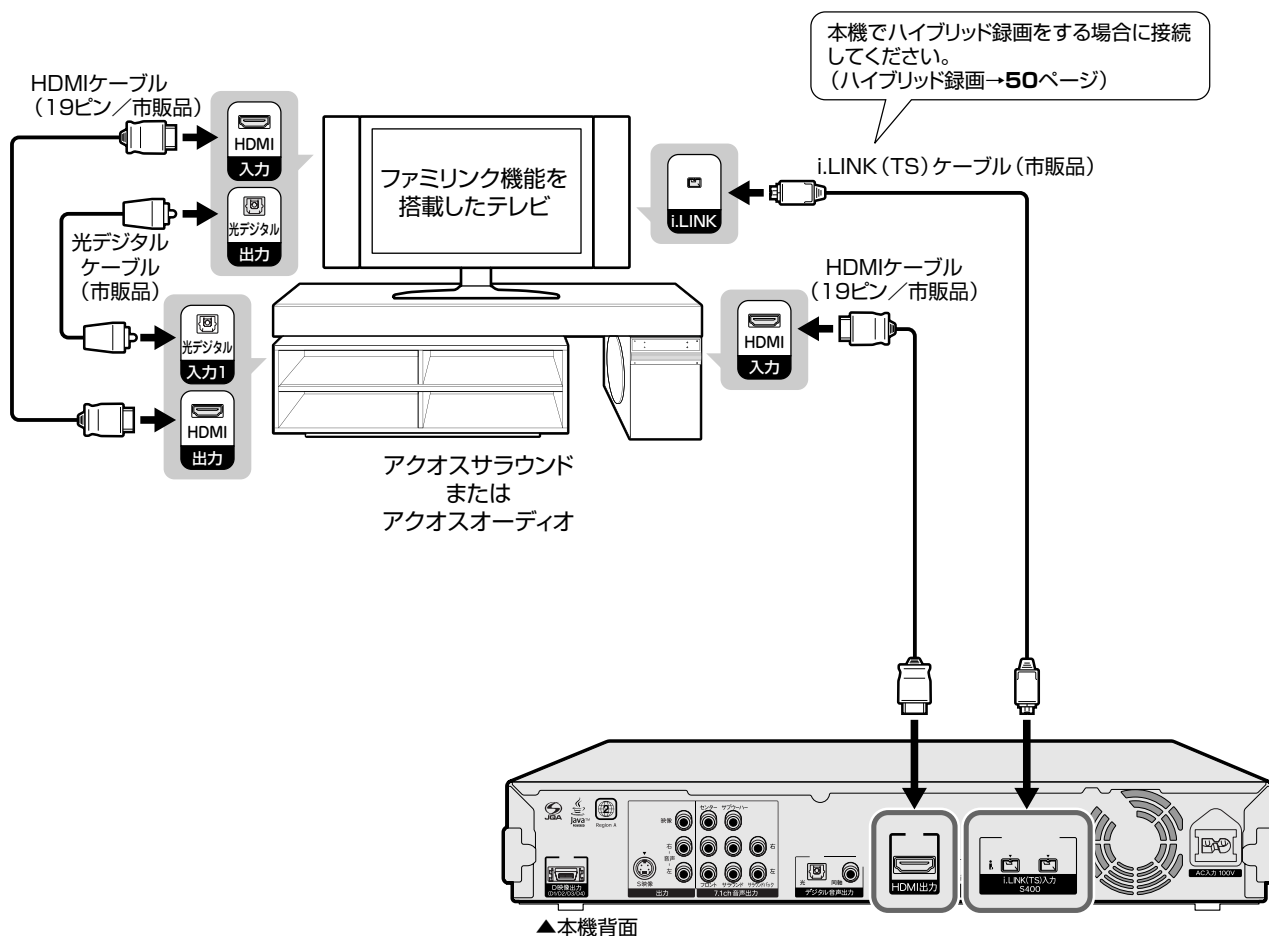
S映像

7.1ch 音声出力

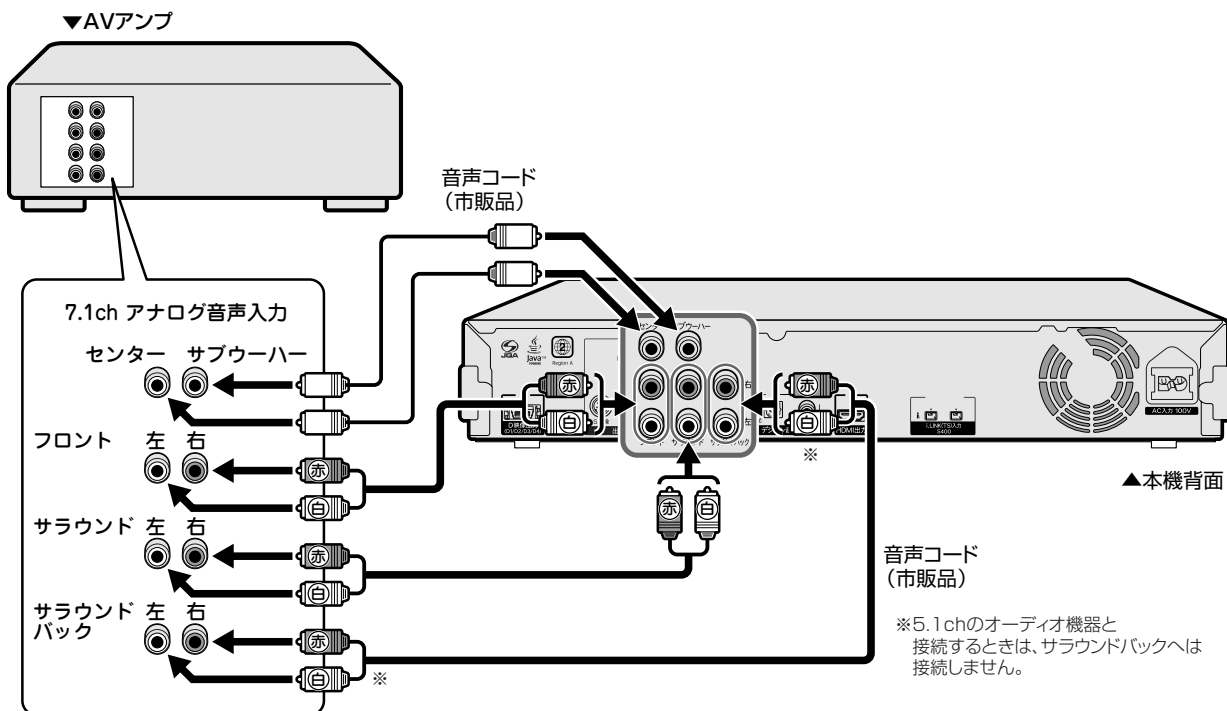
デジタル音声出力

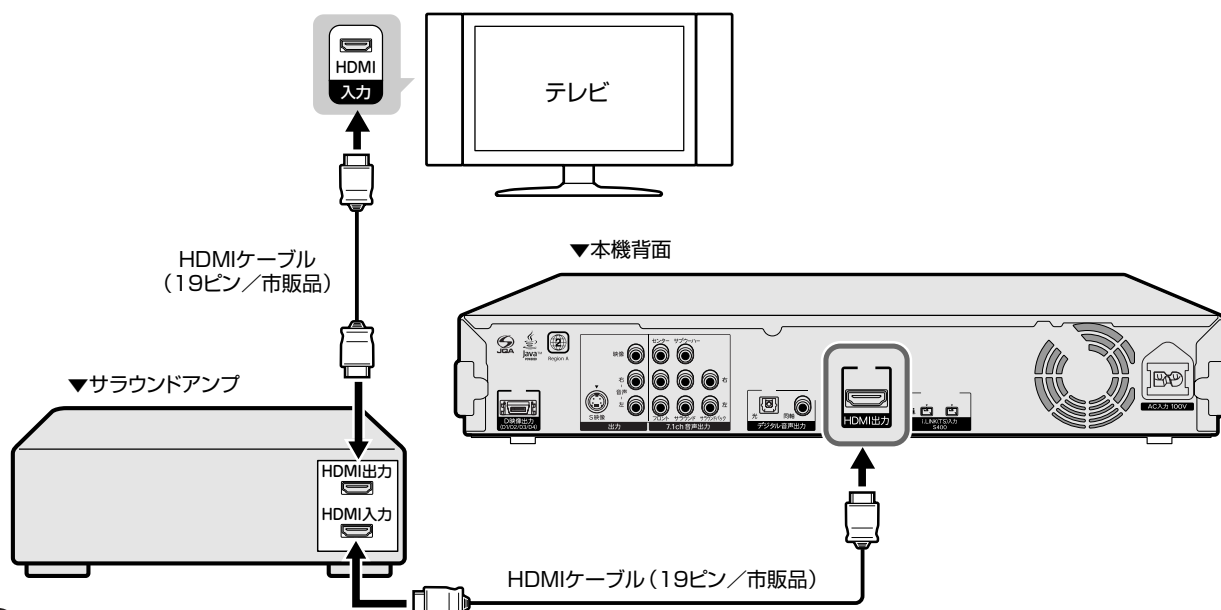
HDMI出力

i.LINK(TS)入力
S400

▲本機背面

・アクオスサラウンドまたはアクオスオーディオとHDMI ケーブルで接続したときは、「音声出力設定」（→ **71** ページ）の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定」で「HDMI 出力」を選択し、「オート」を設定します。

7.1ch アナログ接続で音声を楽しむときは

本機の音声を 7.1ch オーディオ機器で楽しむときの接続です。
●音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
●オーディオ機器側の接続、設定について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI 入力端子付きサラウンドアンプと接続するときは

本機の音声を HDMI 入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

お知らせ

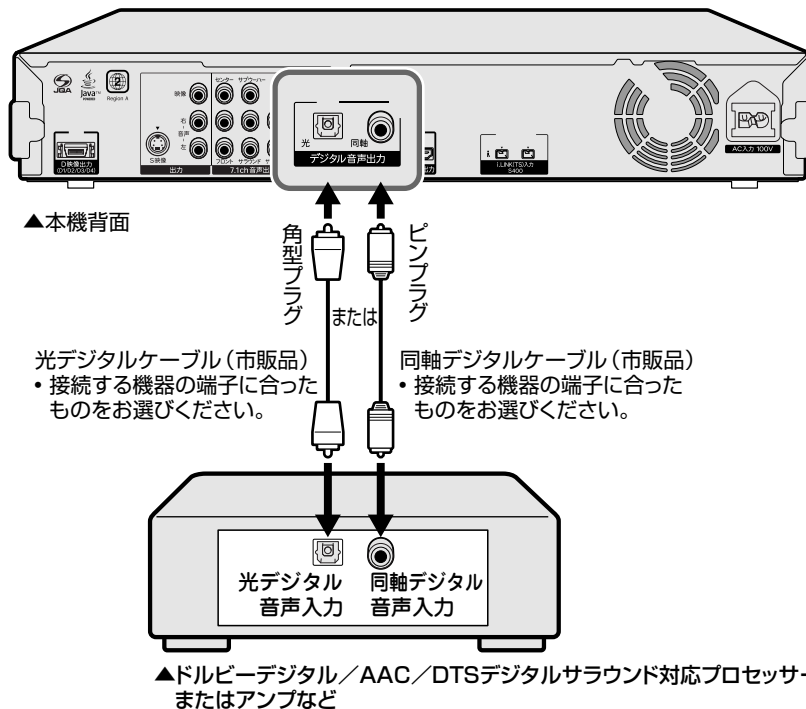
・7.1ch 音声出力端子または HDMI 出力端子を使ってアンプと接続したときは、「音声出力設定」（→**71**～**72**ページ）と「スピーカー設定」（→**79**ページ）の各項目の設定をしてください。
・7.1ch アナログ接続したときは、「音声出力設定」（→**71** ページ）の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定」で「7.1ch 音声出力」を設定します。
・HDMI 入力端子付きサラウンドアンプと接続したときは、「音声出力設定」（→**71** ページ）の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定」で「HDMI 出力」を選択し、「オート」または「PCM（サラウンド）」を設定します。（「HDMI 出力」を「オート」に設定したときは、接続した機器に応じた音声が出力されます。二ヶ国語放送を録画したディスクを再生したとき、音声の切り換えができない場合があります。そのようなときは、接続した機器側で音声を切り換えてください。）
・ドルビー True HD の音声は 2ch 出力となる場合があります。
・DTS-HD はコアストリーム部分（5.1ch）の再生が可能です。

デジタル接続で音声を楽しむときは

本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

- 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル（5.1ch）や DTS などの迫力ある音響効果を楽しめます。
  - ドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続（または同軸デジタル接続）することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

▲本機背面

▲ドルビーデジタル／AAC／DTSデジタルサラウンド対応プロセッサー、またはアンプなど

- 光デジタルケーブル（市販品）または同軸デジタルケーブル（市販品）は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 市販の光デジタルケーブル、同軸デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続した機器に合わせて以下の設定をしてください。
  ①「音声出力設定」（→ **71** ～ **72** ページ）の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定」で「光 / 同軸デジタル音声出力」を選択します。
  ② 各音声（ドルビーデジタル／ DTS ／ AAC）の出力を、接続した機器に合わせて「ビットストリーム」または「PCM（ステレオ）」に設定します。
  （音声出力を「ビットストリーム」に設定しているときは、BD ビデオのタイトル再生時に、メニュー操作などの項目選択音が出力されません。）

お知らせ

デジタル音声出力について

- 二ヶ国語放送を録画したタイトルの再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- 音楽用 CD を再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 96kHz（LPCM）音声は、48kHz で出力されます。

MD とデジタル接続し、録音して楽しむとき

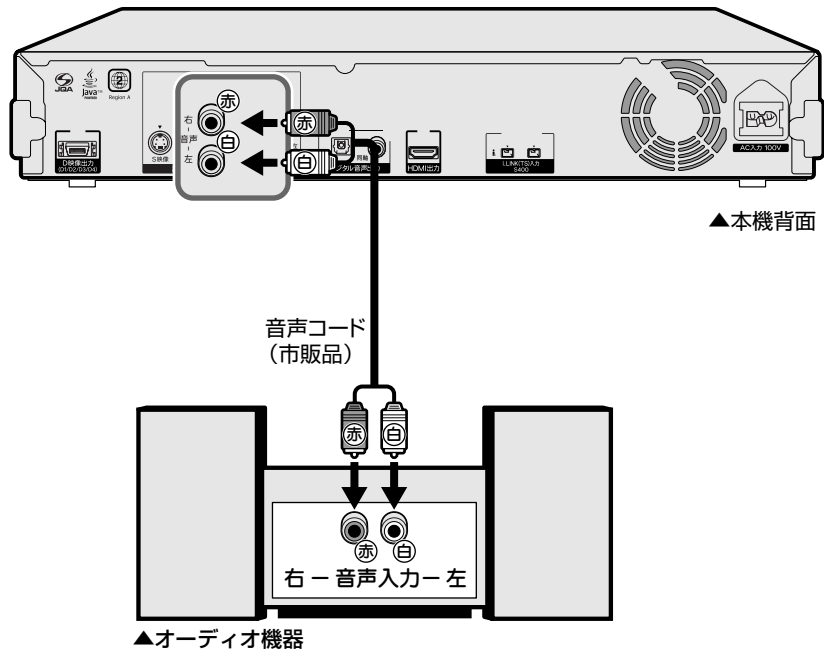
- 本機と MD をデジタル接続し CD を MD に録音したときに、CD と MD の曲番（トラック番号）が一致しないことがあります。

オーディオ機器を接続する場合

2ch アナログ接続で音声を楽しむときは

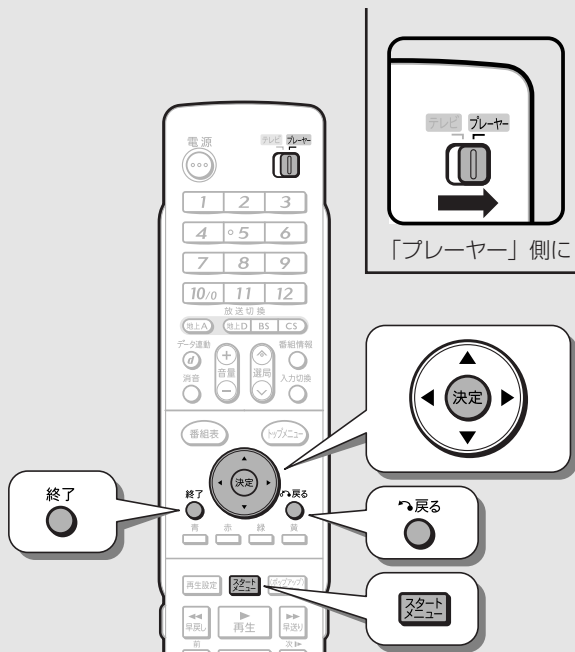
本機の音声を 2ch オーディオ機器で楽しむときの接続です。

●音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

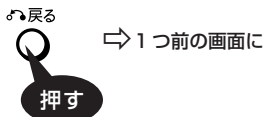
●オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

・ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは、「スタートメニュー」ー「各種設定」ー「映像・音声設定」ー「音声出力レベル」（→ **72** ページ）で設定を「ノーマル」にすることをおすすめします。「シフト」に設定すると、ディスク再生時に音声が正常に聞こえない場合があります。

各種設定の基本操作

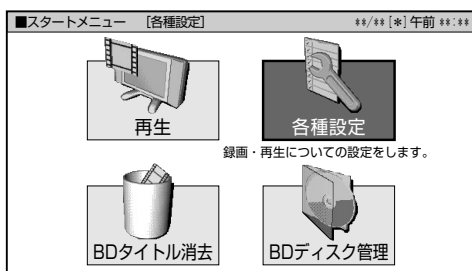
「各種設定」では、本機をより活用していただくための設定ができます。

お知らせ

・操作中、間違ったときや設定しなおしたいときは

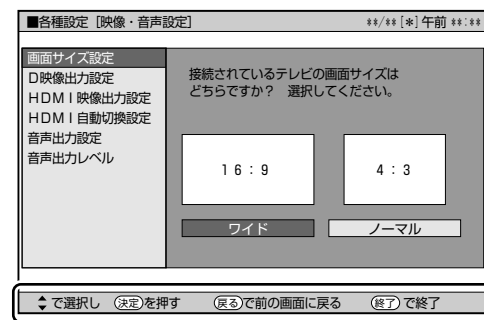
戻る 押す ⇨ 1つ前の画面に

1 テレビと本機の準備をします

☞ 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

3 「各種設定」を選んで決定します

4 設定したい項目を選んで決定します

（映像・音声設定の場合）

5 画面下のガイド表示にしたがって設定を進めます

例）「D映像出力設定」で「1125i優先」を選ぶ場合の設定操作

①「D映像出力設定」を選んで決定します

②「1125i優先」を選んで決定します

③「確認」で決定します

6 設定を終了します

「各種設定」で設定できる項目

■各種設定［映像・音声設定］ **/**［*］午前 **:**

映像・音声設定
スピーカー設定
日付・時刻設定
クイック起動設定
無操作オフ設定
ファミリンク連動設定
ＢＤ／ＤＶＤ再生設定
液晶設定
ｉ．ＬＩＮＫ録画設定
システムバージョン表示
設定リセット

で選択し 決定を押す 戻るで前の画面に戻る 終了 で終了

☆の付いたものは、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。

映像・音声設定

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16：9（ワイド）☆	16:9画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4：3（ノーマル）	4:3画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4：3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス☆	画面サイズが4：3のテレビと接続して16：9映像を再生するとき、16：9の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが4：3のテレビと接続して16：9映像を再生するとき、映像の左右をカットして4：3のサイズで再生します。（4：3PS指定の表示があるDVDビデオで動作する機能です。）

D映像出力設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、「D映像出力設定」の変更が必要です。

設定項目	設定内容
1125i 優先※1	映像を1125iで出力します。ただし、DVDビデオを再生したときは525pで出力します。
750p 優先※1	映像を750pで出力します。ただし、DVDビデオを再生したときは525pで出力します。
525p 固定	映像を525pで出力します。
525i 固定☆※2	映像を525iで出力します。

- DVDビデオが本機に挿入されているときは、D映像出力設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。

※1 「1125i優先」や「750p優先」に設定していても、DVDの再生映像はD映像出力端子から「525p」で出力されます。D映像出力端子からは、1125p映像は出力できません。

※2 D5/D4/D3/D2映像入力端子付きテレビとD映像ケーブルを使って接続したとき、再生映像やテレビとの相性により再生した映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは「D映像出力設定」を「525i固定」に設定してください。

HDMI映像出力設定

市販のHDMIケーブル（19ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機のHDMI端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
オート☆	通常は「オート」に設定します。
1125p 固定	1125pの映像を出力します。
1125i 固定	1125iの映像を出力します。
750p 固定	750pの映像を出力します。
525p 固定	525pの映像を出力します。

HDMI自動切換設定

市販のHDMIケーブル（19ピン）を使って本機とテレビを接続している場合に、テレビの電源を入れたときにHDMI出力に自動的に切り換えるかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	自動切換を行います。※
しない	自動切換を行いません。

※HDMIとD映像の両方を接続している場合は、自動切換は行われません。

音声出力設定

サラウンド対応のオーディオ機器と接続したときの設定をします。

- 設定は「1.サラウンド機器と接続した端子の設定」で、項目のいずれか1つだけ設定してください。

1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。

設定項目	設定内容
HDMI 出力	HDMI出力端子を使って接続したとき。
光/同軸デジタル音声出力	光/同軸デジタル音声出力端子を使って接続したとき。
7.1ch 音声出力	7.1ch音声出力端子を使って接続したとき。
サラウンド機器を使用しない	サラウンド機器を使用しないとき。

2. 上記の「1.」で選択した端子の音声出力方式を設定します。

「HDMI出力」を選択したとき

設定項目	設定内容
オート☆	● ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵したHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。 ● 接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。
PCM（サラウンド）	● マルチチャンネルPCM対応のHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。 ● ドルビーデジタル、DTS、AACなどの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCMで出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

次ページへつづく▶▶▶

「光/同軸デジタル音声出力」を選択したとき

光/同軸デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。※

設定項目		設定内容
ドルビーデジタル	ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS、AACデコーダーを内蔵したサラウンド機器を接続しているときに選択します。それぞれの音声をビットストリームで出力します。
DTS		
AAC	PCM（ステレオ）☆	ステレオ（2ch音声）タイプのオーディオ機器と接続するときに選択します。それぞれの音声をPCM 2ch音声に変換して出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

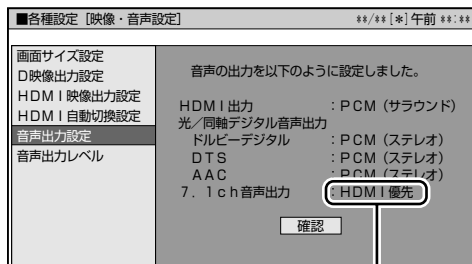
「7.1ch音声出力」を選択したとき

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

「サラウンド機器を使用しない」を選択したとき

※ 光/同軸デジタル音声出力端子から出力する音声を選択します。

設定確認画面について

- 各設定が完了すると設定確認画面が表示されます。「確認」で決定を押すと設定が完了します。

- サラウンド機器を接続する端子の設定により、他の端子の音声出力は一部自動的に設定されます。

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル☆	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）

※設定する際は、テレビやアンプの音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

スピーカー設定

7.1ch音声出力端子を使用してAVアンプなどを接続した場合に、接続するスピーカーに合わせて設定します。

- 設定方法は**80**ページをご覧ください。
- HDMI端子からマルチチャンネル音声を出力する場合もこの設定を行います。
- ディスクが本機に挿入されているときは、スピーカー設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。

日付・時刻設定

- BDに録画する前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。
- 録画リストで時刻順にタイトルの並び換えを行うため、日付・時刻設定を行うことをおすすめします。
- BDビデオディスクによっては、再生時に本機で設定した日付情報を使用するものがあります。
- 設定方法は**77**ページをご覧ください。

クイック起動設定

素早く電源を入にすることができます。
ハイブリッド録画を行う場合にも、クイック起動設定を行ってください。

設定項目	設定内容
する	「電源を入れる」「スタートメニューを表示させる」などの操作や、電源スタンバイ状態でも、「ハイブリッド録画」の操作ができる設定です。
しない☆	クイック起動設定を「切」にします。

- 設定方法は**78**ページをご覧ください。

無操作オフ設定

操作をしない状態が約10分続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約10分続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	操作をしない状態が続いても、自動的に電源を切りません。

- 無操作オフ機能は、再生や録画を行っているときは働きません。

ファミリンク連動設定

HDMIケーブルで接続したシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」から操作できるようにするかしないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMIケーブルで接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMIケーブルで接続した機器から操作できないようにします。

- シャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」が必要です。（ファミリンク機能を「HDMIコントロール機能」と表記しているテレビもあります。）

BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。設定方法については**74**ページをご覧ください。

DVD視聴制限レベル

- DVDビデオの視聴制限が設定できます。視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。 成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

BD視聴制限年齢

- BDビデオの視聴制限年齢が設定できます。

設定項目	設定内容
無制限☆	年齢制限をしません。
0 歳を制限 ～ 99 歳以下を制限	0 歳～ 99 歳の間で年齢制限をします。

国コード

- BDビデオやDVDビデオの国コードを選びます。

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。 （国コード一覧→**75**ページ）

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。
設定方法については**75**ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
日本語☆ （言語コード）	字幕の言語コードを選びます。 （言語コード一覧→**75**ページ）

音声言語

設定項目	設定内容
英語☆ （言語コード）	音声の言語コードを選びます。 （言語コード一覧→**75**ページ）

メニュー言語

設定項目	設定内容
日本語☆ （言語コード）	メニューの言語コードを選びます。 （言語コード一覧→ **75** ページ）

- 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

DVDビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「🎥」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

暗証番号設定

本機は視聴制限を設けることができます。この制限を通過するときに、暗証番号を使います。
設定方法については、**76**ページをご覧ください。

液晶設定

液晶バックライトと本体前面のランプを点灯させるか消灯させるかを設定します。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに液晶バックライトと本体前面のランプを点灯させます。
消灯	液晶バックライトと本体前面のランプ※は消灯します。

※電源ランプと待機ランプは消灯しません。

i.LINK 録画設定

シャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」やシャープ製のハイビジョンレコーダーとi.LINKケーブルで接続し、BDに録画するときの設定です。
本機にi.LINK接続している機器を選びます。

- 設定方法については、**49**、**52**ページをご覧ください。

システムバージョン表示

本機のシステムのソフトウェアバージョンを表示します。

設定リセット

本機に保存している設定情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している設定情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

- 暗証番号の設定もリセットされます。
- 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
- 本体のリモコン番号が「3」に戻ります。

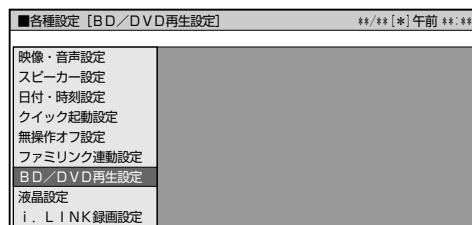
視聴制限やディスク優先言語を設定する

DVD ビデオや BD ビデオの視聴制限と、ディスク優先言語を設定します。

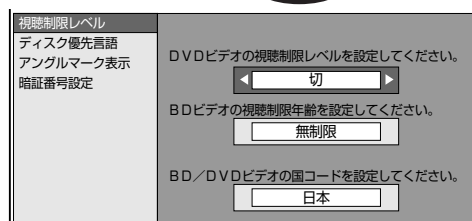
お知らせ

・「ディスク優先言語」で選ぶ言語コードについては次ページをご覧ください。

視聴制限を設定する

1 「スタートメニュー」ー「各種設定」ー「BD/DVD再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 76ページ を入力します

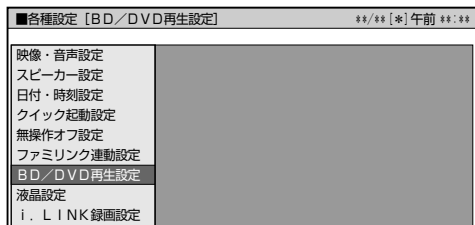
4 DVD ビデオの視聴制限レベルを設定します

- 視聴制限レベルについては **73** ページをご覧ください。
- 国コードについては次のページをご覧ください。

5 BDビデオの視聴制限年齢を設定します

6 国コードを設定します

7 設定を終了します

ディスク優先言語を設定する

1 「スタートメニュー」ー「各種設定」ー「BD/DVD再生設定」を選んで決定します

2 「ディスク優先言語」を選んで決定します

3 字幕言語を設定します

- 言語コードについては、下記をご覧ください。

4 音声言語を設定します

5 メニュー言語を設定します

6 設定を終了します

終了
押す

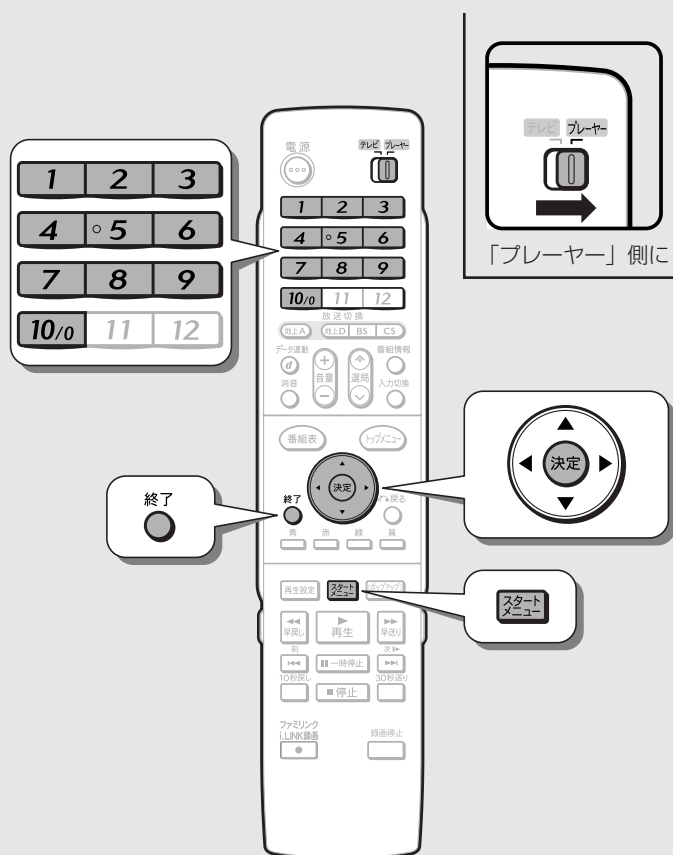
国コードの一覧表

国
アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラドビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダカスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ＝ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

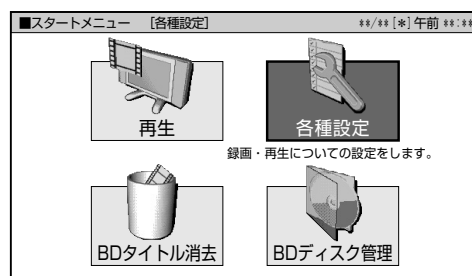
暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

・「BD/DVD再生設定」－「視聴制限レベル」の暗証番号としても使います。
・暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

・「各種設定」－「設定リセット」を行うと暗証番号設定がリセットされます。暗証番号を設定し直してください。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 20ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「BD/DVD再生設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力します

7 確認のためもう一度入力します

8 「確認」で決定します

⇨ 暗証番号を設定します

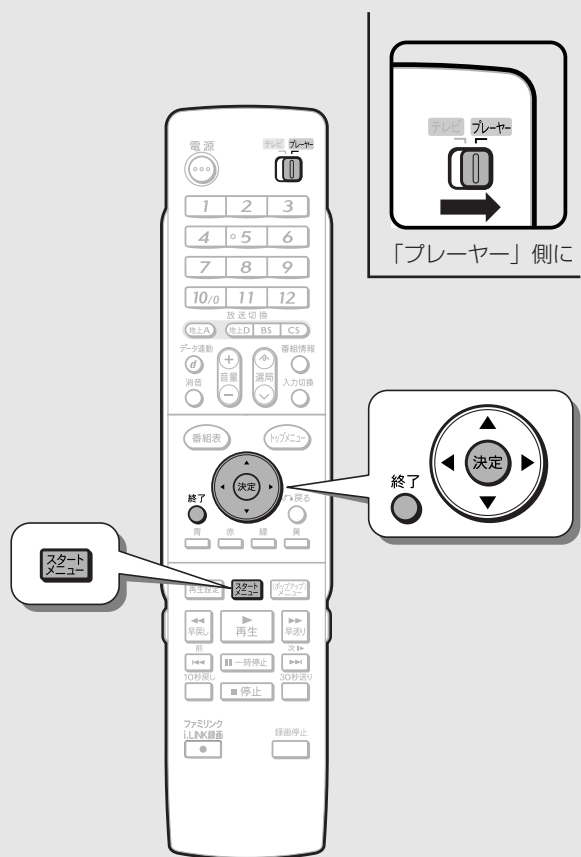
9 設定を終了します

時計を合わせる

本機の時計合わせをします。

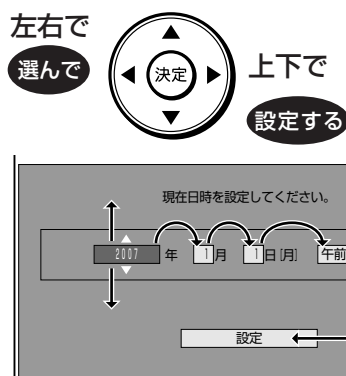
・録画リストで時刻順にタイトルの並び換えを行うため、日付・時刻設定を行ってください。

・BDビデオディスクによっては、再生時に本機で設定した日付情報を使用するものがあります。

1 テレビと本機の準備をします 20ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「日付・時刻設定」を選んで決定します

5 年→月→日→時→分をそれぞれ選んで設定します

6 「設定」で決定します

7 時計合わせを終了します

⇨ 設定を終了します

一発（クイック）起動を設定する

- 待機状態から電源ボタンやスタートメニューボタンを押すとすぐに起動するように設定できます。
- 本機の電源が切れている状態からハイブリッド録画（→ **50** ページ）を行うためには、「クイック起動設定」を行う必要があります。

ご注意

- 一発(クイック) 起動できるボタンは「電源」「スタートメニュー」「ファミリンク i.LINK 録画」「トレイ開／閉」です。
- 一発(クイック) 起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、背面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- クイック起動を「する」に設定していても、ファミリンク i.LINK録画 [●] を押して録画を行ったとき、録画開始までには多少時間がかかります。

お知らせ

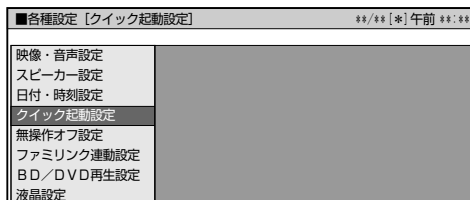
- 工場出荷時は一発(クイック) 起動は「しない」に設定されています。
- 接続するモニターや端子によっては一発(クイック)起動に多少時間がかかる場合があります。
- 本機とi.LINK接続したシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」の番組表でi.LINK 予約を行ったときは、一発（クイック）起動を「する」に設定してください。
  「しない」に設定されているときは、本機の電源を「入」にしておかないと、i.LINK 予約が働きません。

1 テレビと本機の準備をします

☞ 20 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「クイック起動設定」を選びます

5 クイック起動を設定します

電源スタンバイの状態から、すぐに電源起動できるようにしますか？

※「する」の場合、
・「しない」に比べ待機時の消費電力は増加します。
・本機が電源スタンバイ状態でもi.LINKでの録画操作が可能です。

する　しない

する：　「電源」「スタートメニュー」「ファミリンク i.LINK 録画」「トレイ開／閉」ボタンを押すだけで、すぐ操作が行えます。

しない：一発（クイック）起動しません。

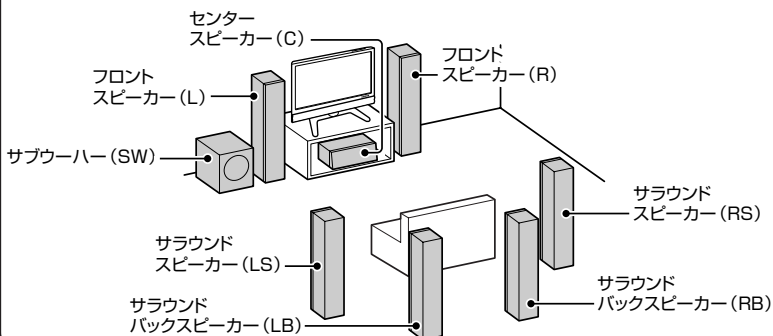
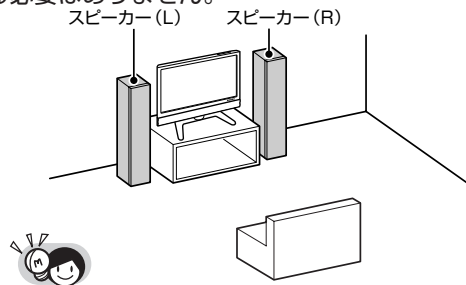
6 設定を終了します

⇨ 待機状態（電源切）で   のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

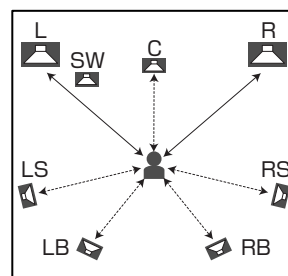
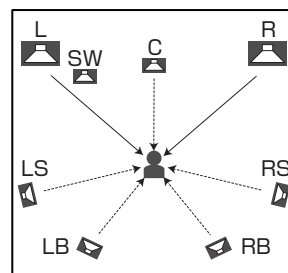
スピーカーの設定をする

お使いのスピーカーに合わせて、本機の音声出力を設定することができます。

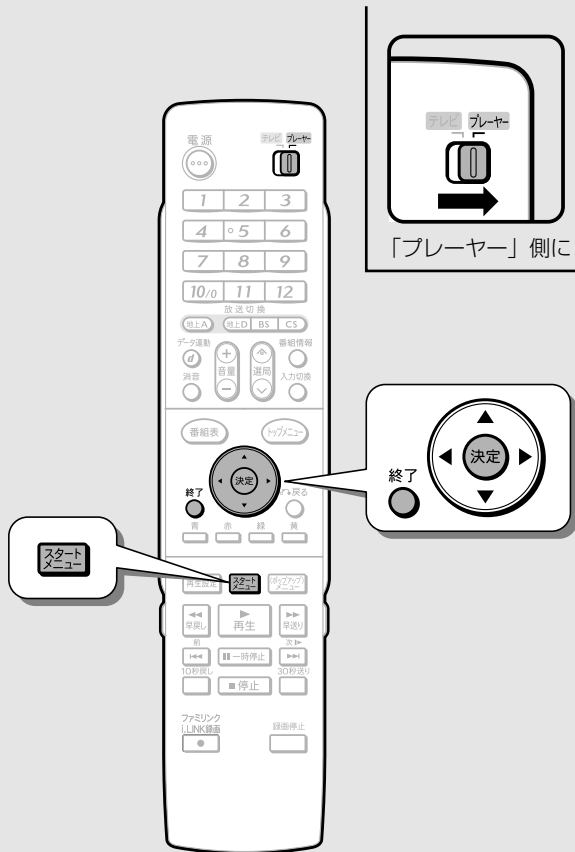
こんなときにスピーカー設定をします

● 5.1chまたは7.1chのサラウンドシステムをお使いのときに設定します。
（例）7.1chの場合

● 2chステレオスピーカーをお使いのときは、設定する必要はありません。

・スピーカーの設置について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

設定項目について（すべてのスピーカーに対して個々に設定します。）

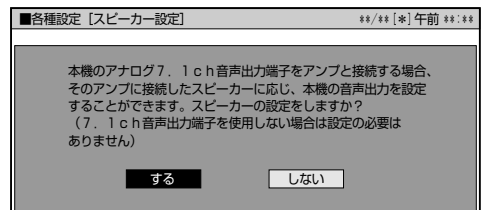
スピーカーのサイズ	●スピーカーのサイズを設定します。 大※1 ：ウーハーの口径が16cm※2以上あるときに選びます。 小※1 ：ウーハーの口径が16cm※2未満のときに選びます。 有※3 ：サブウーハーを使うときに選びます。 無※4 ：使用しないスピーカーがあるときに選びます。 ●工場出荷時の設定：大（フロント／センター／サラウンドスピーカー） 有（サブウーハー） ※1 通常は「大」に設定します。「大」にすると正常な音声にならない（音がひずむなど）ときは、「小」に設定してください。 • L（左）とR（右）で異なるサイズには設定できません。 • フロントスピーカーを「小」に設定すると、他のスピーカーも「小」になります。（変更はできません。） • サラウンドスピーカーを「小」に設定すると、サラウンドバックスピーカーも「小」になります。 ※2 「16cm」は目安です。 ※3 サブウーハー（SW）のみの設定です。 ※4 フロントスピーカーは「無」に設定できません。サブウーハーを「無」に設定すると、フロントスピーカーは「大」に固定されます。 サラウンドスピーカーを「無」に設定すると、サラウンドバックスピーカーも「無」になります。（変更はできません。）
スピーカーからの距離	●各スピーカーとリスニングポジションの距離を設定します。お部屋の広さなど環境に合わせて設定してください。 ●0.1m～9.0mまで、0.1m単位で設定できます※5。 ●工場出荷時の設定：3.8m（フロント／センタースピーカー） 2.0m（サラウンドスピーカー） ※5 サブウーハーにはスピーカーからの距離の設定はありません。
スピーカーの音量（レベル）	●各スピーカーから同時に音が聞こえるように設定します。お部屋の広さなど環境に合わせて設定してください。 ●－6dB～＋6dBまで、1dB単位で設定できます。 ●工場出荷時の設定：0dB
テスト音	●各スピーカーから順番にテスト音が出て、音量にバラつきがないか確認できます。 ●テストをしながら個別にスピーカーの設定を直すことができます。

次ページへつづく▶▶▶

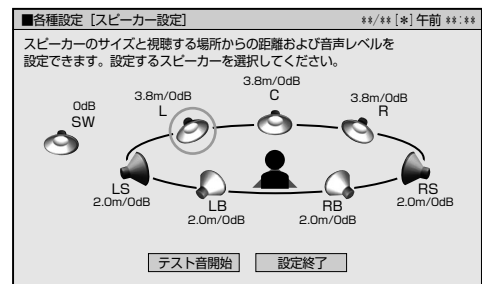
お知らせ

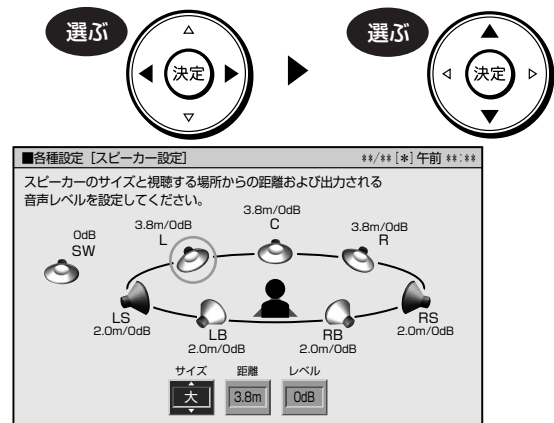
・ディスクが本機に挿入されているときは、スピーカー設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。

設定のしかた

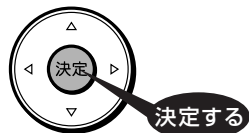
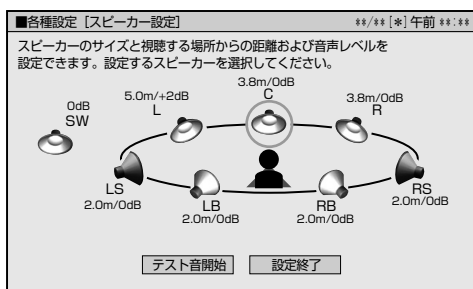
1 スタートメニューで「各種設定」を選んで決定します

2 「スピーカー設定」を選んで決定します

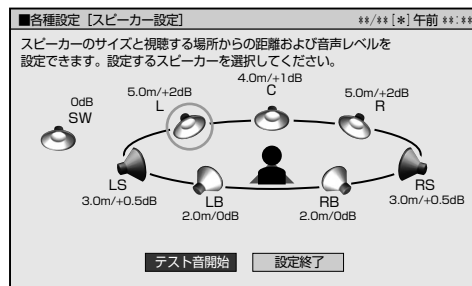
3 「する」を選んで決定します

4 設定したいスピーカーを選んで決定します

次ページへつづく▶▶▶

5 設定します

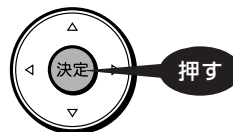
項目を選ぶ　設定する

- サイズを「無」にすると、選んだスピーカーのイラストが画面表示から消えます。

6 決定します

7 手順 4 ～ 6 をくり返し、各スピーカーを設定します

設定した音声を確認する

8 各スピーカーの設定が終ったら、「テスト音開始」を選んで決定します

- テスト音モードになり、各スピーカーから順番にテスト用の音声が聞こえます。
- テスト音が鳴っているときに(決定)で他のスピーカーを選ぶと、選んだスピーカーでテスト音を聞くことができます。
- 「テスト音停止」を選んで決定すると、テストを中止できます。

設定し直す

各スピーカーの音量にバラつきがある場合は、個別に設定し直します。（SW（サブウーハー）は「レベル」のみ修正できます。）

9 設定し直したいスピーカーからテスト音が聞こえているあいだに、リモコンの決定ボタンを押します

10 「レベル」を設定し直して決定します

- 決定すると、設定し直したスピーカーから順番にテスト音が出ます。

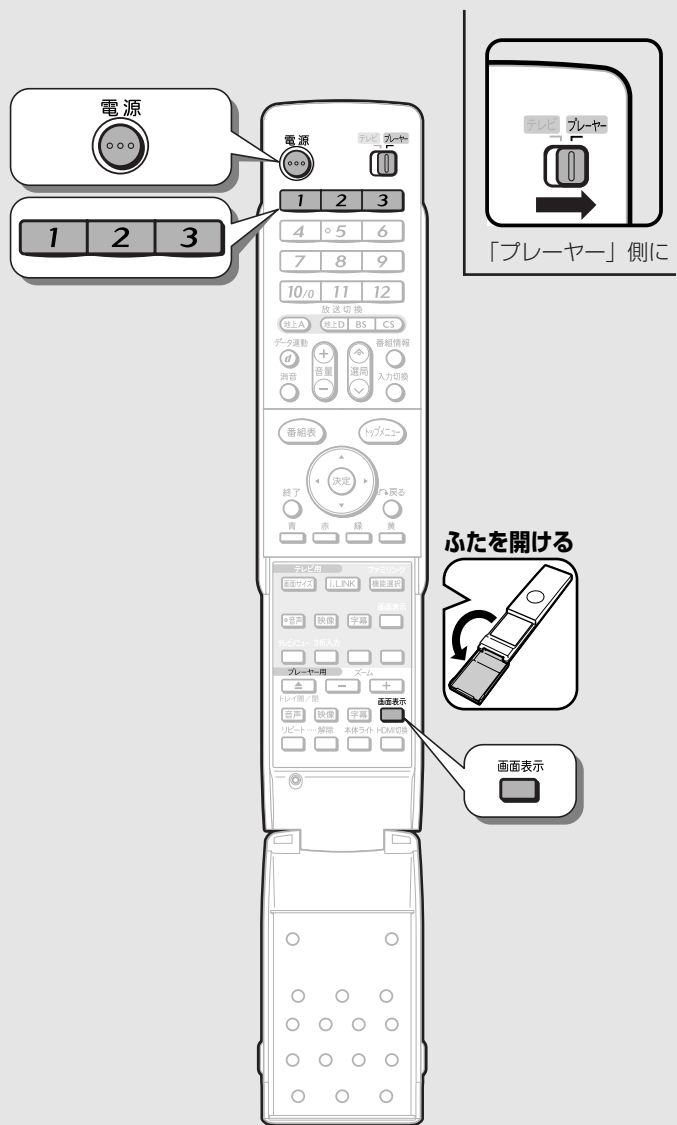
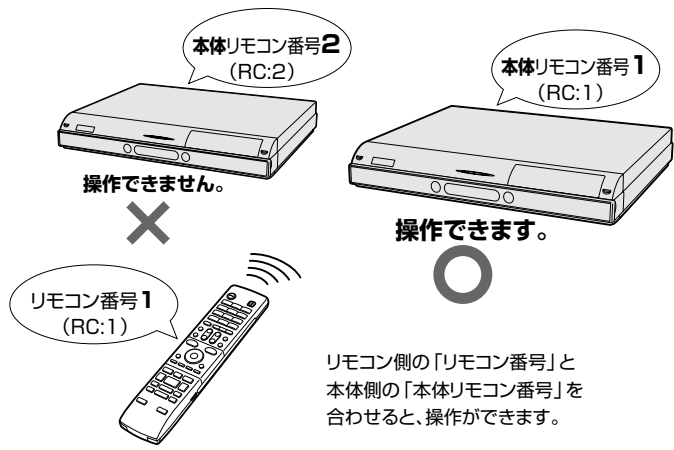
11 手順 9 ～ 10 をくり返し、設定し直します

設定を終了する

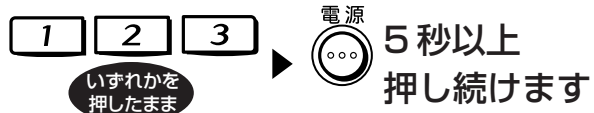
12 「設定終了」を選んで決定し、設定を終了します

テスト音開始　設定終了

リモコン番号を設定する

リモコンを使うと他機（シャープ製のDVDレコーダーなど）が同時に動作する場合は、他機と異なるリモコン番号を設定してください。

• リモコン番号はリモコン側と本体側を合わせて設定しておきます。

1 リモコン側の設定をします

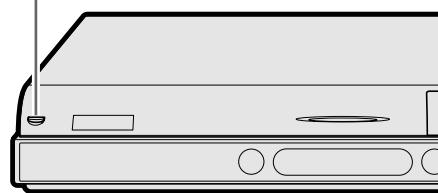
テレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側に切り換えます

プレーヤー側に

2 リモコン番号を設定します

⇨ 押した番号のリモコン（RC）番号に設定します

・必ず数字ボタン 1 2 3 のいずれかを先に押してください。
・他機が動作しない番号に設定してください。

3 本体の電源ボタンで電源を切ります

電源ボタン

お知らせ

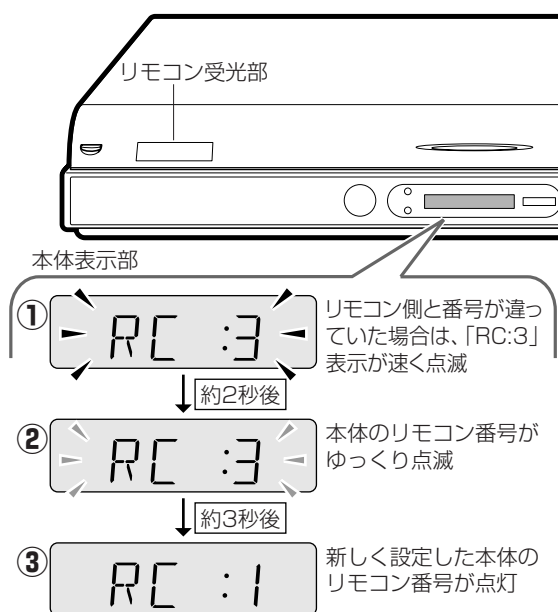
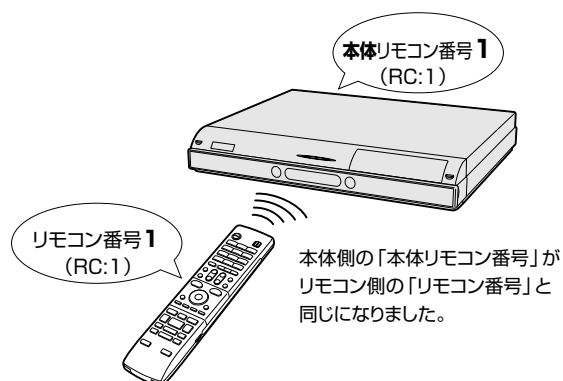
・1～3の3種類のリモコン番号が設定できます。工場出荷時の設定は「3」です。
・リモコンで本機を操作しようとしてもできない、あるいは他機が動作してしまう場合は、リモコン番号を変更してください。
・長時間（約１日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「3」に戻ります。

次ページへつづく ▶▶▶

4 本体側の設定をします

リモコンを本体に向けて、リモコンふた内のプレーヤー用の[画面表示]を押し続けます

● 本体表示部が次のように変わり、リモコン側と同じ番号が本体側に設定されます。

例）本体リモコン番号が3から1に変わったとき

● 設定されたら[画面表示]を離してください。

ご注意

手順4で本体表示部のリモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。
・乾電池が正しくセットされていますか？
・乾電池が古く寿命がきていませんか？新しいアルカリ乾電池と交換してください。
・本体のリモコン受光部前に障害物がありませんか？
・他の機種のリモコンを使っていませんか？

お知らせ

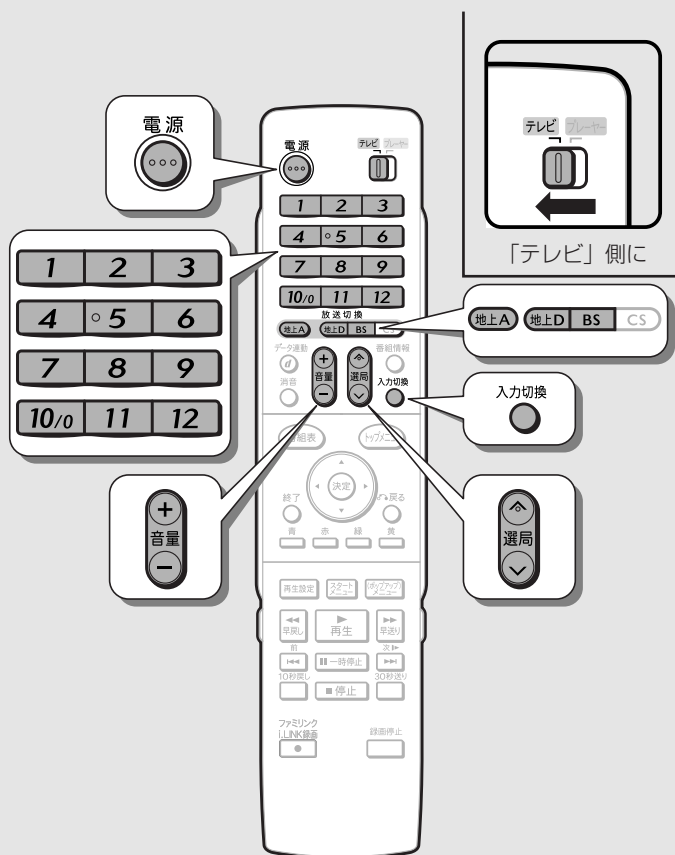
・「設定リセット」（→**73**ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：3」に戻ります。

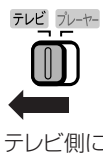
確認
準備
基本
再生
録画
接続
各種設定
リモコン設定
参考

本機のリモコンでテレビを操作する（テレビメーカー指定）

本機に付属のリモコンで、シャープ製以外のテレビが操作できます。

ご注意

- テレビの種類や機種によっては、本機のリモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作部は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間（約1日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、テレビメーカー指定は「シャープC」に戻ります。テレビメーカー指定をやり直してください。

1 テレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側にします

テレビ側に

2 メーカー指定ボタンを押したまま、電源を５秒以上押します（下表参照）

例：シャープC：1 ＋ 電源

対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン	メーカー	指定ボタン
シャープC※	1 ＋ 電源	日立	9 ＋ 電源
シャープA	2 ＋ 電源	東芝	10/0 ＋ 電源
シャープB	3 ＋ 電源	パイオニア	11 ＋ 電源
松下1	4 ＋ 電源	三洋1	12 ＋ 電源
松下2	5 ＋ 電源	三洋2	地上A ＋ 電源
日本ビクター	6 ＋ 電源	フナイ	地上D ＋ 電源
ソニー	7 ＋ 電源	アイワ	BS ＋ 電源
三菱	8 ＋ 電源		

※工場出荷時

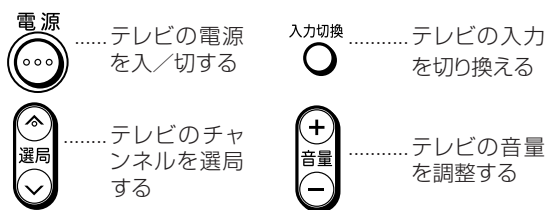
- 同じメーカーで指定番号が2つ以上あるものは、順番に試して、手順 3 でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

電源……テレビの電源を入／切する

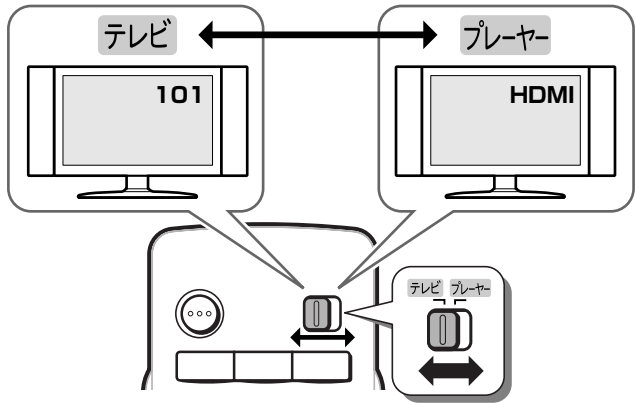
入力切換……テレビの入力を切り換える

選局……テレビのチャンネルを選局する

音量……テレビの音量を調整する

・「シャープC」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作用ボタンがすべて使えます。それ以外のテレビでは、電源、音量、選局、入力切換が操作できます。
・「シャープC」に設定したときは、テレビ／プレーヤー切換スイッチの入力自動切換機能を使用できます。（設定は→**85**、**86**ページ）

リモコンの入力自動切換について

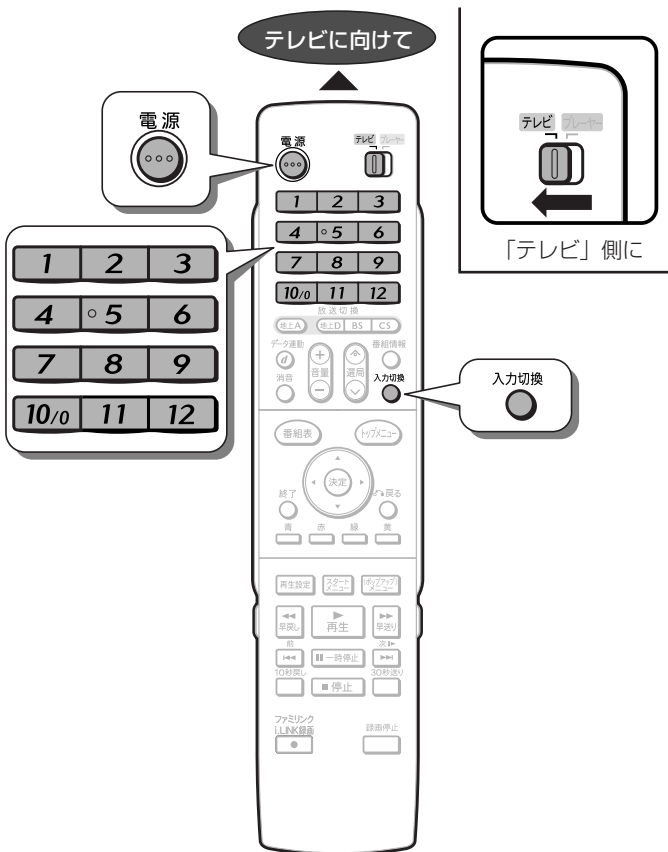
本機のリモコンは、シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」の外部入力を自動的に切り換える機能を持っています。

入力自動切換とは

工場出荷状態では

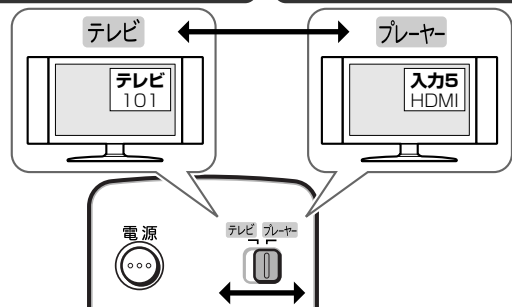
テレビメーカー指定　→「シャープC」
入力自動切換　　　　→「しない」
　　　　　　　　　　　になっています。

- 本機のリモコンのテレビ／プレーヤー切換スイッチは、テレビメーカー指定を「シャープC」（工場出荷状態）に設定しているとき、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。
- スイッチを「プレーヤー」側に切り換えるだけで、テレビの入力を、自動的に本機を接続した入力に切り換えることができる便利な機能です。（工場出荷状態では働かない設定になっています。）
- テレビメーカー指定を「シャープC」で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」です。

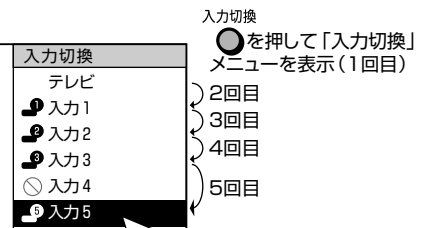
入力自動切換の設定をする

- 入力自動切換は、工場出荷状態では働かない設定になっています。テレビの外部入力を、本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定するには、**86** ページの操作を行ってください。

こんな使いかたが便利です

たとえば、本機をテレビの入力５（HDMI端子）に接続している場合

- テレビの「入力」が、自動的に入力５（HDMI 端子）に切り換わるように設定できます。

- スイッチを「プレーヤー」側に切り換えると、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。（回数は設定できます。）

例）本機をテレビの入力５（HDMI 端子）に接続している場合

次ページへつづく ▶▶▶

テレビの外部入力を、本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定します

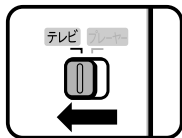
- リモコンをテレビの真正面に向けて、リモコンの信号が届く範囲で操作を行ってください。
- リモコンのテレビメーカー指定が「シャープC」(工場出荷時)のとき設定できます。

1 テレビメーカー指定を「シャープC」にします（→84ページ）

（→84ページ）

「シャープC」で操作できないテレビでは、入力自動切換は働きません。

2 テレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側にして、電源 を押してテレビの電源を入れます

テレビを操作

テレビ／プレーヤー切換スイッチを「テレビ」側にする

- テレビ放送が映ることを確認します。

3 リモコンを使わずに、本体の電源ボタンを押して本機の電源を入れます

- テレビに本機以外の機器（ビデオなど）が接続されている場合、本機以外の機器の電源は切っておきます。

4 入力切換 を押し、入力画面が切り換わるのを確認しながら繰り返し押します

- 「プレーヤー（本機）」の画面が何回目で映ったかを確認します。（下の枠内に記入しておきます。）

メモ	回目	－１＝	設定に使う数字ボタン

- ただし、「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。

5 数字ボタン（1 ～ 12 のいずれか）を押しテレビ画面に戻します

6 手順 4 でメモした値で設定を行います

設定例

手順 4 で「5回目」とメモしたとき

数字ボタン 4 を押したまま、入力切換 を5秒以上押し続けます。

- 手順 4 でメモした値から、1を引いた値が設定に使う数字ボタンです。
- 手順 4 で「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。
- 数字ボタンは必ず先に押してください。
- 工場出荷時は、数字ボタン 10/0（切り換わらない）となっています。

7 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側にします

本機を操作

テレビ／プレーヤー切換スイッチを「プレーヤー」側にする

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- テレビ／プレーヤー切換スイッチを切り換えたあと約3秒以上たってもテレビの入力が切り換わらないときは、スイッチを「テレビ」側に切り換え、再度手順 5 ～ 7 の操作を行い、設定し直してください。
- 入力が切り換わる様子を見ながら操作を行うと、再設定がしやすくなります。

メ モ

・テレビ／プレーヤー切換スイッチを切り換えてもテレビの入力を切り換えたくない場合は

・シャープ製のファミリンク機能に対応したテレビ「アクオス」と接続した場合は、スイッチによる入力自動切換を行わないことをおすすめします。
（本機で再生などの操作をすると、ファミリンクの機能により、テレビの画面が自動的に本機の画面に切り換わるためです。）

こんなときは

この章では、再生や録画できないときなど、
困ったときに確認していただきたいことを
説明しています。

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類 ＼ 再生できる条件		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード「A」または、「A」を含む意味のもの	12cm盤	――――	音声＋映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、1層			
BD-R	Ver. 1.1、1層（ファイナライズ済ディスク）			
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声＋映像（動画）
DVD-RW DVD-R DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD+RW, DVD+RW DL DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD-RAM［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット	音声＋映像（動画）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声

本機で再生できないディスク

●本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BDビデオ	● リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク） リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC方式のディスクであれば再生できることもあります。 ● PAL方式、SECAM方式のディスク
BD-RE BD-R	● BD-RE Ver.1.0は本機で再生できません。 ● 2層ディスク、カートリッジタイプのディスクは再生できません。
DVDビデオ	● リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ● PAL方式、SECAM方式のディスク（海外で製造されたディスク） ● 無許諾のディスク（海賊版のディスク） ● 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	● データが記録されていないディスク ● 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ● ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** ● DVD-R（VRフォーマット）ディスク ● DVD-R DL（2層）ディスク ● DVD+R DL（2層）ディスク

CD-R CD-RW	● データが記録されていないディスク ● ファイナライズされていないディスク ● 音楽CDフォーマット以外のフォーマットで記録されたディスクや、JPEGファイルのデータが記録されたディスク ● 音楽や映画などと静止画（JPEGファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEGファイル）を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 ● ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ● ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用CD	● 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入ったCDは再生できない場合があります。 ● DTS音声とリニアPCM音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。**
ビデオCD	● ビデオCDは本機で再生できません。
DTS CD	● リニアPCM音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機で録画・ダビングができるディスク

<table>
<tr><td colspan="2">ディスクの種類
ディスクの特長</td><td>Blu-ray Disc
BD-RE
（必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをお使いください。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">繰り返し録画</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">追加録画</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクのバージョン</td><td>Ver.2.1（1層ディスク）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">デジタル放送をi.LINK入力録画する場合</td><td>録画可能の番組の録画</td><td>○</td></tr>
<tr><td>1回だけ録画可能の番組の録画</td><td>○</td></tr>
<tr><td>録画禁止の番組の録画</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">デジタル放送を他のレコーダーなどから、i.LINKダビングする場合※1</td><td>録画可能の番組の録画</td><td>○コピー</td></tr>
<tr><td>1回だけ録画可能の番組の録画</td><td>○移動（ムーブ）</td></tr>
<tr><td>録画禁止の番組の録画</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="2">新品のディスクを使うとき</td><td>初期化が必要です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再初期化</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">他の機器で録画したディスクを再生する</td><td>○</td></tr>
</table>

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※1 ● i.LINKダビングができるのは、シャープ製ハイビジョンレコーダーのHDDにHD/SD録画された番組です。それ以外で録画された番組はダビングできません。
また、本機から他機へのダビングはできません。

本機で録画可能なBD-REディスクについて

- ソニー、パナソニック、TDK、三菱化学メディア製のBD-RE Ver.2.1（1層）ディスクに録画することが可能です。
  上記以外のディスクは録画できないことがあります。（2007年3月現在）

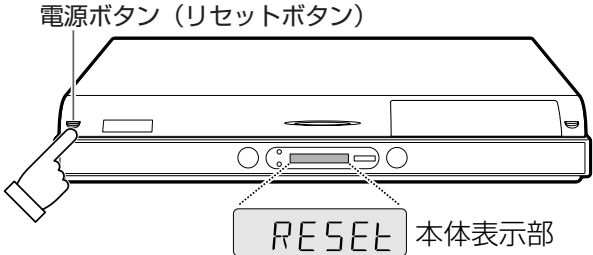
DVDディスクの再生について

- ファイナライズ処理が必要です。
- DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- DVD-R（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組も再生できます。（再生できない場合もあります。）
- DVD-R DL（2層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で録画・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、BD-RE 2層ディスク、BD-R 2層ディスク、CDG※2、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT※2、CD-EXTRA※2、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVDオーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

※2 音声のみ再生できます。

- BD-Rディスクには録画できません。

確認 準備 基本 再生 録画 接続 各種設定 リモコン設定 参考

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

●「よくあるお問い合わせ」（→ **98** ページ）も、あわせてご覧ください。

操作ができない

操作ボタンを受けつけない。

●リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **18** ページ）

操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない。

●一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。

●電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体表示部に「RESEt」が表示されるまで（約８秒間）本体の電源ボタンを押し続けてください。

電源ボタンを押し続けると電源が「切」になります。電源ボタンから手を離し、再度電源を入れ直してください。

●本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。

※状況が改善されない場合は、販売店またはお客様相談センター（→ **101** ページ）にご相談ください。

極端に寒い場所でお使いのとき。

●使用温度範囲内でお使いですか。（→ **102** ページ）

電源が入らない。

●電源プラグ（→ **19** ページ）をコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット（左記参照）してください。

●電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約１分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。

●電源ボタンは、待機ランプが点灯してから押してください。

勝手に電源が切れる。

●「無操作オフ設定」（→ **72** ページ）が「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態が約 10 分続くと自動的に電源が切れます。

映像が映らない

画面が映らない。

●接続が正しいか確認してください。（→ **62** ～ **67** ページ）

●テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。

●HDCPに対応していないDVI機器には映像が映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。）

●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。

●電源「切」の状態になっていませんか。

BDやDVDディスクの画面が映らない。

●BDやDVDディスクをクリーニングしてください。（→ **13** ページ）

テレビの1chまたは2chで本機の映像が見られない。

●AV 入力端子付きテレビでお楽しみください。

D映像出力端子/HDMI出力端子でテレビと接続している場合は。

●テレビに装備されているＤ映像入力端子には「D1/D2/D3/D4/D5」の種類があります。本機のＤ端子と接続したテレビの入力端子に合わせて、本機の「D映像出力設定」（→ **71** ページ）を変更してください。

●本機は、Ｄ映像出力端子またはHDMI出力端子のどちらか一方からしか出力されません。

［HDMI切換］を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（Ｄ映像端子）または「H-oP」（HDMI 端子）を選択してください。

映像が正常に映らない

横長の映像や縦長の映像になる/画面の上下に黒い帯が出る。

- 「画面サイズ設定」（→ **71** ページ）は、接続されているテレビに合っていますか。
- ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」（→**71** ページ）が「16：9（ワイド）」に設定されていますか。
- HDMI 出力端子 /D 映像出力端子でテレビと接続している場合、画面サイズを 16：9に設定していると、S 映像出力端子 / 映像出力端子からは 16：9（スクイーズ）の縦長の映像が出力されます。

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る。

- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

映像が停止する。

- 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。

HDMIケーブルでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない。

- 電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態でHDMI ケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。
  電源を入れた状態で誤って HDMI ケーブルを抜いたときは、電源を切ってからHDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。

音声

スピーカーから音が出ない、音が歪む。

- 一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。
- 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
- テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN（最小）」になっている場合はボリュームを上げてください。
- 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
- BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **13** ページ）
- BD または DVD ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。

音が左右逆になる／片方しか音が出ない。

- 音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。（→ **64**、**65**、**67**、**69** ページ）

2つの音が混ざって聞こえる。

- 音声切換が間違っていませんか。リモコンふた内のプレーヤー用の［音声］を押し、音声を切り換えます。（→**38**ページ）

BDへの録画（ハイブリッド録画・かんたんBDダビング）

録画が中断されている。

- 録画中に停電などがありませんでしたか。

録画したが何も録画されていない。

- シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機をi.LINKケーブルで接続しましたか。
- 放送のない（放送が終了している）チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態で録画される場合があります。

録画(ダビング)ができない、録画(ダビング)が途中で止まる。

- テレビから本機に録画できるのはデジタル放送です。
- シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」に、i.LINKケーブルで本機を接続してください。
  その他の機器からは接続しても録画できません。
- 本機にかんたんBDダビングできるのは、本機とi.LINK接続したシャープ製のハイビジョンレコーダーです。
  その他の機器からは接続してもダビングできません。
- ハイビジョンレコーダーから本機にダビングできるのは、ハイビジョンレコーダーのHDDにHD/SD録画された映像です。
- 本機とハイビジョンレコーダーのみをi.LINK接続した状態にしないと、ダビングできない場合があります。確実にダビングするため、本機やハイビジョンレコーダーが他の機器とi.LINKで接続している場合は、他の機器からi.LINKケーブルを抜き、本機とハイビジョンレコーダーのみi.LINK接続した状態で操作してください。
- 録画ができるのはBD-RE Ver.2.1（1層）ディスクのみです。BD-RやDVDディスクには録画ができません。
- 他機でディスク保護が設定されているディスクを使用したとき、録画可能ディスクでも再生専用ディスクとなります。（録画や初期化は行えません。）
- BDの空き時間は足りていますか。BDに録画された不用なタイトルを消去して、録画に必要な空き容量を確保してください。
- ディスク再生中は録画ができません。
- 録画が禁止された映像は録画できません。（→ **89** ページ）
- BDをクリーニングしてください。
- 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
- 誤ってi.LINKケーブルを抜いたりしたときは、途中で録画（ダビング）が停止します。
- 停電などがありませんでしたか。

ハイブリッド録画ができない。

- i.LINKケーブルを使ってシャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機を接続しましたか。
- ハイブリッド録画できるのはデジタル放送のみです。
- クイック起動設定が「しない」に設定されているときは、電源が切れているとハイブリッド録画ができません。本機の電源を「入」にしてから録画操作をしてください。
- クイック起動が「する」に設定されていても電源を切った直後（約5分間）は録画準備ができていないため、本機の電源を「入」にしてから録画操作をしてください。
  ※ 録画準備ができていないときは、本体表示部に[TS-Err]と表示されます。

ダビング中の映像が見られない。

- 本機では、ダビングをしている映像を視聴することはできません。

ダビングしたタイトルの先頭が録画されていない。（先頭が欠けている。）

- 録画が開始されるまで、数秒かかります。そのため、ダビングする番組のはじめの数秒は、ダビングされません。
- **ダビングは必ず1タイトルずつ行ってください。**

BDの予約録画（テレビのファミリンク（i.LINK）予約）

予約したのに録画されていない、途中で切れている。

- BDの状態を確認してください。（→上の「録画（ダビング）ができない、録画（ダビング）が途中で止まる。」）
- 録画開始時間に下記の状態であった場合は、録画されません。
  - 録画中（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください。）
  - ダビング中（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください。）
  - 再生中（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください。）
- 予約待機中/録画中に停電がありませんでしたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。
- 停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。
- BDの残量は充分でしたか。残量が少ない場合、不用なタイトル（番組）を消去してください。（→ **58**、**59** ページ）
- 放送時間が変更されていませんか。
- 番組が延長されていませんでしたか。
- 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。
- 途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。
- BDをクリーニングしてください。（→ **13** ページ）
- クイック起動設定を「する」にしましたか。
- 予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。

BSデジタル放送のラジオ放送、データ放送が記録されていない。

- ラジオ放送、データ放送は記録できません。

アクオスの電子番組表(EPG)からi.LINK予約をしたが予約録画が働かない。

- i.LINKケーブルを使って、シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機を接続しましたか。本機で録画するためにはi.LINKケーブルが必要です。
- 本機のクイック起動設定を「する」にしましたか。「しない」にしている場合は、予約録画が始まる前に本機の電源を「入」にします。本機のクイック起動設定を「する」にしているときは、予約開始時刻になると本機の電源が「入」になり、録画を開始します。
- 本機が録画中、ダビング中、再生中などの動作中は、i.LINK予約が行えません。テレビ画面には「録画に失敗しました。」と表示されます。

連続した番組を予約録画したときに、1つのタイトルとして録画される、番組の最初が録画されない。

- シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」とi.LINK接続して、連続した番組「(例) 午後7:00～8:00までの番組と午後8:00～9:00など」を予約したときは次のように録画されます。
  - 予約した番組が同じチャンネルの場合は、条件により1つのタイトルまたは2つのタイトルとして録画されます。
  - 予約した番組が別のチャンネルの場合は2つのタイトルとして録画されます。

再生

BDやDVDディスクが再生できない。

- BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。(→**88**ページ)
- BD-RE Ver.1.0は再生できません。
- BD-REやBD-Rの2層ディスクは再生できません。
- BD-R Ver.1.1やDVDディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。
- ディスクをクリーニングしてください。(→**13**ページ)
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。(→**21**ページ)
- 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。(→**13**ページ)
- PAL/SECAM方式のディスクは再生できません。
- ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。

市販のDVDビデオが再生できない。

- 本機で市販のDVDビデオを再生すると、「D映像出力設定」を「1125i優先」(または「750p優先」)に設定してあっても、525pの信号が出力されます。そのためテレビやプロジェクターが1125i／750p専用の場合は、市販のDVDビデオの再生映像が楽しめません。

市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう。

- 市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。

市販のBDビデオまたはDVDビデオをセットしたが再生が自動的に始まらない。

- ディスクが自動再生に対応しているか確認してください。

他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる。

- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。
- DVD-R DL(2層)ディスクは再生できない場合があります。

つづき再生が働かない。

- ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
- 市販のBDビデオ、DVDビデオ、ファイナライズされたビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスク、音楽用CDは、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

二ヶ国語の音声が切り換えられない。

- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。

BDやDVDの映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているDVDディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

録画リストのタイトル名に「＊」が表示される。

- 他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」と表示されます。

録画した最後の数秒間が再生されない。

- 再生した番組の終了位置は、他機で録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。

静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない。

- DVD-RW/-R ディスク（VR フォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。
- コマ戻し再生はできません。

早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない。

- 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。（音楽用CDを除く）
- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く）BD・DVD ディスクの場合は、再生状態になります。

設定ができない。

- DVD ビデオが本機に挿入されているときは、D 映像出力設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。
- ディスクが本機に挿入されているときは、スピーカー設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。

スロー再生がうまくいかない。

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。
- 逆スロー再生はできません。

再生できない/再生が中断される。

- デジタル放送を BD に録画（ハイブリッド録画・かんたん BD ダビング）しているときは、再生はできません。

再生できないタイトルがある。

- 正常に録画されなかった映像は再生できません。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

データ放送が再生できない。

- BD に録画された連動データ放送は再生できません。

録画したデジタル放送の字幕が表示できない。

- BD にはデジタル放送の字幕が記録できません。
- BD に録画された番組の字幕は表示できません。

写真データ（JPEG）の再生ができない。

- 本機では写真データ（JPEG）の再生はできません。

DVDビデオを挿入すると起動画面（背景）やスタートメニュー画面が粗く見える。

- DVD ビデオを挿入したときは、D 映像出力が 525p 出力に固定されるためで、故障ではありません。

本体の音／動作

電源を「切」にしたのに動作音がする。
●一発（クイック）起動待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう。
●市販のBDビデオやDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→ **88** ページ）
●再生できるディスクかどうか、確認してください。（→ **88** ページ）
●BDまたはDVDディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（→ **21** ページ）
●BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **13** ページ）

ディスクトレイが出ない。
●録画リストを表示させていませんか。録画リストを終了させてから操作してください。
●本体表示部に「RESEt」が表示されるまで（約８秒間）本体の電源ボタンを押し続けて、本機をリセットしてください。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。
●上記の操作を行ってもディスクトレイが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（→ **101** ページ）にお問い合わせください。

ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする。
●ディスクを読み込むための音で故障ではありません。

Hi-Visionランプが点灯しない。
●液晶バックライトを消灯しているときは、「Hi-Vision」ランプも消灯します。

リモコン

リモコンで操作できない。
●リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **18** ページ）
●リモコンの乾電池を新しいアルカリ乾電池と交換してください。（→ **18** ページ）
●リモコン側のリモコン番号と本機のリモコン番号が合っていることを確認してください。（→ **82** ページ）

本機のリモコンで操作すると、他のDVD機器(当社製)やテレビも動作してしまう。
●本機のリモコン番号を切り換えてください。（→ **82** ページ）
●リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

画面が止まり、リモコンで操作できない。
●本体の電源ボタンで電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
●電源が切れないときは、本体表示部「RESEt」の表示が出るまで（約８秒間）本体の電源ボタンを押し続けてください。
●ディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。

ファミリンク機能

映像が映らない、正常な映像が映らない。
●HDMI ケーブルをお使いの場合は、電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

ファミリンク機能が正常に働かない。
●電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI ケーブルの接続が済んでから行ってください。
●ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。
- 本機の電源を「切」にする
- HDMI ケーブルの接続を確認する
- 本機の電源を「入」にする
- 「ファミリンク連動設定」を確認する
（ファミリンク機能について詳しくは、別冊の「ファミリンク操作ガイド」をご覧ください。）

その他

[スタートメニュー]を押してもスタートメニューが表示されない。

- メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。
- テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、[スタートメニュー]を押してください。
- 再生中やかんたんBDダビング中は、スタートメニューを表示できません。

D映像出力端子またはHDMI出力端子にケーブルを接続したときは…

- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続すると、どちらかの端子しか使えません。リモコンふた内の[HDMI切換]を押し続けて、出力を切り換えてください。

[スタートメニュー]を押すと、本体表示部には「MENU（メニュー）」と表示されるのに、テレビ画面にはスタートメニューが表示されない。

- HDMI出力端子とD映像出力端子は、どちらか一方からしか信号を出力しません。
  [HDMI切換]を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（D映像端子）または「H-oP」（HDMI端子）を選択してください。

本機の設定内容が消える。

- 停電や、電源プラグが抜かれた状態で10分以上放置したときは、設定内容が消えてしまう場合があります。
- 電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。またハイブリッド録画中は、録画していた内容が消去される場合があります。

使用中に本体が熱くなる。

- 本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。

操作ができない。

- リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **18** ページ）
- 操作ができなくなったときは、「操作ができない」（→ **90** ページ）をご覧ください。

MDレコーダーとデジタル接続をしてCDからMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない。

- CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。
- 再生設定でトラックの指定を行った場合（→**41**ページ）などは、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
規定外のディスクです。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます	
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき	—
このディスクは保護されています。	• ディスク保護されているディスクに録画をしようとしたとき	• ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	• BD-REの録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	—
初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
録画禁止の番組です。録画できません。	• コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	• 録画できません。
ディスクが入っていません。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます	• ディスクを確かめて入れ直してください。
このディスクは録画できません。	• 本機で録画できないディスク（BD-RやDVD、CD-Rなど）や傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用BD-REをセットし直してください。
ディスクが満杯です。 録画ができません。	• BDの空き容量がないとき	• 空き容量のあるBD-REを入れてください。 • 不用なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯になりましたので 録画を停止しました。	• BDの空き容量がなくなりました	—
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっている番組を録画しようとしたとき	—
HDMI自動切換ができません。リモコンで切り換えてください。	• 録画中や再生中などにHDMI切り換えを行ったとき	• 録画中や再生中は、自動切換は働きません。停止してから切り換えてください。
ディスクを修復しています。	• 停電などにより、BDにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• BDの修復が完了するまでお待ちください。

■ハイブリッド録画時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
この番組は録画できません。	• データ放送を録画しようとしたとき • TS入力から5秒以内に録画を開始しようとしたとき	• データ放送は録画できません。 • TS入力から5秒以上経過してから録画を開始してください。

■消去時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
これ以上選択できません。	• タイトル選択消去で、20タイトルを超えて選択しようとしたとき	• 最大20タイトルずつ消去してください。

よくあるお問い合わせ

「故障かな？と思ったら」（→ **90** ページ）も、あわせてご覧ください。

チャンネル／リモコンの設定

本機のリモコンでテレビの操作もしたい。

●リモコンに、テレビメーカー指定の設定をしてください。（→ **84** ページ）

録画（ハイブリッド録画）／予約録画（テレビの「ファミリンク（i.LINK）予約」）

シャープ製のテレビ「アクオス」とi.LINK接続して予約録画するときに気をつけることは何ですか？

●連続した番組「（例）午後7:00～8:00までの番組と午後8:00～9:00など」を予約したときは次のように録画されます。
- 予約した番組が同じチャンネルの場合は、条件により１つのタイトルまたは2つのタイトルとして録画されます。
- 予約した番組が別のチャンネルの場合は２つのタイトルとして録画されます。

テレビ放送をBDに録画したい。

●シャープ製のデジタルチューナー内蔵液晶テレビ「アクオス」に、i.LINKケーブルで本機を接続してください。本機の「ファミリンク i.LINK録画ボタン」を使うと、テレビで見ているデジタル放送番組をBDに録画できます。

●BDに録画できるのは、地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送です。地上アナログ放送はBDに録画できません。

●録画に使用できるのは、カートリッジなしのＢＤ-ＲＥ Ver.2.1（１層）のディスクです。BD-Rやカートリッジ付きのBD-RE Ver.1.0のディスクには録画できません。

テレビ放送をBDに予約録画したい。

●テレビの電子番組表（EPG）から、i.LINK予約※をしてください。本機で予約の操作をする必要はありません。ただし、本機のクイック起動設定を「する」にしてください。
※ 予約設定画面に「ファミリンク[2]（i.LINK）」と表示されるテレビもあります。

●BDに録画できるのは、地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送です。地上アナログ放送はBDに録画できません。

●録画に使用できるのは、カートリッジなしのＢＤ-ＲＥ Ver.2.1（１層）のディスクです。BD-Rやカートリッジ付きのBD-RE Ver.1.0のディスクには録画できません。

再生

海外で購入したBDビデオは再生できますか？

●リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない（リージョンコードが設定されていない）BDビデオが再生できます。

●PAL、SECAM方式のBDビデオは再生できません。

ファミリンク

ファミリンク機能は使えますか？

- HDMIケーブルでシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」と本機を接続してください。本機で再生を開始すると自動でテレビの入力が切り換わるワンタッチ再生や、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れるなどの連動操作が行えます。
- テレビの予約機能「ファミリンク[2](i.LINK)予約」を行うためには、本機のクイック起動設定を「する」に設定してください。本機の電源が「切」でも、録画開始時刻になると本機の電源が入り、録画が開始されます。
本機は「ファミリンク[1](標準)」には対応していません。(機種によっては「HDMIコントロール予約」と表示されるものもあります。)

かんたん BD ダビング

ハイビジョンレコーダーからダビングするには？

- シャープ製のハイビジョンレコーダーと本機をi.LINKケーブルで接続すると、ダビングができます。(→**44**、**47**、**52**ページ)
- ダビングできるのは、シャープ製のハイビジョンレコーダーのHDDにHD/SD録画された番組だけです。

シャープ製のハイビジョンレコーダーで録画した番組をBDにダビングしたい。

- BDにダビングできるのは、HDDにHD/SD録画された番組です。HDDにHD/SD録画されていない番組は、BDにダビングできません。また、DVDに録画された番組をBDにダビングすることはできません。
- シャープ製のハイビジョンレコーダーと本機をi.LINKケーブルで接続してください。映像・音声ケーブルやHDMIケーブルではダビングできません。

BDに録画した番組を他の機器にダビングしたい。

- ダビングできません。

何枚もあるDVDディスクを1枚のBDにまとめたい。

- DVDディスクからBDへのダビングはできません。本機にダビングできるのは、シャープ製のハイビジョンレコーダーに搭載されているHDDにHD/SD録画された映像です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→**101**ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな?と思ったら」(→**90**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：ブルーレイディスクプレーヤー
- 形　　　名：BD-HP1
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にご相談ください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

使い方や修理のご相談など

※「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の〈補足〉をご覧ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜：9:00～20:00　●日曜・祝日：9:00～17:00　（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.03）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

補足　「修理品引き取りサービス」のご案内。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

ご利用料金

※お申し込みの前にご確認ください。
※サービスエリア：日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（上記参照）にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
■ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金（修理料金+利用料）をヤマト運輸に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

区分	項目			仕様
	品名			ブルーレイディスクプレーヤー
	形名			BD-HP1
一般	電源電圧			AC 100V、50/60 Hz
一般	外形寸法			幅434mm、奥行343mm、高さ68mm （突起部を除く）
一般	本体質量			約4.4kg
一般	使用温度範囲			＋5℃～＋35℃
一般	使用湿度範囲			10%～80% （結露なきこと）
一般	動作姿勢			水平
記録	録画可能ディスク			BD-RE Ver.2.1※2※3（1層）
記録	録画時間※1（BD-RE 25GB 時）	デジタル放送（TS入力）	HD（BS／110度CS ハイビジョン放送）	約2時間10分
記録			HD（地上D ハイビジョン放送）	約3時間
記録			SD（標準画質）	約6時間30分
再生	再生可能ディスク			BD-RE Ver.2.1※2※3（1層）、BD-R Ver.1.1※3※4（1層）、BDビデオ DVDビデオ、DVD-RW※4、DVD-R※4、DVD-R DL（2層）※4 DVD+RW※5、DVD+RW DL（2層）※5、DVD+R※5、DVD+R DL（2層）※5 DVD-RAM（カートリッジから取り出せるもの） 音楽CD、CD-R（音楽CDフォーマット）、CD-RW（音楽CDフォーマット）
接続端子	i.LINK（TS）入力			2系統（i.LINK/IEEE1394準拠）
接続端子	HDMI出力			1系統（525p/750p/1125i/1125p）
接続端子	D1/D2/D3/D4映像出力			1系統　Y：1.0 V p-p（75Ω） C_B、C_R：0.7 V p-p（75Ω）
接続端子	映像出力			1系統　ピンジャック：1 V p-p（75Ω）
接続端子	S映像出力			1系統　4ピンミニDIN：　Y＝1 V p-p（75Ω） C＝0.286 V p-p（75Ω）
接続端子	音声出力			2ch出力と7.1ch出力の2系統　ピンジャック：2 V rms （1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5kΩ以下）
接続端子	光デジタル音声出力			1系統　光コネクタ：角形光ジャック
接続端子	同軸デジタル音声出力			1系統　ピンジャック：0.5 V p-p（75Ω）
付属品	リモコン、単4形乾電池2個、映像・音声コード、電源コード、取扱説明書（本書）※6、かんたん!!ガイド※6、ファミリンク操作ガイド※6、保証書			

※1　**録画可能時間は目安です。** テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など（ビットレートの高い映像）が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

※2　BD-RE Ver.1.0は本機では使用できません。
BD-RE Ver.2.1でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
本機でハイブリッド録画やかんたんBDダビングに使用できるディスクは、BD-RE Ver.2.1のみです。

※3　BD-RE DL（片面2層）ディスクおよびBD-R DL（片面2層）ディスクは本機では使用できません。

※4　ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。

※5　ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。

※6　日本語以外の説明書はありません。

項目		値
消費電力		29W
待機時消費電力	クイック起動「する」時	18W
	クイック起動「しない」時	0.7W

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクプレーヤーは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。<This Blu-ray Disc Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License （以下、GPL）、GNU Lesser General Public License （以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/dvd/source/download/index.html （シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
・linux kernel
・glibc
・OpenSSL
・modutils
・DirectFB
・zlib

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.(http://www.openssl.org)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License
This product includes software developed by the University of California,Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。
特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

商標・登録商標など
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTSデジタルサラウンドは、DTS Inc.社の登録商標です。
- Blu-ray Discは商標です。
- DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴ“i”はソニー株式会社の商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

用語の解説

アルファベット

AAC(Advanced Audio Coding)
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格です。
地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。

CATV
ケーブルテレビ(有線放送)のことです。

CPRM(Content Protection for Recordable Media)
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DOLBY DIGITAL・PLUS
ドルビーデジタルを基に開発された、高音質・多チャンネル化が可能な音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルビットストリームで出力することができます。

DOLBY TRUE HD
DVDオーディオで採用されている「MLPロスレス」の機能拡張版として開発された音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルで出力することができます。

DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

D映像端子
コンポーネントと呼ばれる3本の輝度・色差信号(Y/CB/CR および Y/PB/PR)のコード接続を、1本のコードで行えるように考案された端子です。D端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース/プログレッシブの情報を送ることができます。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

HD/SD録画(当社独自の呼称です。)
デジタル放送をそのままの画質で録画する方式です。デジタル放送ならではの美しい映像を録画することができます。
ハイビジョン放送を録画するときは「HD録画」になります。
スタンダード放送を録画するときは「SD録画」になります。

i.LINK(TS)
i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE(米国・電気電子学会)によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps/800Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400/S800と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。
*i.LINKはソニー株式会社の商標です。

TS (Transport Stream)
TS(トランスポートストリーム)は、多重信号形式の1つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1つのストリームとして伝送できるシステムのことです。

あ行

インターレース(とび越し走査)
テレビは525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。(この1画面を1フィールドといいます。)つぎに偶数番目の走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(この画像を1フレームといいます。)を作っていく方式のことです。

オリジナル/プレイリスト

オリジナル
テレビ放送などを録画した映像(タイトル)を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。

音声出力レベル
ドルビーデジタル音声を再生したとき、音の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整する機能です。

か行

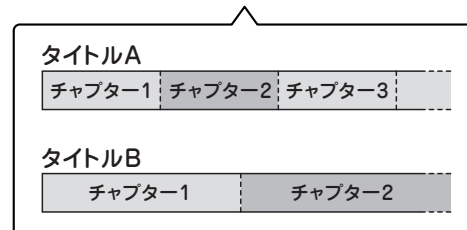
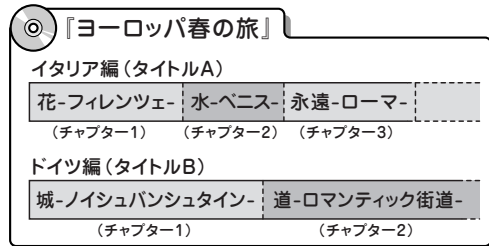
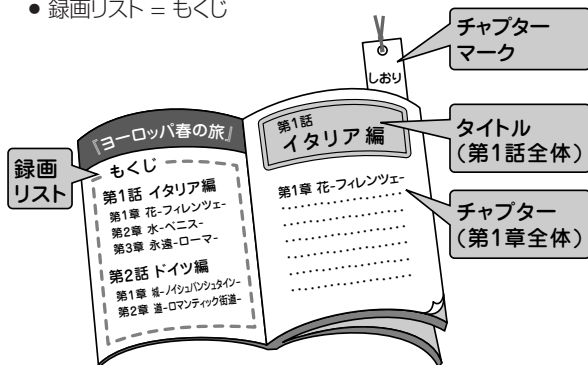
コピーガード(コピー制御信号)
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

さ行

視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

初期化
BD-REを録画できるようにすることです。

た行

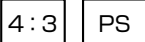
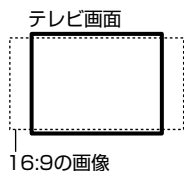
タイトルとチャプター、ディスク内の構成
BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル(録画した番組)」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター(章・区切り)」という単位で構成されています。
実際には、次のような構成になっています。

タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- チャプターマークを付ける = しおりをはさむ
- 録画リスト = もくじ

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

は行

パンスキャン

4：3

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。

ビデオフォーマット
市販のDVDプレーヤーで再生できる録画方式です。市販のDVDプレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ
BD-RやDVD-RW/Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（**C**onsumer **E**lectronics **C**ontrol）を使用し、HDMIで規格化されているテレビやBDプレーヤー、DVDレコーダー、AVアンプを制御するためのコントロール機能です。プレーヤーの再生操作に連動し、テレビの画面をプレーヤーの画面に切り換えるなどのことが行えます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。
他機で録画したディスクにプレイリストが設定されているときは、プレイリストの再生が行えます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

プログレッシブ
とび越し走査（インターレース）しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ま行

マルチアングル
BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

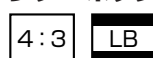
ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニアPCM音声
BD･DVD･音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

リモコン番号
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコン番号は、「リモコン番号1」「リモコン番号2」「リモコン番号3」の3種類があります。

レターボックス

4：3

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画リスト
録画した番組が一覧で確認できる画面です。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

ブルーレイディスクプレーヤー BD-HP1

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

グリーン材料 **すべての基板に無鉛ハンダを使用**

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎電源の切り忘れ防止機能を!

電源が入ったままの状態で、約10分間何も操作されないと、各種設定内の「無操作オフ設定」により、自動的に電源が切れるように設定できます。

使い方や修理のご相談など

［お客様相談センター］

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話 ：043 - 331 - 1626	FAX ：043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:**9:00～20:00** ●日曜・祝日:**9:00～17:00** （年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.03）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率100%）

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINSJA174WJQZⓓ
07P03-JA-MK